

No. 71 >>> Contents

●新会頭就任挨拶一般財団法人大日本蚕糸会 会頭 内藤邦男	1
農林水産大臣賞受賞者の五十畑茂・啓子夫妻に表彰状を伝達	栃木県庁にて挙行（第9回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール伝達式）	
.....一般財団法人大日本蚕糸会	3
●トピックス		
宮坂製糸所の最近の取り組み株式会社宮坂製糸所 代表取締役 高橋耕一	4
新蚕品種「白繭細1号」との出会いから商品作りまで（2）田口ゼミ 代表 田口隆男	6
●研究・技術情報		
布地の動的ドレープ性に関する3次元評価法の試み	—シルクシフォンと縮緬—	
.....一般財団法人大日本蚕糸会 蚕糸科学技術研究所 主任研究員 薮島富士江 客員研究員 田村照子	8
「微粒子病と微孢子虫：養蚕をおこなう上で最も恐れられる病気の正体とは」	
.....日本大学 生物資源科学部 准教授 島山吉則	11
●蚕糸・絹業団体情報		
一般社団法人千總文化研究所の紹介	
.....一般社団法人千總文化研究所 所長 加藤結理子	13
【長野県岡谷市】地域おこし協力隊を募集します	15
●イベント情報	16
●一般財団法人大日本蚕糸会から		
2021年度第2次分の純国産絹マーク使用許諾状況	19
純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧	21
活動日誌	28
●蚕糸絹関係博物館一覧	29
●蚕糸絹関係機関ホームページ一覧	32
●統計資料（統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。）	34
●シルクレポート総目録	55

新会頭就任挨拶



一般財団法人大日本蚕糸会

会 頭 内藤邦男

6月23日に一般財団法人大日本蚕糸会会頭に選任されました内藤邦男です。研究開発の推進や蚕糸絹文化の振興に関する本会の事業を円滑に運営し、我が国の蚕糸絹業の発展に貢献できるよう努力して参りたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

感染力の強い変異株（デルタ株）の影響で新型コロナウイルスの感染が再拡大し、催事・式典、イベント等が中止、延期、縮小を余儀なくされています。絹製品の需要が縮小傾向にある中、関係者の皆様は大変なご苦勞をされていることと思います。

移動する、集まる、対話・会食するという、社会を形作るうえでとても重要な人の自由、本能というべきものが大きく制約されています。今後、ワクチン接種と治療薬の開発普及が一層進み、医療提供体制も整い、人との接触制限が緩和されれば、催事・式典やパーティーも開催され、人々が集い、会話と食事を楽しめる日々が戻ってくるものと思います。

今まで人としての自由と本能が抑圧されてきただけに、制限が緩和されれば、多くの人が一層華やかに服装を整えてパーティーに出席しようということになると思います。その際には、従前以上に、人と同じものではなく、自分に合った服装をしようとする傾向が強くなるでしょう。お客様の好み、嗜好をどう把握し、それに応えていくかが問われます。差別化（パーソナライゼーション）を進めるためには、データ分析、AI（人工知能）の活用による予測も重要ですが、まず、未来への想像力を働かせることが大切です。少量の生産となった国産生糸にとっては、むしろその希少性を生かして価値を高めることができる環境が整ってきました。

販売の最前線に関わる方々にも参加していただいている「全国シルクビジネス協議会」の場を活用して、遺伝子組み換えカイコを利用した新たな機能を持った生糸の生産活用を進めているのも、こうした新たなニーズ、消費需要に対応しようとするものです。デジタル技術の活用で情報距離が縮まり、消費者のニーズが生産者にダイレクトに伝わることによって、消費者の求める製品やサービスの需要に生産サイドが迅速に応えることができるようになります。大量生産・大量消費・大量廃棄から適（少）量生産・適（少）量消費・循環利用へ変わろうとするファッション業界の大きな動きも後押しとなります。

また、近年世界中で大規模な山火事、洪水等自然災害が頻発し、我が国でも猛暑、豪雨災害等がよく見られるようになりました。地球温暖化の脅威が身近なものになっています。難しい地球環境問題もSDGsによって「見える化」され、だれでもが取り組み易くなりました。最近、新たに養蚕に取り組んだりする人や地域が出てきたのも、天然繊維である生糸が環境にやさしい天然素材として再認識されてきたからではないでしょうか。地球環境問題、気候変動問題への関心の高まりが蚕糸絹業という伝統地場産業の見直しにつながれば、地方再生にとっても新たな弾みを与えることとなります。

本年4月に本会の2研究所が統合して発足した「蚕糸科学技術研究所」の研究開発や技術指導機能、本会の蚕糸絹提携自立化支援事業も活用しながら、全国シルクビジネス協議会に参画しておられる各企業、学識経験者、団体のお力、関係の民間企業・団体、養蚕農家、地方自治体の方々のご支援、ご協力を得ながら我が国の蚕糸絹業の発展に尽力したいと考えております。皆様方の引き続きのご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

農林水産大臣賞受賞者の五十畑茂・啓子夫妻に表彰状を伝達 栃木県庁にて挙行（第9回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール伝達式）

一般財団法人大日本蚕糸会

第9回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール表彰式は、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言により、蚕糸会館での開催が出来なくなったことから、7月15日（木）に栃木県庁内において、栃木県農政部の青柳俊明部長から五十畑茂・啓子夫妻に農林水産大臣の表彰状と記念楯が手渡されました。同伝達式には、五十畑夫妻のほか、県農政部関係者、小山農業協同組合関係者等も同席しました。



宮坂製糸所の最近の取り組み

株式会社宮坂製糸所

代表取締役 高橋耕一

弊社は昭和3年創業、平成26年に岡谷蚕糸博物館に移転、従業員数は現在7名です。所有している主な繰糸機は、諏訪式繰糸機、上州式繰糸機、自動繰糸機の製糸技術史を代表する三方式の他、トルネードシルク（攪拌繰糸）、銀河シルクといった特殊生糸を生産しています。多品種小ロットの生産体制となっており、顧客の要望や製品の用途に応じた、きめ細かな対応が出来るのが強みです。製糸業、博物館動態展示、ファクトリーショップでの商品開発や販売、シルク石鹸等の通信販売など、複数の事業を行う経営形態となっています。

1. オリジナル生糸の開発

(1) トルネードシルク

トルネードシルクは、攪拌繰糸機で繰糸した生糸です。攪拌繰糸機は、繰糸槽に洗濯機の羽が付いており、回転させて渦を発生させます。その中に繭を投入して攪拌すると、繭からズルズルと糸が引き出されてきます。水槽の渦の様子が竜巻のようなことから「トルネードシルク」と名付けました。糸は複雑に絡み合っただ高で、節が多い特徴があります。糸に流れる電流を測定して太さを調整し、500～2000デニールで繰糸します。用途は、帯地や洋装生地、カバン生地等に利用することが出来ます。



トルネードシルク試作品

(2) 銀河シルク

銀河シルクは、糸を繰糸する水槽内でゆるやかな渦をつくり、繭を回転させながら繰糸します。その様子が銀河系の回転と同じ「強制渦」で、糸が天の川のように美しく輝いていることから「銀河シルク」と名付けました。約350個分の繭糸を一度に1本に束ねて1000デニールの極太生糸にします。糸は染色性が良く光沢があり、帯地やインテリアなどにも使用出来ます。最近の使用例では、岡谷産の繭を使用したファブリックパネルが製作されました。地域おこし協力隊の佐々木千玲さんが企画し、岡谷絹工房で製織しました。諏訪の四季をイメージしたデザインになっており、店舗やホテルで利用されています。

2. 岡谷シルクブランド事業との連携

岡谷市では、「美しいものづくり、人づくり」をコンセプトに、岡谷シルクのブラ



銀河シルクファブリックパネル

ンド化を進めています。事業の一つに、市内で養蚕した繭を原料としたドレス生地を製作し、地元の諏訪実業高等学校服飾科の生徒による作品づくりを進めています。ドレスや着物は一生ものですが、岡谷産の絹を地域で利用する仕組みを作り、若い世代にもシルクの魅力を伝えたいと考えています。生地は米沢の行方織物様にご協力いただき、製織することが出来ました。養蚕から製糸、製品化を進めるには課題もありますが、様々な技術を持つ織物産地や企業等と連携することも必要と考えています。

3. 蛹の有効活用 ～シルクうなぎ～

最近昆虫食やサプリで蚕蛹が注目されています。岡谷市のうなぎ料理専門店では、「岡谷らしいうなぎ」をつくるために、蚕蛹を飼料として養殖した「シルクうなぎ」を開発、販売しています。蛹もシルクの一部ととらえ、高級食材のうなぎに利用して高付加価値化し、養蚕にも役立てたいとの考えがあります。使用する蛹は、食用としても利用可能な品質の良いもの、安心安全でブランド力のある信州産であることにこだわりました。シルクうなぎは生育も良好で病気になりにくく、上質な脂が特徴とのことです。

4. 桑の園芸品種の販売

桑は蚕の餌になるだけでなく、観賞用の枝垂れ桑や雲竜桑、実を食用とする大実桑や白実桑など、様々な園芸品種があります。岡谷蚕糸博物館にある枝垂れ桑やかつての吉田館製糸の敷地に植栽されている雲竜桑から穂木を取り、接ぎ木苗の販売を始めました。岡谷らしい植栽樹として市内で利用し、桑の色々な楽しみ方を伝えることで親しんでもらえればと考えています。



枝垂れ桑と雲竜桑の苗

今回紹介した内容は、取り組みの一部ですが、企業から個人の方まで細かな要望にも対応しますので、気軽に見学にいらしていただければ幸いです。

■ 問い合わせ先：

株式会社宮坂製糸所

〒394-0021

長野県岡谷市郷田 1-4-8

TEL: 0266-22-3116

FAX: 0266-24-3626

e-mail: silkfact@po29.lcv.ne.jp

<https://www.msilkpro.com/>

新蚕品種「白繭細1号」との出会いから商品作りまで（2）

田口ゼミ

代表 田口隆男

<白繭細一号の特徴>

繭は普通蚕品種に比べるとやや小さめ。糸は細く柔軟でコシがあり、繰糸後の濡れた糸にはガラス質の強い光沢が見られ更にセリシンⅡ層が多く精練抵抗性も大きく、染料の吸収が極めて良くハリのある生地ができやすい。繭重は2.09g 繭糸長は1,290m 繭糸織度は2.39 デニール程度、解じょ率は約90%。

養蚕農家が育てやすく、丈夫で発育の揃いが良い、生産、糸質ともに安定しています。

品質が良い白生地は糸質が重要ですが、製糸、製織も同じように重要な要素です。

三煌の白生地用生糸は群馬県の碓氷製糸で繰糸しています。繰糸速度を80m/分（通常繰糸速度は110～120m/分）で通常より70%に抑え、効率は落ちるが風合いの良い空気を含んだような糸を作り出しています。

製織は丹後の芋田織物でジャカード織機で織っています。織機は昭和40年代の津田駒製、緯糸は一分間に片道で100回わたります（通常だと120回）。かなり遅い速度で織っているのでその分無理なテンションがかからず、風合いの良い生地が出来上がります。

<白生地「三煌」としての特徴>

糸そのものが普通蚕品種よりも細織度であることにより、身体になじむしなやかさがあ



織機に掛っている白生地

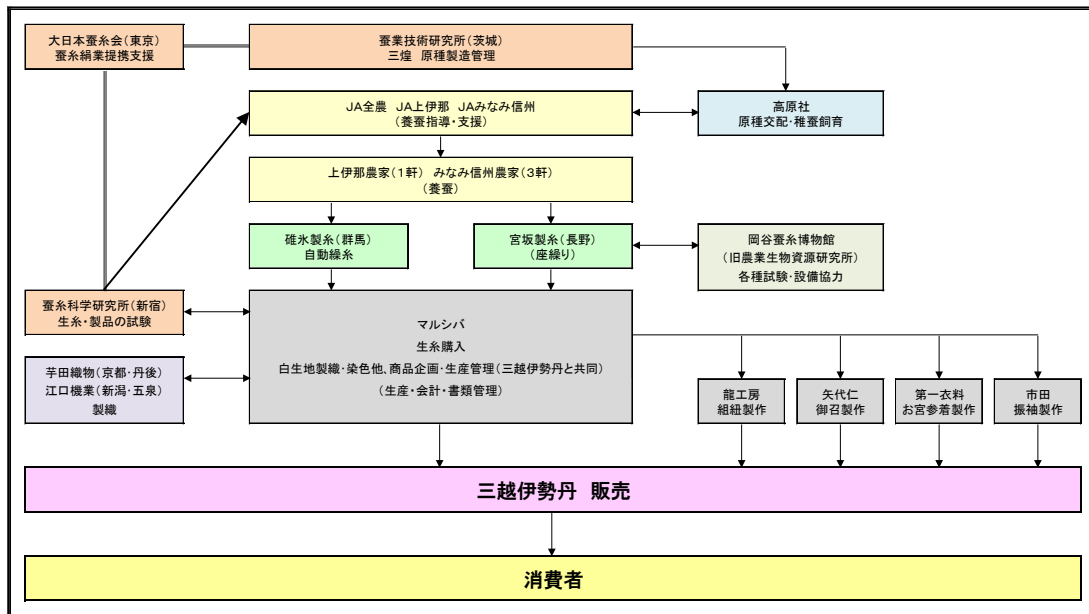
り、セリシンⅡ層が多く、細織度であることで深みとコクのある染上がり、色ムラの少ない均一な染上がりになっています。繰糸機と製織機を落とすことによる空気を含んだような柔らかい風合いがあり、シワになっても復元力があり鋭角なシワになりにくく着崩れが少なくなっています。リピーターのお客様が多いことから三煌の白生地は顧客の支持が高い商品と思われます。

<三煌開発メンバー>

蚕糸絹業提携グループの事業内容である、国産の繭、生糸利用の希少性を活用し、川上（養蚕業、製糸業、蚕種製造業）と川下（織物業、流通業）が連携して、消費者にとって魅力ある純国産絹製品をつくることを目的に、多数の関連企業の参画（組織図参照）を得て、三煌開発メンバーが出来上がりました。

三煌ができるまでの提携システム

「三煌」開発システムの全体図（2014年8月現在）



＜三煌の製品＞

白生地、振袖、お召、結城紬、帯締め等があります。

＜今後について＞

2006年12月にスタートした三煌開発メンバーは15年の歳月を通じてお互いの信頼関係の構築に磨きをかけてきました。一口に15年といってもその間、山あり谷

ありで全員の頑張りでここまでやってくることが出来ました、メンバーの皆さんには感謝しかありません。これからも三煌の商品のすばらしさを顧客に伝え続けていくこと、また、新たなチャレンジをすることが我々メンバーに課せられた課題です。目標は高いほどやりがいがあると信じて進んでまいります。



色無地、振袖、帯締め

布地の動的ドレープ性に関する3次元評価法の試み

—シルクシフォンと縮緬—

一般財団法人大日本蚕糸会

蚕糸科学技術研究所

主任研究員 齋島富士江

客員研究員 田村照子

はじめに

衣料としてのシルクの特長に、垂らした布地が柔らかく流れるような特性を表すドレープ性の良さがあります。静的ドレープ性は、円形に裁断した布地を測定台上に載せ、静止した状態で垂れ下がった襞が形成する面積と襞の数から評価する方法が規格化されています¹⁾。一方、垂らした布地が揺動するさまを表す動的ドレープ性²⁾は規格化された評価方法がありません。そこで、筆者らはハイスピードカメラと動作解析システムを活用した“3次元動的ドレープ性測定装置”を開発し、布地を載せた測定台を回転させた際の布地のダイナミックな動きを本装置により計測し、動的ドレープ性を数値化する取り組みを進めています³⁾。その概要について紹介致します。

3次元動的ドレープ性測定装置の構成と測定について

3次元装置の概要を図1に示します。本体は、既存のドレープ性測定装置（IT-DP、インテック社製）の測定台（直径

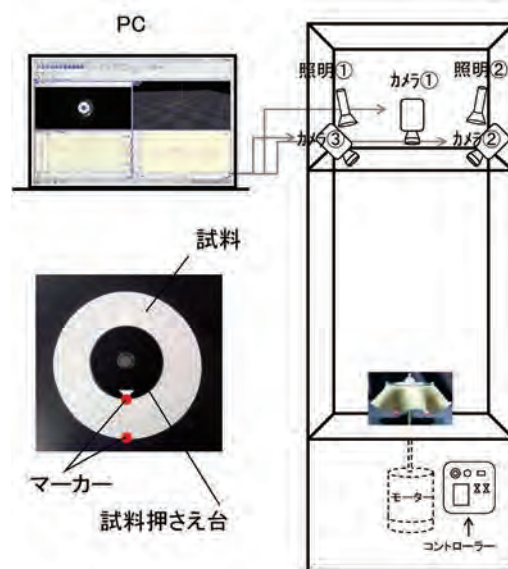


図1 3次元動的ドレープ性測定装置

127mm) に、回転数 0～240rpm に制御可能なモーターとコントローラーを連結し、上方に3台のハイスピードカメラ、2個の照明用ランプを設置した構成です。布地の大きさは直径 254mm で、経糸方向の布端と試料押さえ台端に直径 6mm の球体マーカーを各1点ずつ添付後、測定台に固定します。測定台の回転数は 70rpm で、動作解析ソフト（Kinema Tracer、キッセイコムテック社製）を使用し、回転時の布地の形状変化を3台のカメラで同時に撮

影、撮像を連続的にパソコンに取り込みます。各撮像画面上のマーカー位置を時系列順に並べた揺動波形を基に、①水平方向：台端から布端までの距離（布の広がり）とその平均値（平均広がり）並びに広がりの最大と最小の差（振幅）、②垂直方向：台端から布端までの距離（高さ）とその平均値（平均高さ）、高さの最大と最小の差（振幅）を求めます。また、揺動波形を基にパワースペクトルを調べ、1秒間あたりの布端の振動数を求めます。最大ピークが出現した周波数（Hz）の値が大きいほど布端の振動数が多いことを表します（図2）。計測に使用した布地は、シルクシフォンと和装用縮緬（各平面重は43.5g/m²、154.6g/m²）の2種類で、シフォンは薄くて軽く、縮緬はやや厚く重めの生地です。

シフォンと縮緬の動的ドレープ性を数値化する

布地の揺動波形とパワースペクトルを図2に示します。波形の水平方向における広がりの値は、大きいほど測定台の回転に伴い布地が広がり水平距離が大きくなることを、垂直方向における高さの値は小さいほど布地が垂れ下がり、振幅は大きいほど測定台の回転に伴い布端の上下振動が大きいことを表します。シフォンの水平方向における波形をみますと（図2-1-a）、規則的に布地の広がりが大きくなることと小さくなることを繰り返しており、振幅は5.14cmと大きい値を示しました。パワースペクトルには5Hz付近に最大ピークが出現し、1秒間あたり約5回振動していることがわかりました。垂直方向（図2-1-b）の振幅は3.06cm、平均高さが-4.22cmで、パワ

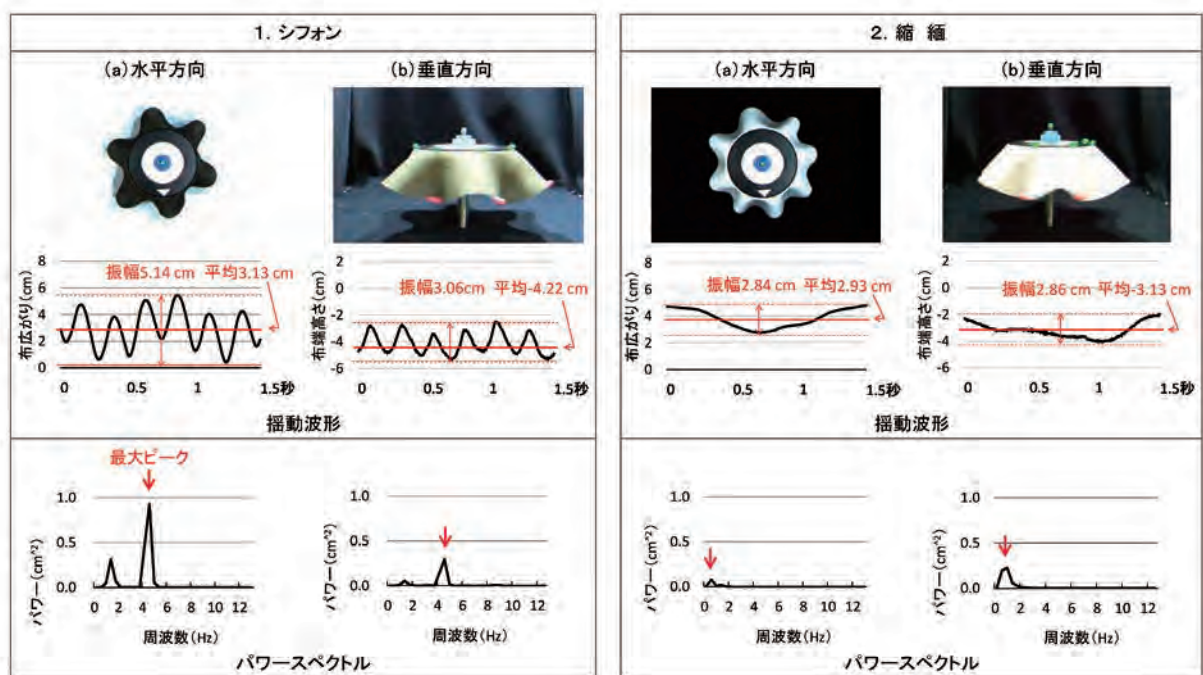


図2 水平方面及び垂直方向における布地の揺動形状及び1.5秒間の揺動波形とパワースペクトル

ースペクトルの最大ピークが 5Hz 付近にみられことから、布地の垂れ下がりが大きく、上下に速く揺れることを表しています。

一方、縮緬の水平方向と垂直方向の波形は（図 2 - 2）、シフォンとは異なる形を示しました。水平方向の平均広がり は 2.93cm でシフォンと近い値ですが、振幅は 2.84cm と小さく、パワースペクトルの最大ピークは 1Hz 付近で、振動数がシフォンの約 1/5 でした（図 2 - 2 - a）。垂直方向（図 2 - 2 - b）の平均高さはシフォンに比べて大きく、振幅と振動数が小さい値を示したことから、縮緬は測定台の回転に伴いシフォンよりも布地の垂れ下がりは小さく、上下の揺れが遅いことがわかりました。

以上のことから、薄く軽いシフォンは速く大きく揺れるのに対し、やや厚く重めの縮緬はゆったりと揺れることを数値で捉えられ、3次元動的ドレープ性測定装置を用いた計測は、動的ドレープ性を評価できる有効な方法であると考えています。

おわりに

今回は、シルクシフォンと縮緬の 2 種類について紹介致しました。この 2 種類の他にも織り方の異なるシルクや合成繊維生地との比較も行っていますので、機会がありましたら紹介したいと思います。今後、本法を確立し、絹衣料素材や絹製品の開発、販売促進等の支援に活かせるようにしたいと考えています。

【引用文献】

1. 日本規格協会：JIS L1096、41-46. 2010.
2. 社団法人繊維学会：「繊維便覧（第 3 版）」、丸善株式会社、227-229. 2004.
3. 田村照子・李恩眞・薮島富士江・花之内智彦・片山貴文：「布地の動的ドレープ性・揺動性に関する 3次元評価法の試み」. 日本繊維消費科学会誌、60、639-648. 2019.

■ 問い合わせ先：

一般財団法人大日本蚕糸会

蚕糸科学技術研究所

〒 300-0324

茨城県稲敷郡阿見町飯倉 1053 番地

TEL：029-889-1771

FAX：029-889-2356

「微粒子病と微胞子虫：

養蚕をおこなう上で最も恐れられる病気の正体とは」

日本大学 生物資源科学部

准教授 畠山吉則

微粒子病と養蚕

蚕微粒子病は微胞子虫の特定種 *Nosema bombycis* の感染によって生じる。この微胞子虫は約 200 年前にフランスで発見された。胞子を形成し（図 1）感染力も強く、同時期に飼育された個体は生育遅延や若齢期に死亡するものも多く、また正常な繭（まゆ）を形成することができない場合もあった。微胞子虫は母蛾の卵巣にも感染するため、経卵感染により次世代へと垂直伝搬する。このように蚕微粒子病は欧州地域の養蚕業に対して壊滅的な被害をもたらしたという恐ろしい感染力を呈することは周知の事実である。日本では微粒子病の被害を抑制するために、明治 44（1911）年に制定された蚕糸業法（昭和 20（1945）年 12 月に全文改訂）によって、蚕種製造

業者に母蛾検査を義務付けて発生防止に努めてきた。この技法はフランスのパスツールによって考案されて以来微粒子病対策の基本として実施されてきた。当初の母蛾検査では 1 蛾ずつ検査を行っていたが、その後複数の母蛾を同時に検査する集団母蛾検査法（藤原 1984a）などに改良されつつも、現在まで微粒子病の検出手法として用いられている。

母蛾検査によって検出されるものは *N. bombycis* だけに限らず他の微胞子虫が感染していた事例も多数報告されている（田中ら 1972, 藤原 1980, 1984b, 1984c, Imura et al., 2020）。これらは微胞子虫病として認識されており、*N. bombycis* ほどの感染性は示さないものの、普通蚕種の母蛾検査では検定の除外対象となってきた（野澤ら 2020）。このように母蛾検査は微粒子病発生防止に対して非常に効果を発揮してきた。しかしながら国内における養蚕農家の戸数減少や、シルク製品の取引量の減少に伴い、蚕糸業法は平成 10 年（1998）年 3 月に廃止され、現在のところ蚕種の製造を規制する法的根拠は存在しない状態である。現在でも母蛾検査で検出されるものの多くが *N. bombycis* である。しかしなが



図 1（左） *Nosema bombycis* 胞子の顕微鏡写真

図 2（右） 微胞子虫に感染した蚕（右）と健全な蚕（左）の比較



図3 (左) 絹糸腺に集中感染している大型微胞子虫の写真

図4 (右) 大型微胞子虫に感染し吐糸中に死亡した蚕

ら近年では *N. bombycis* 以外の微胞子虫が検出されることも多い。その中には感染していてもほとんど症状を示さないものも多い (図2)。特に近年検出事例の増えているものに大型の微胞子虫がある。この大型の微胞子虫は増殖速度が遅く、飼育中は明確な病徴を呈することがない、しかしながら絹糸腺に集中的に感染するため (図3)、吐糸直前になって発病し、結果として薄繭を形成して死亡する個体が相次いで発見されるなど (図4)、*N. bombycis* よりも対応の難しいものも存在している (Nakamura et al., 2020)。

害虫からの微胞子虫の分離と宿主感染性

著者らのグループは蚕室への微胞子虫の流入経路を探索するため、数年間にわたり桑園の近くで栽培される農作物を食害するチョウ目を対象とした微胞子虫の検索をおこなってきた。その結果蚕室の近傍の野菜ほ場において、微胞子虫に感染した農業害虫が複数種見つかってきている。微胞子虫の感染率や感染個体の検出時期はその害虫の発生活長によって異なる傾向も見られるが、感染率はおおよそ5%前後で推移して

おり、屋外ではかなりの頻度で微胞子虫が感染力を有した状態で存在していることも判明してきている。また屋外での感染傾向は台風の通過した数や1月～3月の大雪の被害の有無など、年によって著しく変化していることも判明しつつある。特に国内で越冬できず、毎年中国大陸や東アジア諸国から飛来する害虫であるハスモンヨトウの場合には台風の影響が顕著であり、台風の進路によって、周辺諸国の異なる地点から微胞子虫に感染した個体が日本へ飛来しているようである (Imura et al., 2019)。また在来種ではアブラナ科植物を食害するモンシロチョウの調査によると、成虫の微胞子虫感染率は非常に高率であり、*N. bombycis* をはじめとするこれまで母蛾検査で検出されているものと同様の形質を有する微胞子虫が相次いで発見されている。近年モンシロチョウをはじめとするアブラナ科の農作物を加害する複数の害虫からカイコ感染性の微胞子虫が相次いで発見されている。このアブラナ科の農作物は現在桑園の近傍にあることも多く、現在の微粒子病の発生原因の一つとして認識されつつある。これら農業害虫から分離された微胞子虫の中には分離宿主だけではなく、食害作物の近傍で生育している他の害虫への感染性を有しているものもあり、中にはカイコに対して感染性を有するものも存在している。養蚕の傍らで野菜を育てている農家も多いと思うが、その野菜を食害する害虫は養蚕と全く関係ないものではないことを常々認識している必要はあるだろう。

一般社団法人千總文化研究所の紹介

一般社団法人千總文化研究所

所長 加藤結理子

はじめに

千總文化研究所は、株式会社千總が所蔵する染織品、絵画、歴史資料などの有形文化財と、千總が手掛けてきた無形文化財としての染織技術を学際的に研究するため、2017年に設立されました。「京都」「技術」「美」の三つのテーマを研究の柱とし、各界の研究者、技術者、アーティストとの多角的な研究活動と教育普及活動を通して、文化芸術の振興に寄与することを目指しています。

千總文化とは

千總是1555年の創業以来、絹を中心とした染織品を手掛けてきました。僧侶の装束や寺院の御堂を荘厳する打敷類、天鷲絨びろうど友禅や刺繍を施した壁掛けや屏風などの室内装飾品、友禅染の着物など、時代の変化と共に少しずつ商いの軸足を変えながらも、織・繡・染の様々な「技術」を駆使した染織品を製作してきました。

千總是460余年に渡り「京都」において商いを続けてきました。その歴史は、商業活動だけでなく、町政を担ったり、京都画壇をはじめとする文化芸術分野へ出資するなど、「京都」の文化や町の発展と共に歩んできたものです。

そうした土地が持つ歴史と文化、人の手

仕事に宿る知と経験の集積によって醸成されるものが「美」と考えています。

千總文化は「京都」「技術」「美」から派生する様々な事象、学問、産業です。千總文化研究所の活動は、それらを有機的に結びつける試みです。



岸竹堂下絵 〈縮緬地孔雀に花文様型友禅染裂〉
明治7（1874）年 千總蔵

千總にまつわる絹の文化財

千總に残されている絹の文化財は、法衣装束や型友禅染の見本裂、友禅染を施した天鷲絨など製作の過程で残された資料と、製作の参考のために蒐集された江戸時代の

小袖類です。それら文化財の一部は、教育普及活動の一環として大学と連携しながらアーカイブを進めています。

残念ながら手がけた染織品の完成品は、製造元である千總にはほとんど残されていませんが、国内外に現存していることが近年明らかとなってきました。

明治時代から大正時代に国内外の博覧会に展覧され、広く販売された屏風や衝立などの室内装飾品は、現在は国立の博物館施設等に収蔵されているものも多く、海外での現存も確認されています。また、江戸時代に製作した装束類や打敷類は、真宗大谷派を中心とする寺院に残されていることが判明しました。

様々な織組織や文様、緻密な刺繍は、日本の豊かな染織文化を伝えてくれます。千總に残された見本裂や図案・写真、文書などの歴史資料との照合を進めるとともに、染織史のみならず社会学や宗教学などの点から多角的に紐解くため、外部の研究機関、専門家と共同で研究を行っています。



法衣装束の調査風景 於：姫路船場別院本徳寺
おわりに

絹が生み出す染織品としての美しさがどこから来るのか、日本文化の奥深さと共に絹が持つ素材としての可能性を、より多くの方々と一緒に考えていく必要があります。



〈天鷲絨友禅衝立 「富士に松」〉
明治時代（19世紀末期-20世紀初期）千總蔵

染織技術は、社会の需要に応える形で発展してきました。絹の製織技術をはじめ、絹を染めるための染料や防染を施すための材料や道具なども変化しています。伝統技術の継承が社会的な課題となって久しく、再現できなくなってしまった技術もあります。千總文化研究所では、現在の染織技術の記録・保存と継承のための取り組みも始めています。

有形・無形文化財を過去と現在の双方向から研究することで、数値化することが難しい物事の価値を見出し、日本の伝統技術、文化芸術の再評価に繋げていきたいと考えています。

■ 問い合わせ先：

一般社団法人千總文化研究所

〒604-8166

京都市中京区三条通烏丸西入御倉町80

(株)千總内

TEL: 075-211-2531

FAX: 075-211-2533

<https://www.icac.or.jp>

【長野県岡谷市】地域おこし協力隊を募集します

岡谷市は長野県のほぼ中央に位置する諏訪湖の西岸に面し、北は塩嶺王城県立公園、東には八ヶ岳連峰、遠くには富士山を臨む、湖と四季を彩る山々に囲まれた風光明媚な都市です。

明治から昭和初期にかけて、全国一の製糸業地として発展し、日本のみならず世界中に「シルク岡谷」としてその名を馳せ、現在は県を代表する精密ものづくり集積地として成長を遂げ、「東洋のスイス」とも呼ばれています。

平成31年4月から、地域おこし協力隊(2名)の力を借りて、養蚕から生糸生産、製品化など、新たなシルク文化の創出につながる取組を推進しておりますが、この活動をさらに発展させるため、後任となる隊員を募集します。



地域おこし協力隊業務の内容

オール岡谷産シルク製品等の開発促進に向けた養蚕振興に関すること

- ・養蚕と岡谷産繭のブランド化及び遊休荒廃農地の解消に関すること
- ・機織りや染め等のシルク製品作りに関すること
- ・岡谷産繭と岡谷市のシルクに関する歴史・文化を教育に活かす活動に関すること
- ・SNS等を活用した情報発信に関すること

応募について

応募受付期間：令和3年8月1日から令和3年11月下旬まで
(ただし、応募状況により、受付期間が変更となる場合があります。)

応募に当たっては、下記サイトを参照してください。

岡谷市地域おこし協力隊募集サイト



応募に関する詳細や岡谷市に関する資料がご覧いただけます。応募用紙は、本サイト内でダウンロードいただけます。

応募要領PDF



応募に関するさらに詳しい情報をご覧いただけます。

岡谷シルクホームページ



歴史や文化など岡谷シルクについてご覧いただけます。
okayasilk.jp

【お問合せ先】

〒394-0021 長野県岡谷市郷田 1-4-8 岡谷蚕糸博物館内 ブランド推進室
TEL0266-23-3489 Fax0266-22-3675 E-mail brand@city.okaya.lg.jp

イベント情報

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、ジャパンシルクセンター・各博物館では臨時休業やイベントを中止している場合があります。詳細は各WEBサイトなどでご確認ください。

●ジャパンシルクセンター

宝絹×女子美 絹から生まれるトキメク刺繍



宝絹 × 女子美

絹から生まれるトキメク刺繍

2021.11.9(火)～11.14(日)

10:00～17:00(9日 13:00～, 14日～16:00)

主催：提携グループ“絹を未来に”

会場：ジャパンシルクセンター

東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 1F TEL:03(3215)1212

貴重な純国産の宝絹を使用し、日本刺繍の魅力にあふれた
ブローチや帯留、数寄屋袋等の小物を販売します。

感染対策を講じております。皆様のおいでをお待ちしております。

※新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては中止になる可能性があります。
その場合はHPでお知らせします。



●岡谷蚕糸博物館 企画展

信州の作家展 Part 3 小岩井紬工房伝統を繋ぐ・紡ぐ・織る

長野県各地域には、シルク作品を制作している染織作家が活躍されています。シルク岡谷からその魅力発信する企画展第三弾！創業以来変わらぬ手織りで上田紬を織り続ける小岩井紬工房三代目カリナさん・良馬さん姉弟の魅力と色彩の世界を、ぜひご堪能ください。

〈会期〉令和3年11月18日(木)～令和4年2月13日(日) 9:00～17:00

休館日：水曜日・祝日の翌日・12/29～1/3

〈主催〉岡谷蚕糸博物館 —シルクファクトおかや—

〈会場〉岡谷蚕糸博物館 〒394-0021 長野県岡谷市郷田 1-4-8

Tel:0266-23-3489

<https://silkfact.jp/>

E-mail: hakubutsukan@city.okaya.lg.jp

●駒ヶ根シルクミュージアム

第14回 現代手織物クラフト公募展

全国で独自の創作活動をしている織物のプロ、および将来プロを目指す方たちが制作した、独創的で優れた織物作品を展覧し、広く織物愛好家に向けて紹介するとともに、自立の道を拓く支援の場となることを目的に開催します。

〈会期〉10月21日(木)～11月28日(日) 9:00～17:00 (最終受付16:30)

休館日：水曜日・祝日の翌日

〈主催〉現代手織物クラフト公募展 実行委員会

〈会場〉駒ヶ根シルクミュージアム 〒399/4321 長野県駒ヶ根市東伊那482番地

Tel:0265-82-8381

<https://komagane-silk.com>

E-mail: shirku@cek.ne.jp

●日本絹の里 企画展

「ちりめん創作人形展 ～はなものがたり～」

日常の風景をモチーフにした人形を制作している高崎市在住の人形作家・竹本京さん。今回は「はな」という言葉をテーマにして制作した新作を中心にご紹介いたします。色鮮やかな「絹」を使用した人形たちの世界をご堪能ください。

〈会期〉10月23日(土)～12月13日(月) 9:30～17:00

休館日：火曜日(祝日の場合は翌日)

〈主催〉群馬県立日本絹の里

〈会場〉群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町888-1

Tel:027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●日本絹の里 特別展

「齋藤定夫展 ～伊勢崎に機音を鳴らし続ける～」

伊勢崎絹の生産工程の全てを自ら行い、「括り絹」や「板締め絹」の技法で糸を染め分け、手織りならではの技術で繊細な織物の意匠を追求している齋藤定夫さんの作品を紹介します。

〈会期〉12月18日(土)～2月6日(日) 9:30～17:00

休館日：火曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始(12/27～1/5)

1月3日(月)は臨時開館

〈主催〉群馬県立日本絹の里

〈会場〉群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町888-1

Tel:027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●シルク博物館 秋の特別展

第26回全国染織作品展

絹は独特の光沢や風合い、染色性の良さなどを有し、古くから優れた高級衣料素材として用いられてきました。そして、古代から受け継がれてきた高度な染織技術は日本の大切な伝統文化となっています。本展では、絹を用いた染織作品を広く全国から募集し、厳正な審査のうえ、入選作品を一堂に展覧します。本展を通じて、次代をになう新進作家の育成及び染織技術の向上と服飾文化の発展を図るとともに、絹の需要増進に寄与したいと考えています。

〈会期〉10月23日（土）～11月28日（日）9：30～17：00

休館日：月曜日

〈主催〉シルク博物館

〈会場〉シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地 2階

Tel:045-641-0841

<https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum>

●シルク博物館

「シルキーウィンターフェスティバル」「たのしいかいこの発表会」

かいこの観察記録やまゆ人形など、子どもたちの作品を展示します。

【関連行事】

12/11（土） まわた人形「まわたの天使作り」

12/18（土） 生糸のランプシェードクリスマスバージョン作り

12/19（日） 表彰式・シルキークリスマス（無料開放日）

12/25（土） まゆクラフト「オーナメント作り」

1/9（日）・10（月・祝） 小さなシルクハンカチ染め体験

〈会期〉12月11日（土）～1月16日（日）9：30～17：00

*会期中、小・中学生は入館無料

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）・年末年始（12/28～1/4）

〈主催〉シルク博物館

〈会場〉シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地 2階

Tel:045-641-0841

<https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum>

2021年度第2次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マークの2021年度第2次審査委員会を2021年8月24日(火)に開催しました。今回の申請は5者で、新規申請者2者3品目、使用許諾されている3者のうち製品の追加2者2品目、履歴の追加2者2品目の申請がありました。これらの申請を審査委員会で審査した結果、5者7品目に対し、8月31日(火)付けで純国産絹マークを使用許諾する旨通知しました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)	
(新規) (株)前田源商店 代表者名：前田市郎 (担当者：前田市郎) 〒403-0004 山梨県富士吉田市下吉田 2-25-24 TEL：0555-23-2231 表示者登録番号 242	スカーフ (やまなし縄文 シルクスカーフ)	1,000 枚	蚕品種 繭生産	春嶺×鐘月、錦秋×鐘和 JAクレイン・ JA 笛吹管内養蚕農家
	ストール (やまなし縄文 シルクストール)	1,000 枚	製糸 撚糸 染色 製織	松澤製糸所 丸八生糸(株) 小野田染工 自社
(新規) 近江真綿工房原田 代表者名：原田泰三 (担当者：原田泰三) 〒521-0081 滋賀県米原市多和田 1759 番地 TEL：0749-54-0672 表示者登録番号 243	真綿ふとん (国産近江真綿ふ とん)	200 枚	蚕品種 繭生産 真綿生産 製糸 撚糸 製織	春嶺×鐘月、錦秋×鐘和 JA 愛媛たいき・ JA えひめ南管内養蚕農家 自工房 松澤製糸所 福嶋撚糸 由里機業場
(製品・履歴の追加) 渡豊工房 代表者名：渡辺豊一 (担当者：渡辺豊一) 〒990-0301 山形県東村山郡山辺町大字山辺 892-1 TEL：023-664-5405 表示者登録番号 190	(製品の追加) 先染ストール (草木染もじり織 り)	200 枚	蚕品種 繭生産 製糸 撚糸 精練染色 製織	錦秋×鐘和 JA みやぎ仙南・ JA はぐくみ管内養蚕農家 碓氷製糸(株) 梅津撚糸工場 自工房 自工房
	(履歴の追加) 裏地(紬駒八掛)	170 枚	蚕品種 繭生産 製糸 撚糸 精練染色 製織	錦秋×鐘和 JA みやぎ仙南・ JA はぐくみ管内養蚕農家 碓氷製糸(株) 梅津撚糸工場 佐米染色(有) 自工房

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(製品の追加) 大月俊幸 代表者名：大月俊幸 (担当者：大月俊幸) 〒 399-8305 長野県安曇野市穂高牧 1956-2 TEL：0263-83-7890 表示者登録番号 236	先染着尺(信州紬)	14 反	蚕品種 錦秋×鐘和 繭生産 JA あがつま管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 染 織 自工房
(履歴の追加) 久保原由佳理 代表者名：久保原由佳理 (担当者：大月俊幸) 〒 399-8305 長野県安曇野市穂高牧 1956-2 TEL：0263-83-7890 表示者登録番号 237	先染着尺(信州紬)	14 反	蚕品種 錦秋×鐘和 繭生産 JA あがつま管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 染 織 自工房

次回の純国産絹マーク審査会の予定は次のとおりです。
純国産絹マークの使用許諾を申請される方は、事務局との事前協議を経た上で、下記の提出締切日までに、純国産絹マーク使用許諾申請書を提出してください。

次回審査会 2021年度第3次：2021年11月29日(月)
純国産絹マーク使用許諾申請書の提出締切日：2021年10月25日(月)

(連絡先)

〒 100-0006

東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6階

一般財団法人 大日本蚕糸会

担当：岡島、廣瀬、小林

TEL：03-3214-3500 FAX：03-3214-3511

E-mail：岡島：aokajima@silk.or.jp

廣瀬：hirose_takato@silk.or.jp

小林：kobaei@silk.or.jp

一般財団法人大日本蚕糸会から

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧 2021年8月31日(2021-第2次)現在

表示者 登録番号	企業名	所在地	主な絹製品名
001	(株)千總	京都市中京区	後染反物(振袖、訪問着、付下、色無地、色留袖、黒留袖、喪服)、胴裏
002	(株)織匠田歌	京都市上京区	先染反物、後染帯地
004	(株)丸上	東京都中央区	後染反物(色無地、小紋、付下、黒紋付)、後染帯地
005	(株)坂本屋	茨城県土浦市	後染反物(色無地)、胴裏(灰汁浸け加工)
006	(有)平原	福島県白河市	後染反物(色無地、黒紋付)
007	(株)信盛堂	東京都清瀬市	後染反物(色無地、黒紋付)
008	(株)きものアイ	新潟県十日町市	後染反物(色無地)
009	(株)上庵	岩手県北上市	後染反物(色無地、黒紋付)
010	(有)樹 (いづき)	秋田県横手市	後染反物(色無地、黒紋付)
011	(株)銀座もとじ	東京都中央区	後染反物(作家作品)、後染帯地、先染反物(大島紬、結城紬、御召、作家作品)、先染帯地(織九寸帯、織角帯、作家作品)、白生地、和装小物(帯締、羽織紐)、八掛、胴裏
012	河瀬満織物(株)	京都市上京区	先染帯地
013	(有)織匠小平	京都市北区	先染帯地
015	(株)結華	静岡県清水町	後染反物(色無地、黒紋付)
016	(有)絹回廊	東京都中央区	後染反物(色無地)
018	(有)大善屋呉服店	福島県会津若松市	後染反物(色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地(表地)
020	呉服のささき	山形県天童市	後染反物(色無地、黒紋付)
021	日本蚕糸絹業開発協同組合 (絹小沢(株))	群馬県高崎市	裏地(胴裏(ぐんま羽二重、ぐんまレピア、ぐんま200、灰汁浸加工、トルマリン加工)、八掛、比翼地)、長襦袢地、後染反物(作家作品、紋付地)、白生地(世紀二一、上州絹星・ぐんま200、新小石丸)、後染帯地((冬物・夏物):うるし糸が5%を超えるもの)、寝衣(うぶ着、おくるみ)、和装小物(袱紗)
022	宮階織物(株)	京都市上京区	先染反物、後染反物
023	21世紀の絹を考える会	京都府城陽市	後染反物(色無地、訪問着)、先染帯地(袋帯(草木染、唐織))
024	碓氷製糸農業協同組合	群馬県安中市	白生地、マフラー
025	丸幸織物(有)	京都府京丹後市	白生地
026	織匠万勝	京都市中京区	先染帯地(袋帯、名古屋帯、袋帯:金銀糸が5%を超えるもの)、先染反物(御召類)、後染反物(色無地)、先染帯地(袋帯:金銀糸が5%を超えるもの)
027	(有)織道楽塩野屋	京都府亀岡市	洋装品(マフラー、シャツ、ニット(ウオーマー、腹巻、手袋、靴下))
028	(株)丸万中尾	滋賀県長浜市	後染反物(江戸小紋、小紋、付下、友禅、色無地、訪問着、留袖、色留袖)、後染帯地、白生地(表地)
029	(株)むらかね	青森県八戸市	後染反物(色無地、黒紋付)
030	(株)高島屋	大阪市中央区	後染反物(振袖、七五三着物、色無地、訪問着、黒留袖)、白生地(長襦袢地、胴裏)、ニット(靴下)、風呂敷

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
031	(株) さが美	神奈川県平塚市	後染反物 (黒紋付 (冬用・夏用)、色無地)
032	(有) まるけい	静岡県富士市	後染反物 (色無地、黒紋付)
033	(有) 特選呉服専門店後藤	青森県むつ市	後染反物 (色無地、黒紋付)
034	(株) 小いけ	山形県鶴岡市	後染反物 (色無地、黒紋付、小紋)
035	(株) 伊と幸	京都市中京区	後染反物 (色無地、訪問着)、白生地 (表地、胴裏、帯地)、白生地 (表地 (天蚕糸交織))、白生地 (帯地 (天蚕糸交織))、婦人用ブラックフォーマル地、長襦袢
036	(株) 四季のきものおおこし	東京都杉並区	後染反物 (色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地 (表地)
037	(株) 和幸	埼玉県久喜市	後染反物 (色無地、黒紋付)
038	(株) 榎屋高尾	京都市北区	先染帯地 (袋帯)
039	(株) つるや	埼玉県川越市	後染反物 (色無地、黒紋付)、白生地 (表地)
040	(株) 越後屋	千葉県市川市	後染反物 (色無地、黒紋付)
041	(株) 小倉商店	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)、白生地 (結城紬)
042	柳 崇 (染織家 柳崇)	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
043	児玉京子 (染織家 児玉京子)	沖縄県竹富町	先染反物、先染帯地
044	草木染工房山村 山村多榮子	東京都八王子市	先染反物、先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超える)、先染服地、ストール
045	手織りよおん 長嶺亨子	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地、服飾品 (ストール)
046	祝嶺染織研究所	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地
047	(株) 龍工房	東京都中央区	帯締
048	からん工房 深石美穂	沖縄県石垣市	先染反物 (紋紬、緋)、先染帯地
049	たわた工房	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
050	山音 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地 (変三越、駒組))
051	やまと (株)	京都市下京区	後染反物
053	桜井 (株)	京都市北区	先染帯地
054	有栖川織物 (有)	京都市上京区	先染帯地
055	太田和 (株)	京都市中京区	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
056	(株) 岩田	京都市中京区	先染帯地
057	(有) 神原呉服店	千葉県銚子市	後染反物 (色無地、黒紋付)
058	浅山織物 (株)	京都市北区	先染帯地
059	(株) やまと	東京都渋谷区	先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)、白生地 (加賀友禅用)、先染着尺 (加賀友禅用)、和装小物 (帯揚)
060	田中種 (株)	大阪市中央区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、黒紋付、加賀友禅、色無地、すかし織着尺)、後染帯地 (九寸名古屋帯)、ニット (靴下、ネック&ボディ、ショルダー、アーム、タンクトップ、腹巻、手袋、ピロケース、肌襦袢、ネックウォーマー)、真綿布団、ハーフケット、布団カバー
061	(株) 京扇	東京都中央区	後染反物 (色無地)、胴裏 (パールトーン加工)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
062	(株) なごみや	横浜市都筑区	後染反物 (色無地、黒紋付)
063	丸池藤井 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)、八掛
064	久保商事 (株)	京都市中京区	和装小物 (帯揚、半衿)
065	加賀グンゼ (株)	石川県小松市	胴裏
066	千切屋 (株)	京都市中京区	後染反物 (訪問着、付下)、後染帯地
067	荒川 (株)	京都市下京区	和装小物 (帯締、帯揚)
069	(株) 紅輪 ((株) 紅輪 まるやま・京彩 グループ)	川崎市宮前区	後染反物 (色無地)、白生地 (表地 (紋意匠))
070	装いの道 (株)	東京都千代田区	白生地 (帯地、表地)、胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工、ぐんま 200、新小石丸)
071	(株) 高橋屋	岩手県一関市	胴裏 (灰汁浸加工)
072	おお又 (株)	大阪市旭区	胴裏 (灰汁浸加工)、ニット (靴下)
073	(株) 天野屋呉服店	栃木県小山市	胴裏 (ぐんま 200 (灰汁浸加工))、白生地 (表地)
074	(株) きもの潮見	愛媛県西条市	胴裏 (パールトーン加工)
075	(株) とみひろ	山形県山形市	胴裏 (酵素精練)、白生地
076	(株) 細安	福井県福井市	胴裏 (酵素精練)
077	京和きもの (株)	神奈川県厚木市	胴裏 (酵素精練)
078	(株) まるため	長野県長野市	胴裏 (トルマリン加工、パーリー加工)
079	(株) 小川屋	群馬県前橋市	胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工)
080	(株) エムラ	山口県防府市	胴裏 (酵素精練)
081	(株) 荒井呉服店	東京都八王子市	胴裏 (酵素精練)
082	(株) 牛島屋	富山県富山市	胴裏 (酵素精練)、後染反物 (小紋)
083	(株) 谷呉服店	福岡県筑紫野市	胴裏 (酵素精練)
084	(株) 登美屋	岩手県北上市	胴裏 (パールトーン加工)
085	(株) 川平屋	愛知県豊田市	胴裏 (パールトーン加工)、後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
087	(株) 大丸松坂屋百貨店	東京都江東区	裏地 (胴裏、比翼地 (振袖用))、長襦袢地
088	西陣織工業組合	京都市上京区	マフラー、セーター、カーディガン、ショール、ネクタイ
089	(株) あきやま	宮崎県綾町	先染反物、洋装品 (ショール、マフラー)
090	藤井絞 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)
092	(有) 結城屋	兵庫県洲本市	白生地 (表地)
093	(株) ウメショウ	岐阜県瑞穂市	白生地 (表地)
095	(有) カシワギ	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケット)、洋装品 (スーツ地、ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、シャツ))
097	(株) 平田組紐	東京都豊島区	帯締、帯締 (金銀糸が5%を超えるもの)、羽織紐 (男物、女物)
098	(株) 菱健	京都市中京区	後染反物 (色無地)
099	西野 (株)	京都市上京区	帯締、帯締 (金銀糸が5%を超えるもの)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
101	(株) 猪井	新潟県長岡市	後染反物 (色無地)、後染帯地
102	(株) たちばな	新潟県新発田市	後染反物 (色無地)、後染帯地
103	(株) 丸富美	新潟県十日町市	後染反物 (色無地)
104	(有) 絹もの屋まつなが	新潟県三条市	後染反物 (色無地)
105	(株) 山正山崎	愛知県豊橋市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
106	(有) こくぶん呉服店	福島県福島市	後染反物 (色無地)
107	(株) 染織近藤	岡山市北区	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
108	(株) 宮川呉服店	北海道湧別町	後染反物 (色無地、付下)
109	(株) 和らいふ	札幌市中央区	後染反物 (色無地)
110	(有) きものいなもと	大阪市天王寺区	後染反物 (色無地)
111	(株) 世きね	東京都中央区	後染反物
112	(株) 西陣まいづる	京都市上京区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの)、九寸帯 (金銀糸が5%を超えるもの)、紹九寸帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
113	奥順 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
114	りょうぜん天蚕の会	福島県伊達市	ショール (天蚕紬糸、天蚕ハイブリッド)
115	(有) 金屋	新潟県上越市	後染反物 (色無地)
116	(株) 鶴屋百貨店	熊本市中央区	胴裏 (酵素精練)、先染反物 (結城紬)
117	黄八丈めゆ工房	東京都八丈島	先染反物 (黄八丈)
118	京屋呉服店	長野県塩尻市	後染反物 (色無地)
119	(資) 車屋呉服店	横浜市南区	後染反物 (色無地、江戸小紋)、白生地 (表地)
120	宮崎 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)
121	(有) 内海呉服店 きもの千歳屋	東京都世田谷区	白生地 (表地 (色無地、訪問着))
122	長島繊維 (株)	栃木県足利市	後染反物 (色無地、小紋、付下、訪問着)、後染帯地
123	(株) しょう美	広島市西区	後染反物 (色無地)
124	(資) 治田呉服店	群馬県富岡市	後染反物 (色無地)
125	(株) 丸十	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋)、ニット (靴下)
126	(株) 竹田嘉兵衛商店	名古屋市緑区	胴裏 (酵素精練)
127	(有) 樋口屋京染店	埼玉県鴻巣市	白生地 (表地用 (紋意匠))
128	大門屋	福井県大野市	白生地 (牛首紬)、後染帯地 (牛首紬)、ショール (牛首紬)、先染反物 (飯田紬)、白生地着尺 (信州紬)
129	(株) 加藤萬	東京都中央区	和装小物 (帯揚、半衿)
130	(株) しゃらく	愛媛県新居浜市	後染反物 (小紋)
131	(資) 山中商店	名古屋市中区	後染反物 (小紋)
132	きもの処あだち	大阪府藤井寺市	後染反物 (小紋)
133	西川産業 (株)	東京都中央区	寝具寝装品 (掛布団)
134	繭工房華美	宮城県塩竈市	寝衣 (長肌着、短肌着)
136	(株) 和想	鳥取県鳥取市	後染反物 (小紋)
137	(株) 高島屋呉服店	島根県益田市	後染反物 (小紋)

表示者 登録番号	企業名	所在地	主な絹製品名
138	富岡シルクブランド協議会	群馬県富岡市	ネクタイ、禪、マフラー（手織り）
139	(株) 丸年呉服店	石川県金沢市	後染反物（小紋）
140	(株) 染織館	徳島県徳島市	後染反物（小紋）
141	(株) 京ろまん	奈良県奈良市	後染反物（小紋）、ニット（靴下）
142	五嶋 (株)	東京都文京区	帯締
143	(株) わふくや	浜松市中区	長襦袢地
144	(株) 布屋呉服店	静岡県富士宮市	胴裏（トルマリン加工）、後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
145	(有) 明石屋	東京都調布市	後染反物（色無地）、後染帯地
146	宮井 (株)	京都市下京区	風呂敷
147	(株) ナカノ	大分県大分市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠）、加賀友禅）
148	(株) 芦田呉服店	京都府綾部市	後染反物（色無地、小紋（変一越、紋意匠））
149	(株) 甲斐絹座	山梨県富士吉田市	ネクタイ、服飾品（スカーフ、ストール、トランクス）、パジャマ、袱紗
151	(株) 西松屋	兵庫県姫路市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
152	(株) 西尾呉服店	大阪市福島区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
153	勝山織物 (株)	京都市北区	先染帯地（金銀糸が5%を超えるもの）
154	(有) 石川	群馬県みどり市	後染反物（型友禅、羽二重色無地）、先染反物（ジャガード織）
156	那覇伝統織物事業協同組合	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地、かりゆしウェア、服飾品（ショール）
157	(株) ふじや	福岡県朝倉市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
158	きものおかだ	兵庫県香美町	後染反物（小紋）
159	(株) J S	山梨県富士吉田市	寝具寝装品（ふとん、ふとんカバー）、洋装品（スーツ地、コート地、スカート地、シャツ、ワンピース地）、服飾品（スカーフ、ストール、ネックカバー、アームカバー、レグカバー）
160	(株) マルシバ	東京都中央区	裏地（胴裏）、和装小物（袱紗）、ネクタイ、帯地（白塩瀬）
161	(株) みつわ	大阪府大東市	後染反物（小紋）
162	福純織物 (株)	福岡市西区	先染帯地（本袋男帯、八寸名古屋帯）
163	(株) 大谷屋	新潟市中央区	白生地（表地）
164	(株) 東京藤屋 (きものレディ着付け学院)	東京都品川区	白生地（表地）
166	近江真綿振興会	滋賀県米原市	寝具寝装品（布団、膝かけ）、服飾品（ショール）
167	(株) にしむら	兵庫県西脇市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
168	(有) きものおおにし	大阪府東大阪市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
169	(株) コノエ (そめの近江)	東京都豊島区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））、ニット（靴下）
170	(株) つたや	大阪府枚方市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
171	(株) 京呉服小糸伸輔の店	熊本市東区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
172	(株) マエノ	茨城県石岡市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
173	(株) 本きもの松葉	大阪府富田林市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
174	(有) 山田呉服店	長野県諏訪市	白生地（変り縮緬）、先染反物（大島紬）

表示者 登録番号	企業名	所在地	主な絹製品名
175	(株) 呉服のながいけ	長崎県南島原市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
176	(株) 京呉服平田	福井県福井市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
177	(株) 布四季庵ヨネオリ	山形県米沢市	先染反物 (置賜紬)、服飾品 (ストール)
178	奄美島絹推進協議会	鹿児島県龍郷町	先染反物 (大島紬)、先染帯地 (大島紬)
179	(株) 宮坂製糸所	長野県岡谷市	先染帯地 (八寸名古屋帯)
180	(有) シンセイ	長野県松本市	ニット (腹巻、靴下)
181	(株) 百花	横浜市中区	後染反物 (小紋 (変一越))
182	京呉服好一 (株)	京都市北区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
183	(株) パールトーン	京都市右京区	胴裏 (パールトーン加工)
184	きもの専科まさ井	兵庫県三木市	後染反物 (小紋 (変一越))
185	マテリアル ロープ 磨	東京都練馬区	後染反物 (小紋 (変一越))
186	(株) せんば呉服	兵庫県尼崎市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、訪問着)、先染反物 (緋着尺)、後染帯地
187	(株) 三越伊勢丹	東京都新宿区	白生地 (表地)、帯締、羽織紐、帯締 (金銀糸が5%を超えるもの)、ジャケット地
188	青山きもの (株) (青山きもの学院)	東京都港区	白生地 (表地、夏物表地)
189	ニット青木 (株)	東京都品川区	ニット (スーツ・パンツ、スーツ・スカート、ジャケット、アンサンブル、インナー)
190	渡豊工房	山形県山辺町	先染反物 (綾御召 (男物、女物)、市松綾御召 (草木染め)、もじり織 (草木染)、もじり織)、裏地 (紬八掛、駒八掛、紬駒八掛)、服飾品 (先染ストール (綾織草木染、もじり織草木染))
191	(株) リンクピース	福岡市博多区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
192	(有) 新宮 (きもの宮下)	宮崎県宮崎市	後染反物 (小紋 (変一越))
193	アトリエ I T O 伊藤峯子	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
194	遊生染織工房 築城則子	北九州市八幡東区	先染反物
195	杉浦晶子	愛知県高浜市	先染反物、先染帯地
196	(株) 夢工芸染の新井	東京都足立区	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
197	(株) 嗟が野	埼玉県川越市	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
198	(株) カインドウェア	東京都千代田区	服飾品 (ストール)、ネクタイ
199	(株) 新田	山形県米沢市	後染反物 (ぼかし着尺)
200	(株) ソーホー	京都市下京区	白生地 (紋意匠無地縮緬・紋意匠縮緬)、後染反物 (本加賀訪問着)、先染反物 (大島紬、御召)、先染帯地 (袋帯)、先染反物 (御召)
201	(株) すずのき	東京都品川区	後染反物 (訪問着・色無地)、白生地 (表地 (紋意匠))
202	メーカーズシャツ鎌倉 (株)	神奈川県鎌倉市	ニット (肌着)
203	(株) 丸本岩崎	北海道函館市	裏地 (胴裏絹)
204	(株) 緒方商店 (きもの心おがた)	愛媛県八幡浜市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
205	富士新幸 (株)	山梨県都留市	真綿布団

表示者 登録番号	企業名	所在地	主な絹製品名
206	(有) 浅井ローケツ	京都市右京区	後染反物 (色無地・藍染)
207	(有) 呉服のうめね	北九州市小倉北区	白生地 (変一越)
208	(株) ADESSO (きもの工房一休)	神戸市中央区	白生地 (変一越)
209	森秀織物 (株)	群馬県桐生市	先染反物 (御召)
210	(株) 龍村美術織物	京都市中京区	先染帯地 (本袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
211	(株) 長沼 (長沼静きもの学院)	東京都渋谷区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
212	(株) 国際商事	東京都板橋区	ショール
213	窪田織物 (株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物 (大島紬、本場大島紬 12 マルキ)
214	村江菊絵 (菊江) (村江菊絵)	東京都目黒区	先染帯地、先染反物
215	片倉工業 (株)	東京都中央区	ニット (靴下)
216	村田捺染加工 (有)	群馬県桐生市	服飾品 (ストール)
217	(株) 京のきもの綾錦	京都市下京区	後染反物 (訪問着、小紋、色無地)
218	あや工房	沖縄県西原町	先染反物 (首里織)、先染帯地 (首里織)
220	万兵 (株)	名古屋市中区	白生地 (表地)
221	横山 (株)	京都市中京区	後染反物 (小紋・訪問着)
222	(株) カネヒサクリエーション	石川県金沢市	白生地 (表地)
223	柳晋哉	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
224	(株) 一声	京都市下京区	白生地 (表地)
225	(株) ヤマノホールディングス きもの事業本部	東京都渋谷区	後染反物 (小紋・訪問着)、白生地 (帯地)
226	山口美術織物 (株)	京都市山科区	白生地 (表地・羽二重)
227	(株) 大醐	名古屋市中区	セリシン靴下、セリシン手袋
228	(株) 中忠商店	京都市上京区	セリシン靴下、セリシン手袋
229	(株) 帛撰	京都市北区	先染帯地 (名古屋帯、袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
230	(株) 京朋	京都市中京区	白生地 (表地)
231	(有) 縁巧	京都市北区	先染反物 (御召)、先染帯地 (名古屋帯 (組帯))
232	ウライ (株)	京都市下京区	後染反物 (小紋)、後染帯地 (袋帯 (表地のみ))
233	大橋メリヤス	群馬県桐生市	服飾品 (ニットストール)
234	宮田織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
235	(有) 中彦	京都市上京区	先染反物 (御袷 (五条袷))
236	大月俊幸	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)、先染着尺 (信州紬)
237	久保原由佳理	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)、先染着尺 (信州紬)
238	(株) やしま	広島県広島市	白生地 (表地 (紋意匠))
239	(株) 長谷川	京都市上京区	先染反物 (西陣お召)
240	永見 (株)	鳥取県米子市	白生地 (表地 (紋意匠))
241	京都和装 (株)	京都市下京区	白生地 (表地 (紋意匠))
242	(株) 前田源商店	山梨県富士吉田市	服飾品 (スカーフ、ストール)
243	近江真綿工房 原田	滋賀県米原市	寝具寝装品 (真綿ふとん (国産近江真綿ふとん))

一般財団法人大日本蚕糸会活動日誌 No. 71 (R3.7.1 ~ R3.9.30)

新型コロナウイルスの影響のため、7月12日～9月30日（東京都）まで緊急事態宣言が発出された。

月日	活 動 内 容 等
7/26	若手農家との意見交換会 (WEB 会議)
7/28	蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会幹事会 (WEB 会議)
7/29	令和3年度全国シルクビジネス協議会通常総会 (WEB 会議)
8/24	純国産絹マーク審査会 (WEB 会議) (2021年度第2次)

蚕糸絹関係博物館一覧

名 称	〒	住 所	電 話
一般財団法人北海道開拓の村	004-0006	北海道札幌市厚別区厚別町小野幌 50-1	011-898-2692
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16	0238-22-8141
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 87	0238-23-3525
夕鶴の里資料館 語り部の館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025 - 2	0238-47-5800
松ヶ岡開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ岡 29	0235-62-3985
公益財団法人致道（ちどう）博物館	997-0036	山形県鶴岡市家中新町 10 - 18	0235-22-1199
酒田市美術館	998-0055	山形県酒田市飯森山三丁目 17 - 95	0234-31-0095
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
結城市伝統工芸館	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018 - 1	0296-32-7949
紬の里	307-0001	茨城県結城市結城 2515	0296-32-8002
本場結城紬郷土館	307-0000	茨城県結城市浦町 116	0296-32-2121
本場結城紬染織資料館「手緒里」	307-0001	茨城県結城市結城 12-2	0296-33-3111
佐野市郷土博物館	327-0003	栃木県佐野市大橋町 2047	0283-22-5111
おやま本場結城紬クラフト館	323-0023	栃木県小山市中央町 3-7-1 ロブレビル 1F	0285-32-6477
足利織物伝承館	326-0814	栃木県足利市通 3-2589	0284-22-3004
足利まちなか遊学館	326-0814	栃木県足利市通 1-2673-1	0284-41-8201
足利織姫神社	326-0817	栃木県足利市西宮町 3889	0284-22-0313
那須野が原博物館	329-2752	栃木県那須塩原市三島 5 - 1	0287-36-0949
高崎市歴史民俗資料館	370-0027	群馬県高崎市上滝町 1058	027-352-1261
群馬県立歴史博物館	370-1293	群馬県高崎市綿貫 992 - 1（群馬の森公園内）	027-346-5522
おかいこステーション	370-3401	群馬県高崎市倉渕町権田 5344 - 1235	027-340-6060
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
富岡製糸場	370-2316	群馬県富岡市富岡 1 - 1	0274-64-0005
群馬県立世界遺産センター	370-2316	群馬県富岡市富岡 1450 - 1	0274-67-7821
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地（敷島公園バラ園内）	027-231-9875
織物参考館“紫（ゆかり）”	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
桐生織物記念館（桐生織物協同組合）	376-0044	群馬県桐生市永楽町 6 - 6	0277-43-2510
コノドント館みどり市大間々博物館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
たくみの里	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-2211
群馬県立世界遺産センター（セカイト）	370-2316	群馬県富岡市富岡 1450-1	0274-67-7821
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
ちちぶ銘仙館	368-0032	埼玉県秩父市熊木町 28-1	0494-21-2112
秩父ふるさと館	368-0044	埼玉県秩父市本町 3-1	0494-23-7300
きもの芸術館（一般財団法人国際文化きもの学会）	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F～8F	03-3400-0286
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3 - 22 - 7	03-3299-2387
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3 - 26 - 2	0424-81-7656
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2 - 24 - 16	042-388-7163
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鎌水 989 - 2	0426-76-4064

名 称	〒	住 所	電 話
八王子市郷土資料館	192-0902	東京都八王子市上野町 33	042-622-8939
町田市立博物館	194-0032	東京都町田市本町田 3562	042-726-7531
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽 741	042-558-2561
シルク博物館	231-0023	横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
神奈川県立歴史博物館	231-0006	横浜市中区南仲通 5-60	045-201-0926
相模田名民家資料館	229-1124	相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)	042-761-7118
小千谷織物工房 小千谷織物同業協同組合	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25 小千谷市総合産業会館サンプラザ内	0258-83-2329
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1 - 8 - 25	0258-83-4800
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
塩沢つむぎ記念館 (織の文化館)	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227 - 14	0257-82-4888
白山工房 (織りの資料館)	920-2501	石川県白山市白峰村又 17	076-259-2859
はたや記念館ゆめおーれ勝山	911-0802	福井県勝山市昭和町 1 - 7 - 40	0779-87-1200
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619 - 1	055-269-3399
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内	026-245-0407
常田館 (絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1 - 10 - 3 笠原工業 (株) 内	0268-22-1230
繊維学部資料館	386-8567	長野県上田市常田 3-15-1 信州大学繊維学部内	0268-21-5454
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内)	0268-22-1274
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564 - 1	0268-42-2158
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ (株) 内	0268-41-1800
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
日本司法博物館 (松本歴史の里)	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196 - 1	0263-47-4515
岡谷蚕糸博物館 (シルクファクトおかや)	394-0021	長野県岡谷市郷田 1 丁目 4 番 8 号	0266-23-3489
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618 - 24	0263-83-3835
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299 - 1	0574-28-1110
石川繊維資料館	400-0886	愛知県豊橋市東小田原町 109 - 1	0532-52-5265
豊田市稲武郷土資料館ちゅーま	441-2524	愛知県豊田市黒田町南水別 713	0565-82-3439
豊橋市民俗資料収蔵室	440-0021	愛知県豊橋市多米町滝の谷 34-1-1	0532-63-2026
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204 - 1	059-293-0010
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514	0749-37-4131
織物文化館	601-1123	京都市左京区静海市原町 265 川島織物セルコン内	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
(公財) 手織技術振興財団・織成館	602-8482	京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
千總ギャラリー	604-8166	京都市中京区御倉町 80 番地千總本社ビル 2 階	075-211-2531
絹の白生地資料館	604-8176	京都市中京区龍池町 448 - 2 伊と幸ビル	075-254-5884
まゆ村	616-8384	京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ (株) 周辺敷地内	0773-43-1050

名 称	〒	住 所	電 話
織元田勇	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112 田勇機業（株）内	0772-72-0307
上垣守国（うえがきもりくに）養蚕記念館	667-0321	兵庫県養父市大屋町蔵垣 246 - 2	079-669-1580
デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)	651-0082	神戸市中央区小野浜町 1-4	078-325-2201
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町越知甲 1577 番地	0889-26-1002
藤村製絲記念館	781-6402	高知県安芸郡奈半利町乙 2630	0887-38-4711
美馬蚕糸会館	771-2107	徳島県美馬市美馬町谷口 5-1	0883-63-2502

蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

【行政】

農林水産省
経済産業省

<http://www.maff.go.jp>
<http://www.meti.go.jp>

【蚕糸絹業関係団体】

(一財) 大日本蚕糸会
(一財) 大日本蚕糸会 ジャパンシルクセンター
(一社) 日本絹人繊維物工業会
(一財) 日本真綿協会
丹後織物工業組合
西陣織工業組合
T A F S (東京織物卸商業組合)
K O M S (京都織物卸商業組合)
(公財) 京都和装産業振興財団
(一財) 伝統的工芸品産業振興協会
蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会

<http://www.silk.or.jp>
<http://www.silk-center.or.jp>
<http://www.kinujinsen.com>
<http://www.mawata.or.jp>
<http://www.tanko.or.jp>
<http://www.nishijin.or.jp>
<http://www.tafs.or.jp>
<http://www.fashion-kyoto.or.jp>
<http://www.wasou.or.jp/wasou/index.html>
<http://www.kougeihin.jp>
<http://takaraginu.com>

【大学・試験研究機関】

(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 <http://www.naro.affrc.go.jp>
(国) 北海道大学応用分子生物学分野応用分子昆虫学研究室 <http://www.agr.hokudai.ac.jp/rfoa/abs/abs2-1.html>
(国) 岩手大学農学部生命資源科学コース応用昆虫学研究室 <http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/department2/agri/life.html>
(国) 宇都宮大学農学部分子昆虫学研究室 <http://shigen.mine.utsunomiya-u.ac.jp/insectbiotechnology/>
(国) 東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室
<http://papilio.ab.a.u-tokyo.ac.jp/igb/index-J.html>
(国) 東京農工大学農学部生物生産学科蚕学研究室 <http://www.tuat.ac.jp/~kaiko>
(国) 東京農工大学工学部生命工学科 <http://www.tuat.ac.jp/~seimei>
(国) 名古屋大学農学部 <http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>
(国) 信州大学繊維学部 <http://www.tex.shinshu-u.ac.jp>
(国) 京都工芸繊維大学工芸科学部応用生物学課程 <http://www.bio.kit.ac.jp>
(国) 鳥取大学農学部生物資源環境学科昆虫機能学教育研究分野 <http://muses.muses.tottori-u.ac.jp>
(国) 山口大学農学部生物資源環境科学府蚕学研究室 <http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/bioenvi/research2.html>
(国) 九州大学大学院生物資源環境科学府蚕学研究室 <http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/sangaku>
(国) 九州大学大学院農学研究院遺伝子資源開発研究センター家蚕遺伝子開発分野
<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/sanshi/insect/top.html>
群馬県蚕糸技術センター <http://www.pref.gunma.jp/07/p14710007.html>
群馬県繊維工業試験場 <http://www.pref.gunma.jp/07/p20210013.html>
京都府織物・機械金属振興センター <http://www.pref.kyoto.jp/oriki>
(地独) 京都市産業技術研究所 <http://www.tc-kyoto.or.jp>
(公財) 衣笠繊維研究所 <http://krf-textile.com>
(一財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学技術研究所 <http://www.silk.or.jp>

【学会】

日本シルク学会
(一社) 日本蚕糸学会
日本野蚕学会

<http://jsst.sakura.ne.jp>
<http://jsss.or.jp>
<http://jswsmo.appspot.com>

【博物館】

(一財) シルクセンター国際貿易観光会館 シルク博物館
群馬県立日本絹の里
愛媛県西予市野村シルク博物館
東京農工大学科学博物館

<https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum>
<http://www.nippon-kinunosato.or.jp>
<http://www.city.seiyo.ehime.jp/soshiki/silkmuseum>
<http://www.tuat.ac.jp/~museum>

【博物館】

駒ヶ根シルクミュージアム

<http://komagane-silk.com/>

織成館（京都市上京区）

<http://orinasukan.skr.jp>

高崎市染料植物園

<http://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/201401140097>

群馬県立歴史博物館

<http://grekisi.pref.gunma.jp>

岡谷蚕糸博物館（シルクファクトおかや）

<http://silkfact.jp>

はたや記念館ゆめおーれ勝山

<http://www.city.katsuyama.fukui.jp/hataya>

美馬蚕糸館

<https://mimasanshikan.wixsite.com/mimasanshikan>

【富岡製糸場と絹産業遺産群】

富岡製糸場

<http://www.tomioka-silk.jp/hp/index.html>

群馬県立世界遺産センター

<https://worldheritage.pref.gunma.jp/whc/>

ぐんま絹遺産

<http://worldheritage.pref.gunma.jp/kinuisan>

上毛新聞社関連記事

http://jomo-news.co.jp/ns/series/silk_index.html

統計資料の年間掲載計画

＜国内＞	1月号	4月号	7月号	10月号
(1) 蚕糸絹業の概要	○	○	○	○
(2) 養蚕農家数	○	○	○	○
(3) 繭生産数量の推移	○	○	○	○
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数		○		
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量		○		
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移		○		
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	○	○	○	○
(8) 生糸の織度別生産数量の推移		○		○
(9) 絹需給の推移(生産量換算試算)	○	○	○	○
(10) 品目別・二次製品輸入数量(生糸量換算試算)		○		
(11) 製糸工場の原料繭需給	○	○	○	○
(12) 製糸工場の操業状況	○	○	○	○
(13) 生糸在庫数量の内訳	○	○	○	○
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況		○		
(15) 生糸の原産国別輸入数量		○		○
(16) 絹糸の原産国別輸入数量		○		○
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価		○		○
(18) 絹織物生産数量	○	○	○	○
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	○	○	○	○
＜海外＞				
(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	○	○	○	○
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量		○		
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	○	○	○	○

統計資料目次

<国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	36
(2) 養蚕農家数の推移	37
(3) 繭生産数量の推移	38
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数	
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量	
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移	
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	39
(8) 生糸の織度別生産数量の推移	40
(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）	41
(10) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）	
(11) 製糸工場の原料繭需給	42
(12) 製糸工場の操業状況	43
(13) 生糸在庫数量の内訳	44
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況	
(15) 生糸の原産国別輸入数量	45
(16) 絹糸の原産国別輸入数量	46
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価	47
(18) 絹織物生産数量	48
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	49

<海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	51
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	52

一資料・国内一

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 item 暦年 Calendar Year	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人織機 設備台数 (保有台数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq. meters
2000	3,280	1,244	379	9.3	8	67	62.9	32,275
2001	2,730	1,031	378	7.2	8	63	56.8	29,801
2002	2,360	880	373	6.5	17	68	51.2	26,826
2003	2,070	780	377	4.8	14	64	48.7	23,935
2004	1,850	683	369	4.4	13	62	45.6	21,895
2005	1,591	626	393	2.5	10	62	43.7	19,816
2006	1,345	505	375	2.0	9	82	41.6	18,507
2007	1,169	433	370	1.8	8	83	40.0	15,466
2008	1,021	382	374	1.6	6	80	38.1	14,043
2009	915	327	357	1.2	6	60	33.6	9,955
2010	756	265	351	0.9	7	49	35.9	3,611
2011	627	220	351	0.7	7	52	34.7	3,152
2012	571	202	354	0.5	7	35	33.3	2,912
2013	486	168	346	0.4	9	35	32.0	2,940
2014	393	149	379	0.4	9	35	—	2,734
2015	368	135	367	0.4	8	30	—	2,316
2016	349	130	372	0.3	8	26	—	2,243
2017	336	125	372	0.3	8	28	—	2,195
2018	293	110	375	0.3	8	46	—	2,113
2019	264	92	348	0.3	8	36	—	1,939
2020	228	80	351	0.2	8	31	—	1,214
前年比(%) 2020/2019	86.4	87.0	100.7	66.7	100.0	86.1	—	62.6

資料 ・ 2008年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。

・ 2009年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び(一財)大日本蚕糸会調査、2011年以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。

・ 2009年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会調査、2018年11月以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。

・ 2008年以前の絹業は経済産業省調査であり、2009年以降絹業は(一社)日本絹人織機工業会調査である。

(注) 2006年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。

(注) 製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、2002年以降はすべての製糸工場のものである。

Source: ・ Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)

・ National Federation of Agricultural Co-operative Associations and the Dainippon Silk Foundation

(Sericultural Industry, after 2009). The Dainippon Silk Foundation (after 2011)

・ Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (Silk-Reeling, after 2009)

The Dainippon Silk Foundation (after Nov. 2018)

・ The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric, before 2008). Japan Silk & Rayon Weaver's

Association (after 2009)

Note: Silk Fabric Production from 2006 includes spun silk fabrics.

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all reeling mills)

(2) 養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)
(Unit : number)

暦年 Calendar Year 項目 Item	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
2000	3,280	2,970	2,170	2,700
2001	2,730	2,410	1,870	2,270
2002	2,360	1,992	1,720	1,918
2003	2,070	1,875	1,503	1,751
2004	1,850	1,621	1,371	1,551
2005	1,591	1,420	1,061	1,345
2006	1,345	1,215	852	1,102
2007	1,169	1,052	726	988
2008	1,021	929	613	857
2009	915	814	647	755
2010	756	650	494	637
2011	627	562	358	531
2012	571	514	319	462
2013	486	422	260	399
2014	393	359	230	328
2015	368	323	221	313
2016	349	310	209	310
2017	336	307	201	280
2018	293	254	179	262
2019	264	233	153	224
2020	228	204	129	188
前年比(%) 2020/2019	86.4	87.6	84.3	83.9

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年）（一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source : The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(3) 繭生産数量の推移
Cocoon Production

項目 Item 暦年 Calendar Year	年計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm			
	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
	t	t	t	t	kg	kg	kg	kg
2000	1,244	500	320	424	379	169	148	157
2001	1,031	391	275	365	378	162	147	161
2002	880	330	231	320	373	166	134	167
2003	775	313	210	253	374	167	140	144
2004	675	256	176	243	369	158	128	157
2005	626	243	165	218	396	171	156	162
2006	505	209	122	173	375	172	143	157
2007	433	175	110	148	371	166	152	150
2008	382	147	96	139	374	158	157	162
2009	327	124	85	118	357	152	131	156
2010	265	107	60	98	351	165	121	154
2011	220	95	49	76	351	169	136	143
2012	202	79	50	73	354	155	156	159
2013	168	61	41	67	346	145	158	168
2014	149	55	36	58	379	153	157	176
2015	135	49	32	54	368	151	147	174
2016	130	47	32	50	372	153	155	162
2017	125	47	29	49	372	153	144	175
2018	110	41	24	46	375	161	134	176
2019	92	35	22	35	355	153	144	158
2020	80	31	19	30	350	151	148	158
前年比 (%) 2020/2019	87.0	88.6	86.4	85.7	98.5	98.8	102.9	99.8
2020年 構成比 (%)	100.0	38.8	23.8	37.5				

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年） （一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source: The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export of Silk Yarn and Silk Fabric

項目 Item	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量	輸入数量	輸出数量	国内引渡数量	期末在庫数量	輸入数量	輸出数量	輸入数量	輸出数量
	Production (A)	Imports (B)	Exports (C)	Domestic Deliveries (D)	Ending Stocks (E)	Imports (F)	Exports (G)	Imports (H)	Exports (I)
暦年 Calendar Year	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
2010	882	12,207	595	13,220	3,329	16,306	324	8,930	6,302
2011	731	9,323	578	10,349	2,456	17,526	427	8,422	6,229
2012	506	10,032	419	10,274	2,180	16,179	320	7,218	5,545
2013	409	9,332	292	9,919	1,712	15,844	426	6,662	5,431
2014	446	8,235	14	8,726	1,653	14,820	330	6,098	5,125
2015	378	6,479	0	7,194	1,410	14,051	302	5,468	5,085
2016	317	6,548	0	6,869	1,406	12,094	177	5,207	4,940
2017	339	7,560	1	7,557	1,747	14,560	245	4,897	4,785
2018	339	5,038	1	5,793	1,330	11,092	213	4,151	4,854
2019	269	4,852	4	5,018	1,429	10,920	165	3,893	4,750
2020	203	2,443	0	3,009	1,066	6,226	167	2,551	3,635
2019 -									
1	25	382	0	382	1,355	855	18	486	362
2	27	358	3	399	1,338	644	16	172	365
3	26	870	0	710	1,524	920	5	266	484
4	18	1	1	264	1,278	937	23	305	444
5	19	595	0	464	1,428	1,033	19	310	369
6	22	301	0	307	1,444	834	8	359	389
7	23	392	0	418	1,441	922	14	395	417
8	11	427	0	430	1,449	1,104	12	280	378
9	28	390	0	496	1,371	932	8	325	380
10	21	386	1	301	1,476	911	12	278	406
11	24	446	0	530	1,416	974	12	330	404
12	25	304	0	316	1,429	855	19	387	351
2020 -									
1	20	549	0	588	1,410	1,178	15	341	275
2	23	124	0	166	1,391	303	41	139	378
3	19	682	0	750	1,342	962	37	262	398
4	23	—	0	134	1,231	662	15	233	307
5	16	280	0	242	1,285	854	10	244	223
6	14	209	0	146	1,362	422	3	169	227
7	15	24	0	97	1,304	283	11	256	268
8	11	55	0	100	1,270	249	4	121	239
9	9	73	0	151	1,201	308	4	214	333
10	16	101	0	142	1,176	215	7	181	346
11	15	63	0	149	1,105	305	11	247	333
12	22	283	0	344	1,066	487	9	146	308
2021 -									
1	11	123	0	141	1,059	428	6	273	286
2	14	118	0	175	1,016	504	4	199	299
3	16	371	0	414	989	339	7	223	379
4	12	5	0	121	885	451	5	253	363
5	12	506	0	479	924	460	20	202	351
6	13	178	0	200	915	619	13	251	377
7	13	266	0	303	891	772	12	242	230

資料：(A) (C) (D) (E) 農林水産省生産局（～2010.3） 中央蚕糸協会及び日本生糸問屋協会（2010.4～2012.11）
中央蚕糸協会（2012.12～2018.10）（一財）大日本蚕糸会（2018.11～） (B) (F) (G) (H) (I) 財務省関税局

備考：1. 国内引渡数量(D) = {前月在庫数量+(A)+(B)} - {(C)+(E)}。

2. kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

3. (D)と(E)は2012年11月までと同年12月以降調査方法が変更したため連続性はない。

Source：(A) (C) (D) (E) The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
（～2010.3）、Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (2010.4～2012.11)、
Central Raw Silk Association (2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)
(B) (F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：1. Domestic deliveries(D) = {Stock at end of the previous month+(A)+(B)} - {(C)+(E)}.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(8) 生糸の織度別生産数量の推移

Raw Silk Production by Sizes

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

項目 Item	生 糸 Raw Silk					
	計 Total	18デニール以下 17/19or 17/19 finer	21デニール 20/22	27デニール 26/28	31デニール 30/32	その他 Others
暦 年 Calendar Year						
2010	882	1	179	316	86	300
2011	731	1	188	249	89	204
2012	506	0	109	202	73	82
2013	409	0	109	105	57	138
2014	446	0	114	116	62	155
2015	378	0	146	86	36	110
2016	317	0	98	103	38	78
2017	339	0	107	95	53	84
2018	339	0	106	104	65	63
2019	269	1	102	46	30	90
2020	203	1	51	76	4	71
2019 -						
1	25	—	11	0	8	6
2	27	—	11	0	8	8
3	26	—	12	3	3	8
4	18	—	3	7	3	5
5	19	—	4	5	0	10
6	22	—	9	6	2	5
7	23	—	9	5	1	8
8	11	—	6	0	0	5
9	28	1	9	8	2	8
10	21	—	7	2	2	10
11	24	—	9	2	0	13
12	25	—	12	8	1	4
2020 -						
1	20	—	4	11	0	5
2	23	—	7	9	0	7
3	19	—	8	5	0	6
4	23	—	9	4	2	8
5	16	—	1	6	2	7
6	14	—	4	5	0	5
7	15	—	2	7	0	6
8	11	1	1	5	0	4
9	9	—	1	4	0	4
10	16	—	6	1	0	9
11	15	—	6	4	0	5
12	22	—	2	15	0	5
2021 -						
1	11	—	6	0	0	5
2	14	—	4	3	0	7
3	16	—	5	6	0	5
4	12	—	6	2	0	4
5	12	—	2	5	0	5
6	13	—	1	8	0	4
7	13	—	2	5	0	6

資料：農林水産省生産局（～2010.3）中央蚕糸協会（2010.4～2018.10）（一財）大日本蚕糸会（2018.11～）

備考：kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source: The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2010.3).

Central Raw Silk Association (2010.4～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

Remarks: Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(9) 絹需給の推移 (生糸量換算試算)

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)

(Unit: 1,000Bales of 60kg)

項目 Item 曆年 Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④						期末 在庫 Ending Stocks ④	
	期初 在庫 Opening Stocks	生産 Produc- tion	輸入 Import					輸出 Export					内需 Domestic Demand ②-③			
			計 Total	生糸 Raw Silk	絹糸 Silk Yarn	織物 Fabrics	二次 The Second	計③ Total	生糸 Raw Silk	絹糸 Silk Yarn	織物 Fabrics	二次 The Second				
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2001	350	113	7	230	30	23	25	152	237	17	0	0	15	2	220	113
2002	366	113	7	246	32	28	24	162	261	18	0	0	16	2	243	105
2003	361	105	5	251	31	33	25	162	261	20	2	0	17	1	241	100
2004	353	100	4	249	26	30	25	168	268	30	11	0	18	1	238	85
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2006	334	84	2	248	20	32	24	172	257	22	0	1	20	1	235	77
2007	293	77	2	214	13	19	21	161	222	21	0	1	18	2	201	71
2008	276	71	2	203	15	23	20	145	213	16	0	0	15	1	197	63
2009	237	63	1	173	12	16	15	130	190	16	0	0	15	1	174	47
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	182	16	0	0	15	1	166	43
2011	227	43	1	183	9	18	14	142	180	16	0	0	15	1	164	47
2012	230	47	1	182	10	16	14	142	184	15	0	0	14	1	169	46
2013	248	46	0	202	9	16	13	164	203	14	0	0	13	1	189	45
2014	225	45	0	180	8	15	12	145	180	14	0	0	13	1	166	45
2015	221	45	0	176	6	14	11	145	176	17	0	0	12	5	159	45
2016	240	45	0	195	7	12	14	162	195	15	0	0	9	6	180	45
2017	239	45	0	194	8	15	9	162	194	21	0	0	11	10	172	45
2018	205	45	0	160	5	11	8	135	160	26	0	0	10	16	134	45
2019	206	45	0	161	5	11	8	137	161	25	0	0	10	15	136	45
2020	182	45	0	137	2	6	6	123	137	27	0	0	8	19	110	45
前年比(%) 2020/ 2019	88	100	—	85	41	55	75	90	85	107	—	—	80	127	81	100

資料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報

備考：2013年から期末在庫を45千俵とする。

Source: "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics"

(11) 製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills

(単位：生繭. t)

(Unit: Ton by fresh weight)

年 月 Year & Month	項 目 Item	総 計 Grand Total		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year				
	2010	240	299	263
	2011	189	162	237
	2012	185	209	183
	2013	142	137	188
	2014	128	158	158
	2015	116	159	115
	2016	115	110	120
	2017	103	120	103
	2018	92	117	78
	2019	89	97	70
	2020	72	73	69
2019 -	1	2	9	71
	2	0	10	61
	3	0	9	52
	4	0	7	45
	5	0	7	38
	6	18	8	48
	7	13	8	53
	8	14	4	63
	9	0	9	54
	10	22	8	68
	11	16	9	75
	12	4	9	70
2020 -	1	0	7	63
	2	0	8	55
	3	0	7	47
	4	1	8	40
	5	0	5	35
	6	14	5	44
	7	12	5	51
	8	13	5	59
	9	3	3	59
	10	24	6	77
	11	5	6	76
	12	1	8	69
2021 -	1	0	4	65
	2	0	4	60
	3	0	5	54
	4	0	4	50
	5	0	4	46
	6	14	5	55
	7	6	5	56

資料：農林水産省生産局(～2010.3) 中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～2012.11)

中央蚕糸協会(2012.12～2018.10) (一財)大日本蚕糸会(2018.11～)

備考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～2012.11).

Central Raw Silk Association(2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation(2018.11～)

Remarks：1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(12) 製糸工場の操業状況
Activities of Reeling Mills

年 月 Year & Month	項 目 Item	運転工場数 Operating Reeling Mills	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%) Operating Ratio	操業日数 Days Operated	従業者数 Number of Workers
			運転可能 Operable	運 転 Operating			
暦 年 Calendar Year							
	2010	7	118	58	49	247	73
	2011	7	110	57	52	252	65
	2012	7	110	39	35	243	56
	2013	9	110	38	35	249	57
	2014	9	110	38	35	261	58
	2015	8	110	33	30	263	53
	2016	8	110	29	26	267	55
	2017	8	110	31	28	266	59
	2018	8	74	34	46	253	57
	2019	8	74	27	36	239	51
	2020	8	74	23	31	218	48
2019 -	1	7	74	36	49	20	56
	2	6	74	36	49	20	52
	3	7	74	34	46	21	56
	4	6	74	21	28	20	42
	5	6	74	19	26	21	42
	6	7	74	26	35	21	45
	7	7	74	23	31	18	46
	8	7	74	14	19	17	45
	9	7	74	32	43	21	51
	10	8	74	28	38	20	54
	11	8	74	31	42	20	54
	12	7	74	28	38	20	51
2020 -	1	7	74	32	43	19	50
	2	7	74	26	35	20	49
	3	7	74	27	36	22	49
	4	7	74	29	39	20	50
	5	7	74	27	36	15	50
	6	8	74	19	26	14	53
	7	8	74	17	23	22	52
	8	6	74	17	23	14	38
	9	6	74	15	20	19	37
	10	6	74	9	12	22	37
	11	7	74	27	36	14	48
	12	7	74	28	38	17	48
2021 -	1	6	74	16	22	14	38
	2	6	74	21	28	14	38
	3	6	74	21	28	18	35
	4	6	74	15	20	16	35
	5	6	74	13	18	15	35
	6	7	74	12	16	22	37
	7	7	74	12	16	22	37

資料：農林水産省生産局（～2010.3）中央蚕糸協会及び（社）日本生糸問屋協会（2010.4～2012.11）

中央蚕糸協会（2012.12～2018.10）（一財）大日本蚕糸会（2018.11～）

備考：1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries（～2010.3）.

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association（2010.4～）.

Central Raw Silk Association（2012.12～2018.10）. The Dainippon Silk Foundation（2018.11～）

Remarks：1. The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

2. Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.

3. Number of workers are those on payroll as of end of period.

(13) 生糸在庫数量の内訳
Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	項 目 Item	計 Total	製糸工場 Filatures Mills	生糸市場外 売買業者 Domestic Dealers	生糸輸出 入業者 Ex and Importers
暦 年 Calendar Year					
	2010	3,329	319	2,354	656
	2011	2,456	288	1,651	517
	2012	2,180	124	2,056	
	2013	1,712	110	1,602	
	2014	1,653	78	1,575	
	2015	1,410	94	1,316	
	2016	1,406	130	1,276	
	2017	1,747	156	1,591	
	2018	1,330	230	1,100	
	2019	1,429	238	1,191	
	2020	1,066	178	888	
2019 -	1	1,355	230	1,125	
	2	1,338	246	1,092	
	3	1,524	239	1,285	
	4	1,278	236	1,042	
	5	1,428	239	1,189	
	6	1,444	245	1,199	
	7	1,441	242	1,199	
	8	1,449	238	1,211	
	9	1,371	239	1,132	
	10	1,476	233	1,243	
	11	1,416	238	1,178	
	12	1,429	238	1,191	
2020 -	1	1,410	196	1,214	
	2	1,391	178	1,213	
	3	1,342	178	1,164	
	4	1,231	186	1,045	
	5	1,285	194	1,091	
	6	1,362	181	1,181	
	7	1,304	181	1,123	
	8	1,270	180	1,090	
	9	1,201	170	1,031	
	10	1,176	166	1,010	
	11	1,105	168	937	
	12	1,066	178	888	
2021 -	1	1,059	182	877	
	2	1,016	183	833	
	3	989	189	800	
	4	885	183	702	
	5	924	186	738	
	6	915	186	729	
	7	891	184	707	

資料：農林水産省生産局(～2010.3) 中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～2012.11)
中央蚕糸協会(2012.12～2018.10) (一財)大日本蚕糸会(2018.11～)

Source: The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).
Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～2012.11).
Central Raw Silk Association(2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation(2018.11～)

(15) 生糸の原産国別輸入数量
Raw Silk Imports

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

国名 Country	計 Total	中国 China	ブラジル Brazil	ベトナム Vietnam	タイ Thailand	その他 Others
年 月 Year & Month						
暦年 Calendar Year						
2010	12,209 (65)	8,411 (40)	3,706 (25)	—	32	—
2011	9,323 (63)	7,170 (32)	2,136 (30)	—	5	—
2012	10,032 (49)	8,628 (36)	1,403 (13)	—	—	—
2013	9,332 (98)	8,047 (59)	1,275 (34)	10 (5)	—	—
2014	8,241 (90)	7,001 (75)	1,143 (15)	70	0	20
2015	6,479 (58)	5,569 (49)	887 (9)	20	2	—
2016	6,546 (52)	5,378 (44)	1,142 (8)	24	2	—
2017	7,560 (68)	6,008 (62)	1,456 (5)	91	2	1
2018	5,038 (51)	3,484 (46)	1,446 (5)	50	59	—
2019	4,852 (67)	3,620 (51)	1,228 (13)	—	3 (3)	—
2020	2,443 (30)	1,284 (25)	1,145 (5)	—	—	4
2019 - 1	382 (8)	299 (5)	80	—	3 (3)	—
2	358	236	122	—	—	—
3	870 (12)	686 (7)	183 (5)	—	—	—
4	1	1	—	—	—	—
5	595 (11)	449 (11)	146	—	—	—
6	301	177	124	—	—	—
7	392 (3)	328	64 (3)	—	—	—
8	427	270	156	—	—	—
9	390 (10)	319 (10)	71	—	—	—
10	386	316	71	—	—	—
11	446 (13)	321 (8)	125 (5)	—	—	—
12	304 (9)	217 (9)	86	—	—	—
2020 - 1	549 (1)	333	216 (1)	—	—	—
2	124	5	119	—	—	—
3	682 (11)	408 (7)	274 (4)	—	—	—
4	—	—	—	—	—	—
5	280 (10)	62 (10)	218	—	—	—
6	209	125	84	—	—	—
7	24 (3)	19 (3)	5	—	—	—
8	55	32	23	—	—	—
9	73	13	60	—	—	—
10	101 (5)	65 (5)	36	—	—	—
11	63	63	—	—	—	—
12	283	168	111	—	—	4
2021 - 1	123	57	66	—	—	—
2	118	108	10	—	—	—
3	371 (5)	260	111 (5)	—	—	—
4	5	5	—	—	—	—
5	506 (10)	363 (10)	143	—	—	—
6	178 (5)	134 (5)	45	—	—	—
7	266	197	70	—	—	—

資料：財務省関税局

備考：1. kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

2. () 書きは、玉糸の輸入数量で内数である。

Source: The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks: 1. Country volume may not add up the total volume due to round off.

2. Figures in parenthesis indicate the break down for doupion silk imports.

(16) 絹糸の原産国別輸入数量
Silk Yarn Imports

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	国 名 Country	計 Total	中 国 China	ベトナム Vietnam	イタリア Italy	アメリカ USA	ブラジル Brazil	その他 Others
暦 年 Calendar Year								
2010		16,306	9,675	4,161	16	—	1,716	205
2011		17,526	10,384	5,129	7	—	1,131	212
2012		16,179	9,924	4,908	15	—	1,109	223
2013		15,844	9,148	5,783	33	—	878	3
2014		14,820	8,190	5,733	8	—	867	22
2015		14,051	7,928	5,586	4	0	531	2
2016		12,094	7,289	4,074	16	0	711	4
2017		14,560	8,431	5,256	10	0	862	0
2018		11,092	6,217	4,031	10	0	802	32
2019		10,920	6,658	3,489	16	—	757	1
2020		6,226	3,516	2,124	3	0	582	1
2019 -	1	855	545	251	3	—	57	—
	2	644	391	189	3	—	61	—
	3	920	569	256	7	—	89	—
	4	937	672	255	1	—	8	1
	5	1,033	535	401	—	—	96	—
	6	834	518	234	—	—	83	—
	7	922	572	327	0	—	22	—
	8	1,104	671	310	—	—	123	—
	9	932	546	355	1	—	30	—
	10	911	549	309	1	—	52	—
	11	974	569	298	1	—	106	—
	12	855	519	304	1	—	30	0
2020 -	1	1,178	715	348	1	—	114	—
	2	303	20	240	0	—	43	—
	3	962	536	329	1	—	96	—
	4	662	345	226	0	—	91	—
	5	854	544	256	—	—	53	—
	6	422	271	115	—	0	35	—
	7	283	187	96	0	—	—	—
	8	249	141	95	—	—	14	—
	9	308	141	105	—	—	60	1
	10	215	89	90	1	—	35	—
	11	305	206	99	—	—	—	—
	12	487	322	124	—	—	40	—
2021 -	1	428	227	145	—	—	55	—
	2	504	308	196	1	—	—	—
	3	339	241	73	—	0	26	—
	4	451	298	153	—	—	—	—
	5	460	226	144	—	—	90	—
	6	619	437	172	0	—	10	—
	7	772	311	461	—	—	—	—

資料：財務省関税局

備考：kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

Source: The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks: Country volume may not add up the total volume due to round off.

(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価
Raw Silk and Silk Yarn Imports in Major Countries

単位：俵、円/Kg
Unit: bale of 60kg, yen/kg

項目 Item	輸入生糸（通関ベース） Raw Silk Imprt				輸入絹糸（通関ベース） Silk Yarn Import					
	中国 China		ブラジル Brazil		中国 China		ブラジル Brazil		ベトナム Vietnam	
	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price
暦年 Calendar Year										
2010	8,411	3,667	3,706	3,773	9,675	3,730	1,706	4,161	4,606	3,411
2011	7,170	4,469	2,136	5,492	10,384	4,707	1,722	5,398	5,429	4,402
2012	8,628	4,293	1,404	5,290	9,924	4,383	1,110	6,078	4,908	4,493
2013	8,047	5,954	1,275	7,420	9,148	6,150	878	8,409	5,783	6,091
2014	6,925	6,449	1,127	8,362	8,190	6,609	867	9,480	5,743	6,794
2015	5,520	6,803	879	8,199	7,928	6,908	531	9,261	5,586	7,283
2016	5,334	5,614	1,134	6,164	7,289	5,764	711	6,654	4,074	5,946
2017	5,946	6,574	1,451	6,517	8,431	6,762	862	7,381	5,256	6,627
2018	3,438	7,973	1,441	7,857	6,217	8,090	802	8,551	4,031	7,754
2019	3,569	6,561	1,215	7,067	6,658	6,426	757	7,703	3,489	6,782
2020	1,269	6,243	1,140	6,587	3,516	6,415	582	7,441	2,124	6,627
2019 -										
1	294	6,522	80	7,491	545	6,702	57	8,335	251	7,645
2	236	6,765	122	7,725	391	6,501	61	8,471	189	7,392
3	679	6,819	178	7,366	569	6,643	89	8,134	256	7,288
4	1	7,050	—	—	672	6,604	8	8,398	255	7,199
5	438	6,765	146	7,286	535	6,486	96	7,818	401	6,644
6	177	6,490	124	7,031	518	6,421	83	7,759	234	6,756
7	328	6,302	61	7,196	572	6,126	22	7,791	327	6,722
8	270	6,257	156	6,958	671	6,118	123	7,550	310	6,498
9	309	6,206	71	6,395	546	6,011	30	6,896	355	6,509
10	316	6,449	71	6,487	549	6,355	52	6,969	309	6,344
11	313	6,513	120	6,565	569	6,493	106	7,252	298	6,442
12	208	6,747	86	6,637	519	6,717	30	7,235	304	6,567
2020 -										
1	333	6,793	215	6,713	715	6,907	114	7,455	348	6,629
2	5	6,244	119	6,668	20	6,862	43	7,270	240	6,778
3	401	6,477	270	6,585	536	6,870	96	7,552	329	6,802
4	—	—	—	—	345	6,792	91	7,619	226	6,818
5	52	6,859	218	6,553	544	6,488	53	7,540	256	6,679
6	125	6,010	84	6,787	271	6,564	35	7,416	115	6,660
7	16	6,259	5	6,523	187	6,338	—	—	96	6,772
8	32	5,402	23	6,800	141	5,729	14	7,614	95	6,625
9	13	6,090	60	6,864	141	5,687	60	7,604	105	6,781
10	60	5,280	36	6,752	89	5,250	35	7,242	90	6,057
11	63	5,390	—	—	206	5,836	—	—	99	6,584
12	168	5,414	111	5,930	322	5,244	40	6,677	124	5,587
2021 -										
1	57	5,431	66	5,894	227	5,546	55	6,763	145	6,045
2	108	5,577	10	4,033	308	5,835	—	—	196	5,911
3	260	5,940	106	5,691	241	6,259	25	6,392	73	5,826
4	5	6,397	—	—	298	6,330	—	—	153	5,845
5	353	6,519	143	5,982	226	6,488	90	6,817	144	5,918
6	129	7,127	45	6,258	437	7,156	10	6,827	172	6,630
7	197	7,345	70	5,968	311	7,354	—	—	461	6,567

資料：財務省 通関統計による、単価はC I F価格である。

Source : The customs Bureau ,Ministry of Finance

Remarks : A unit price is CIF price.

(18) 絹織物生産数量
Production of Silk Fabrics

(単位：1,000㎡)
(Unit: 1,000sq.meters)

品 種 Type of Fabrics	総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics							
		広 巾 織 物 Double Width				小 巾 織 物 Single Width			その他の 後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics
		計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	
年 月 Year & Month									
暦 年 Calendar Year									
2010	3,611	1,379	871	66	442	1,538	630	908	694
2011	3,152	1,438	786	62	591	1,003	562	441	711
2012	2,912	1,357	738	54	565	879	429	449	677
2013	2,940	1,428	813	46	569	809	397	412	703
2014	2,734	1,441	803	40	599	665	298	367	628
2015	2,316	1,228	664	35	529	630	283	347	458
2016	2,243	1,191	620	38	533	603	266	337	449
2017	2,195	1,185	639	50	497	587	272	315	422
2018	2,113	1,151	619	45	487	578	272	306	384
2019	1,939	1,128	583	43	502	521	242	279	290
2020	1,214	697	460	15	222	364	169	195	153
2019 -									
1	156	89	46	4	39	41	19	22	26
2	171	97	52	4	42	45	22	22	29
3	163	92	52	4	36	45	22	24	26
4	175	100	55	3	42	46	23	23	29
5	175	107	50	3	55	44	20	24	24
6	166	95	50	4	41	46	21	25	26
7	164	95	50	4	41	44	21	23	25
8	135	78	41	4	33	38	17	21	19
9	149	85	44	3	38	41	18	24	23
10	163	96	49	3	44	45	21	24	22
11	166	100	47	4	50	45	20	24	21
12	156	94	48	3	43	42	19	23	20
2020 -									
1	132	75	42	2	31	37	16	21	19
2	136	75	43	2	29	40	19	21	21
3	145	81	48	2	31	43	19	24	22
4	136	78	44	2	31	40	20	20	18
5	102	64	37	1	26	24	12	13	13
6	99	64	33	2	29	25	11	14	11
7	103	69	33	0	35	25	11	14	9
8	89	59	32	0	27	21	9	12	9
9	102	64	35	0	28	27	14	14	12
10	106	66	36	1	29	27	12	15	13
11	111	74	38	1	34	28	12	15	9
12	116	74	37	1	35	29	12	17	13
2021 -									
1	87	56	38	1	18	22	6	16	9
2	91	59	40	0	18	23	7	16	9
3	95	57	43	1	13	26	7	19	12
4	103	64	50	0	13	26	8	18	14
5	105	71	48	1	22	24	8	16	11
6	119	79	51	0	28	26	8	18	14
7	106	69	52	1	16	26	7	19	10

資料：(一社)日本絹人織織物工業会(～2020.6) 経済産業省生産動態統計(2020.8～)

備考：絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

Source: Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020.6). Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020.8～)

Remarks: Spun and mixed fabrics included. Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

(19)丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項目 Item	絹織物生産数量 Silk Fabrics Production		丹後 Tango (白生地) (White Fabrics)		長浜 Nagahama (白生地) (White Fabrics)		西陣 Nishijin (帯) (Sash)	
	数量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
暦年 Calendar Year								
2010	3,611	36.3	515,721	102.5	84,023	110.0	859,244	115.1
2011	3,152	87.3	475,989	92.3	70,803	84.3	692,943	80.6
2012	2,912	92.4	451,503	94.9	62,910	88.9	645,679	92.9
2013	2,940	101.0	433,451	96.0	55,792	88.7	630,586	97.7
2014	2,734	93.0	400,192	92.3	53,174	95.3	600,917	95.3
2015	2,316	84.7	351,309	87.8	41,893	78.8	526,417	87.6
2016	2,243	96.8	310,271	88.3	38,063	90.9	488,144	92.7
2017	2,195	97.9	294,451	94.9	36,227	95.2	477,594	97.8
2018	2,113	96.3	282,158	95.8	36,316	100.2	426,796	89.4
2019	1,939	91.8	253,429	89.8	27,584	76.0	380,224	89.1
2020	1,214	62.6	154,333	60.9	10,852	39.3	260,360	68.5
2019 - 1	156	92.9	15,850	91.5	2,510	83.5	31,925	91.0
2	171	97.7	24,978	99.7	2,783	95.6	32,095	89.1
3	163	92.6	21,859	93.5	2,728	82.9	34,578	85.6
4	175	92.1	23,299	90.2	2,616	80.7	33,794	80.9
5	175	93.1	14,796	70.7	2,526	75.5	33,197	87.7
6	166	85.6	25,926	94.9	2,523	89.5	34,972	99.6
7	164	96.5	21,364	84.7	2,364	70.0	28,371	87.6
8	135	86.0	16,997	87.1	1,808	69.0	28,344	95.1
9	149	95.5	24,336	95.6	2,194	81.0	34,001	114.8
10	163	89.6	19,204	83.8	2,007	64.0	28,356	72.5
11	166	91.7	22,989	91.3	1,849	60.7	30,119	92.2
12	156	88.1	21,831	90.9	1,676	59.6	30,678	83.0
2020 - 1	132	84.6	15,165	95.7	1,259	50.2	24,411	76.5
2	136	79.5	21,802	87.3	1,707	61.3	26,233	81.7
3	145	89.0	17,996	82.3	1,792	65.7	28,783	83.2
4	136	77.7	18,393	78.9	1,172	44.8	20,179	59.7
5	102	58.3	12,661	85.6	669	26.5	11,341	34.2
6	99	59.6	9,326	36.0	690	27.3	21,317	61.0
7	103	62.8	8,532	39.9	361	15.3	18,561	65.4
8	89	65.9	7,147	42.0	613	33.9	16,344	57.7
9	102	68.5	10,011	41.1	451	20.6	20,505	60.3
10	106	65.0	10,443	54.4	645	32.1	24,142	85.1
11	111	66.9	11,523	50.1	874	47.3	24,658	82.2
12	116	74.4	11,334	51.9	619	36.9	24,280	79.1
2021 - 1	87	65.9	9,930	65.5	773	61.4	19,619	80.4
2	91	66.9	11,810	54.2	910	53.3	20,969	81.0
3	95	65.5	11,526	64.0	1,129	63.0	26,690	92.8
4	103	75.7	14,265	77.6	755	64.4	25,705	129.1
5	105	102.9	11,586	91.5	952	142.3	24,566	215.7
6	119	120.2	13,201	141.6	870	126.1	29,082	136.4
7	106	102.9	14,672	172.0	938	259.8	24,811	133.7
8			10,040	140.5	1,072	174.9		

資料 : 絹織物生産数量は(一社)日本絹人織織物工業会(～2020.6) 経済産業省生産動態統計(2020.8～)

主要3産地の生産量、出荷数量は各産地組合の発表による。

備考 : 西陣は京都府織布生産動態調査数値の修正により前年比が合わない場合がある。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020.6). Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020.8～)

The numbers of Production and Shipments of 3major producing areas are reported by their local unions.

Remarks : Ratio to previous year in Nishijin may become incorrect if there is a correction in the statistical survey on the production dynamics of woven fabrics in Kyoto prefecture.

蚕の一生



協力:シルク博物館

一般財団法人 大日本蚕糸会

— 資料・海外 —

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2015年	2016年	2017年
		トン	トン	トン
日本	Japan	135	130	125
中国	China	628,000		
インド	India	151,787	155,688	161,684
ウズベキスタン	Uzbekistan	27,237		
イラン	Iran	12,538		
タイ	Thailand	4,881		
ブラジル	Brazil	2,870	2,913	2,995
ベトナム	Vietnam	2,515		
北朝鮮	North Korea	937		
トルコ	Turkey	75		
ブルガリア	Bulgaria	65		
インドネシア	Indonesia	57		
シリア	Syria	3.0		
主要国の計	Total	831,100	158,731	164,804

区 分		2018年	2019年	2020年
		トン	トン	トン
日本	Japan	110	92	80
中国	China			
インド	India	185,560	185,143	
ウズベキスタン	Uzbekistan			
イラン	Iran			
タイ	Thailand			
ブラジル	Brazil	3,024	3,034	
ベトナム	Vietnam			
北朝鮮	North Korea			
トルコ	Turkey			
ブルガリア	Bulgaria			
インドネシア	Indonesia			
シリア	Syria			
主要国の計	Total	188,694	188,269	80

注 日本は(一財)大日本蚕糸会、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会 (ISC)及びFAOの統計値を使用し、2016年以降はデータが取れない。

Note Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association (ABRASSEDA).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture, however, there is no data available since 2016 Commission (ISC).

(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格
Spot Price of Various Silk Goods

2021年5月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	139.50 ~ 145.50	2,372 ~ 2,474
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	150.00 ~ 164.00	2,550 ~ 2,788
3	玉繭(double cocoon)		115.00 ~ 128.00	1,955 ~ 2,176
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	114.00 ~ 124.00	1,938 ~ 2,108
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	420.00 ~ 433.50	7,140 ~ 7,370
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	425.00 ~ 438.75	7,225 ~ 7,459
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	420.00 ~ 440.00	7,140 ~ 7,480
8	玉糸(doupion silk)	110d	388.75 ~ 406.25	6,609 ~ 6,906
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	38.78 ~ 44.33	659 ~ 754
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	57.03 ~ 61.10	969 ~ 1,039
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	47.00 ~ 52.45	799 ~ 892
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	37.93 ~ 41.95	645 ~ 713

注:1元=17円

1 CNY=17JPY

2021年6月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	140.20 ~ 150.40	2,383 ~ 2,557
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	151.00 ~ 169.20	2,567 ~ 2,876
3	玉繭(double cocoon)		119.60 ~ 131.80	2,033 ~ 2,241
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	115.00 ~ 138.00	1,955 ~ 2,346
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	426.40 ~ 444.60	7,249 ~ 7,558
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	430.80 ~ 451.00	7,324 ~ 7,667
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	426.40 ~ 448.00	7,249 ~ 7,616
8	玉糸(doupion silk)	110d	399.20 ~ 419.20	6,786 ~ 7,126
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	40.38 ~ 46.40	686 ~ 789
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	58.30 ~ 62.40	991 ~ 1,061
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	48.64 ~ 54.06	827 ~ 919
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	39.56 ~ 44.08	673 ~ 749

注:1元=17円

1 CNY=17JPY

資料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

Source:China Silk Exchange(Zhejiang Sheng Jia Xing)

2021年7月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	140.00 ~ 154.00	2,380 ~ 2,618
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	152.00 ~ 170.25	2,584 ~ 2,894
3	玉繭(double cocoon)		125.75 ~ 136.75	2,138 ~ 2,325
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	113.00 ~ 154.00	1,921 ~ 2,618
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	433.00 ~ 448.25	7,361 ~ 7,620
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	433.00 ~ 453.25	7,361 ~ 7,705
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	433.75 ~ 453.75	7,374 ~ 7,714
8	玉糸 (doupion silk)	110d	415.00 ~ 427.50	7,055 ~ 7,268
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	40.88 ~ 46.58	695 ~ 792
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	58.50 ~ 65.00	995 ~ 1,105
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	50.00 ~ 55.50	850 ~ 944
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	40.00 ~ 46.00	680 ~ 782

注:1元=17円

1CNY=17JPY

2021年8月 平均 (month average)

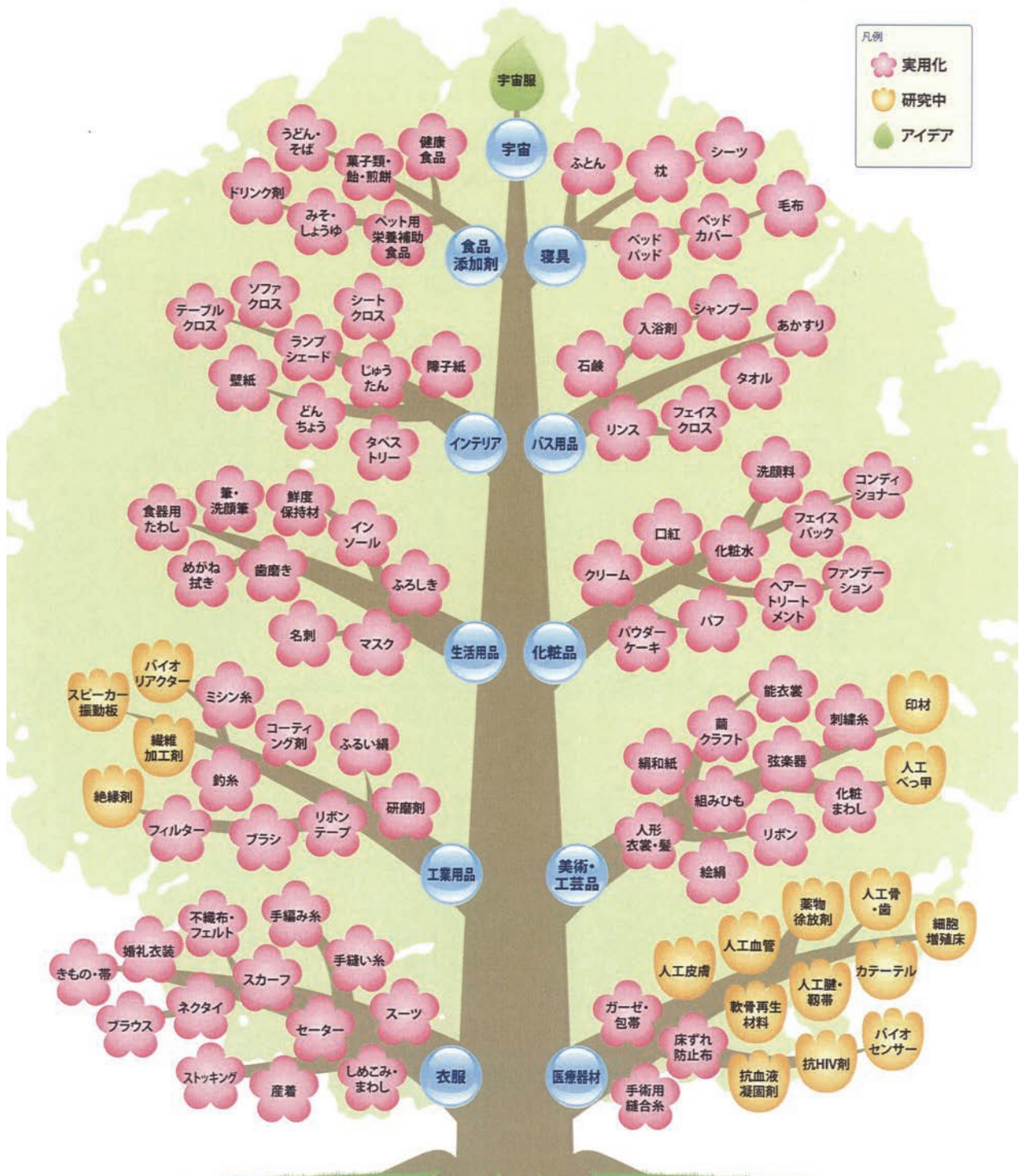
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	140.50 ~ 154.50	2,389 ~ 2,627
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	152.75 ~ 170.75	2,597 ~ 2,903
3	玉繭(double cocoon)		126.00 ~ 138.00	2,142 ~ 2,346
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	113.00 ~ 148.25	1,921 ~ 2,520
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	430.50 ~ 444.50	7,319 ~ 7,557
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	430.75 ~ 447.25	7,323 ~ 7,603
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	438.00 ~ 456.00	7,446 ~ 7,752
8	玉糸 (doupion silk)	110d	418.75 ~ 428.75	7,119 ~ 7,289
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	41.00 ~ 46.70	697 ~ 794
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	58.50 ~ 66.00	995 ~ 1,122
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	50.00 ~ 55.50	850 ~ 944
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	40.25 ~ 46.25	684 ~ 786

注:1元=17円

1CNY=17JPY

絹利用の系統樹

- 凡例
- 実用化
 - 研究中
 - アイデア



絹の利用

絹利用検討会 (2012年)

原図・小松 計一

シルクレポート総目録

No. 1 2008年7月号～No. 70 2021年7月号

<No. 1> 2008年7月号

発刊にあたって	(財)大日本蚕糸会 会頭 高木 賢
蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業の概要について	蚕糸・絹業提携支援センター
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 1 (H20. 2. 6～H20. 6. 15)	蚕糸・絹業提携支援センター
純国産絹マークの制定について	(社)日本絹業協会
国産生糸の生き残り戦略等を内容とする報告書から (平成19年度蚕糸業構造改革特別対策事業報告書)	(社)日本絹業協会
最近の海外生糸・絹糸の糸特性について	京都府織物・機械金属振興センター 織物室 主任 井澤一郎
国内産地情報 絹織物産地の概況(5月) 産地によっては商いが鈍く在庫の整理で生産調整が続く	
海外シルク情報 中国最大の繭生産基地・広西自治区の製糸業	
シルクの豆辞典(16) 世界最古の絹織物 —五千年前の羽二重様の絹—	信州大学 名誉教授 嶋崎昭典
イベント情報 登録コーディネーター一覧(平成20年5月末現在)	
蚕糸関係博物館一覧	
統計資料(国内・海外)	

<No. 2> 2008年9月号

純国産絹織物できものの振興を!	(社)日本生糸問屋協会 会長 樋口泰三
承認した提携グループ6件の概要について	蚕糸・絹業提携支援センター
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 2 (H20. 6. 16～H20. 8. 29)	蚕糸・絹業提携支援センター
純国産絹マーク使用許諾について(平成20年度第1次分)	(社)日本絹業協会
提携グループづくりの広報活動用パンフレットの紹介	蚕糸・絹業提携支援センター
新たに開発された真空式小型煮繭機の概要	(財)大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所 清水重人
百貨店における絹呉服の動向 ～時代のニーズと変化への対応～	株式会社高島屋 MD 本部 呉服デヴィジョン長 池田喜政
最近のブラジル蚕糸情勢	ブラタク製糸会社 元取締役工場長、経営審議会員 丸山 栄
国内産地情報 絹織物産地の概況(7月) 産地によっては商いが鈍く在庫の整理で生産調整が続く	
海外シルク情報 最近(2008年1～4月)の中国シルク輸出概況/中国シルク代表団ブラジルを訪問/ 主要産地の本年度春繭の生産量は減産	
シルクの豆辞典(17) 桑畑の出現 —桑中の喜び—	信州大学 名誉教授 嶋崎昭典
イベント情報 登録コーディネーター一覧(平成20年8月11日現在)	
蚕糸関係博物館一覧	
統計資料(国内・海外)	

<No. 3> 2008年11月号

桑園等基盤整備を優先した施策の実施を望む —逆境を跳ね返し、純国産絹織物へ—	丹後織物工業組合 理事長 渡邊正義
創業335年の三越、日本の伝統文化を守り育て、純国産絹織物「白無垢」を販売	株式会社三越 百貨店事業本部 MD 統括部 呉服部
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 3 (H20. 9. 1～H20. 10. 31)	蚕糸・絹業提携支援センター
純国産絹マーク使用許諾について(平成20年度第2次分)	(社)日本絹業協会
情報開示と連携が必要 —コーディネート活動とその実績— ① 「付加価値の高い蚕糸業」を目指した取り組みと今後の課題 「きびそ」を活用した「鶴岡シルクプロジェクト」立ち上がる	株式会社マルシバ 代表取締役社長 木下幸太郎 群馬県蚕糸園芸課 絹主監 狩野寿作 鶴岡織物工業組合 理事 鶴岡シルクプロジェクトリーダー 大和匡輔
国内産地情報 絹織物産地の概況(9月) 経済の先行き不透明感から絹業界も厳しさを増している	
海外シルク情報 最新中国各産地の繭・生糸の現物価格動向/陰りが見え始めている最新の中国シルク輸出事情	
シルクの豆辞典(18) 桑の薬効(1) —桑は仙薬の上首—	信州大学 名誉教授 嶋崎昭典
イベント情報 登録コーディネーター一覧(平成20年10月20日現在)	
蚕糸関係博物館一覧	
統計資料(国内・海外)	

<No. 4> 2009年1月号	
年頭所感 いよいよ中盤戦にさしかかった	(財)大日本蚕糸会 会頭 高木 賢
「男のきもの」は特徴ある蚕品種「プラチナボーイ」	株式会社銀座もとじ 代表取締役社長 泉二弘明
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌No.4 (H20.11.1~H20.12.31)	蚕糸・絹業提携支援センター
純国産絹マーク使用許諾について(平成20年度第3次分)	(社)日本絹業協会
川上と川下の橋渡しが使命 —コーディネーター活動とその実績— ②	株式会社深田商店 取締役専務 深田祥二
「ふい絹」による商品開発の取組み —中間検討会の概要—	(財)大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所 上席研究員 清水重人
化粧品におけるシルク素材の応用について	株式会社カネボウ化粧品 製品開発研究所 佐野章子
中国最大の繭生産基地「広西壮族自治区」の養蚕事情	財団法人群馬県蚕糸振興協会 齋藤敏弘
国内産地情報 絹織物産地の概況(11月)	
米国経済破綻の影響から我が国絹業界も苦戦が続いている	
海外シルク情報	
本年11月3日現在における中国各産地での繭と生糸の現物価格の動向について/中国生糸検査規則について改正を正式決定/中国輸出企業支援策として輸出増値税還付率を引き上げ	
シルクの豆辞典(19) 桑の薬効(2) —桑根白皮—	信州大学 名誉教授 嶋崎昭典
イベント情報	
登録コーディネーター一覧(平成20年12月15日現在)	
蚕糸関係博物館一覧	
統計資料(国内・海外)	
<No. 5> 2009年3月号	
群馬県オリジナル蚕品種を主とした純国産絹製品づくり	日本蚕糸絹業開発協同組合 国産シルク研究会
ニット絹製品をもっと身近に	門倉メリヤス株式会社 代表取締役 門倉重行
京都の繭・その精神性と復活の道	織道楽 塩野屋 代表 服部芳和
富岡シルクブランド協議会の活動状況	富岡シルクブランド協議会
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌No.5 (H21.1.1~H21.2.28)	蚕糸・絹業提携支援センター
純国産絹マーク使用許諾について(平成20年度第4次分)	(社)日本絹業協会
養蚕農家との連携を重視した純国産絹製品づくり —コーディネーター活動とその実績— ③	株式会社千總 製作部 俵 武司
蚕糸絹文化活性化推進事業を拡充・強化 ～提携システム推進のため、意欲ある養蚕農家を支援～	(財)大日本蚕糸会 蚕糸絹文化活性化推進協議会事務局
養蚕新技術を導入する農家や新規養蚕農家等の募集について	(財)大日本蚕糸会
蚕糸科学研究所における絹新素材開発の過程	(財)大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所 所長 西出照雄
平成20年度福島県養蚕振興セミナー開催 ～これからの旬・ふくしまの繭～	福島県農林水産部園芸課 主幹兼副課長 目黒 友
第21回国際養蚕委員会(ISC)学術大会に参加して	独立行政法人農業生物資源研究所 生活資料開発ユニット長 高林千幸
国内産地情報 絹織物産地の概況(1月)	
社会全般の不景気から絹業界も厳しい状況が続く	
海外シルク情報	
中国、フランスと共同で新型煮繭設備の開発・導入構想まとまる/ 中国の繭生産量久し振りに減産へ	
シルクの豆辞典(20) 桑の薬効(3) —桑樹は天魔も避ける霊木—	信州大学 名誉教授 嶋崎昭典
イベント情報	
登録コーディネーター一覧(平成21年2月15日現在)	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料(国内・海外)	
<No. 6> 2009年5月号	
平成21年度第1次分「提携システム確立2グループ」を承認	蚕糸・絹業提携支援センター
20年度蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業実施の概要	蚕糸・絹業提携支援センター
蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業(条件整備事業)の実施状況について	蚕糸・絹業提携支援センター
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌No.6 (H21.3.1~H21.4.30)	蚕糸・絹業提携支援センター
養蚕の現場から —20年度養蚕成績と今後の課題等—	全国農業協同組合連合会 園芸農産部 特産販売課 寛 文平
室町・西陣和装市況「聞きある記」	財団法人京都産業21北部支援センター
中国シルク事情	
国内産地情報 絹織物産地の概況(3月)	
流通・織物ともに状況は月を追って悪化している/2008年家蚕繭生産状況	
海外シルク情報 国家備蓄生糸の買換えを実施へ	
シルクの豆辞典(21) 故事・農諺(1) —苞桑の戒め—	信州大学 名誉教授 嶋崎昭典
イベント情報	

登録コーディネーター一覧（平成21年4月27日現在）

蚕糸関係博物館一覧

蚕糸関係団体ホームページ一覧

統計資料（国内・海外）

<No.7> 2009年7月号

京都で「純国産絹製品企画展」を開催

蚕糸・絹業提携支援センター
システムクリエイター 宮下昌則

蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No.7 (H21.5.1~H21.6.30)

蚕糸・絹業提携支援センター

純国産絹マーク使用許諾について（平成21年度第1次分）

（社）日本絹業協会

純国産きものは、織り、染め等きもの技術で差別化を図る①

株式会社丸上 販売部長 齋藤清二

「絹の郷シンポジウム&現地見学会」を開催

群馬県農政蚕糸園芸課 主幹 岡 喜久男

絹織物の集散地を核とした和装繊維産業の工程間連携に関する調査報告書から

経済産業省 近畿経済産業局

10月18日（日）、第4回きもの文化検定が実施されます

「きもの文化検定」事務局 きもの文化検定事務センター

ブラジル蚕糸業の現況

フジムラ・ド・ブラジル株式会社 社長 坂本 雅

国内産地情報 絹織物産地の概況（5月）

市況は日を追って低調となり織物生産は減産が続いている

海外シルク情報 最近の中国乾繭及び生糸相場価格の現状と見通し／
中国生糸検査規則、準備を経て円滑実施へ

シルクの豆辞典（22） 故事・農諺（2） —桑麻の交わり—

信州大学 名誉教授 嶋崎昭典

イベント情報

登録コーディネーター一覧（平成21年5月16日現在）

純国産絹マーク使用許諾者一覧（平成21年5月22日現在）

蚕糸関係博物館一覧

蚕糸関係団体ホームページ一覧

統計資料（国内・海外）

<No.8> 2009年9月号

日本絹の里に設置された「蚕糸・絹業提携支援システム」PRコーナー
～純国産絹製品の紹介と需要拡大を目指して～

群馬県立日本絹の里 中野紘子

蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No.8 (H21.7.1~H21.8.31)

蚕糸・絹業提携支援センター

純国産絹マーク使用許諾について（平成21年度第2次分）

（社）日本絹業協会

19～21年度に承認された蚕糸・絹業提携システム概要一覧

蚕糸・絹業提携支援センター

純国産きものは、織り、染め等きもの技術で差別化を図る②

株式会社さが美 商品企画部
部長 鈴木英太郎／担当 MD 池田 正

10月は、日本橋に注目 ～第1回「日本染織文化博覧会」を開催～

京丹後市企画総務部企画政策課 課長補佐 高橋尚義

絹織物の集散地を核とした和装繊維産業の工程間連携に関する調査報告書から（2）

経済産業省 近畿経済産業局

国内産地情報 絹織物産地の概況（7月）

織物の減産は続いており先行きの見通しは立っていない

海外シルク情報

中国政府・繊維振興3ヵ年計画を決定（この中のシルク振興計画）／
中国の本年度春繭生産量約30%減産

横浜開港とシルク貿易 「横浜開港の始まり」

シルク博物館 元部長 小泉勝夫

イベント情報

登録コーディネーター一覧（平成21年8月6日現在）

純国産絹マーク使用許諾者一覧（平成21年7月24日現在）

蚕糸関係博物館一覧

蚕糸関係団体ホームページ一覧

統計資料（国内・海外）

<No.9> 2009年11月号

富岡シルクブランド協議会・世界遺産推進への活動

富岡シルクブランド協議会 事務局 原田知也

蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No.9 (H21.9.1~H21.10.31)

蚕糸・絹業提携支援センター

～純国産絹マークの使用範囲の拡大へ～

（社）日本絹業協会

純国産絹マーク使用許諾について（平成21年度第3次分）

（社）日本絹業協会

養蚕用資材の安定供給に係るワーキンググループの活動始まる

蚕糸・絹業提携支援センター

純国産シルク「ふい絹」の商品開発とPR —JFW ジャパンクリエイションに参加して—

（財）大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所 所長 清水重人

絹織物の集散地を核とした和装繊維産業の工程間連携に関する調査報告書から（3）

経済産業省 近畿経済産業局

純国産絹製品に向けて ～特徴ある「群馬オリジナル蚕品種」～

群馬県蚕糸技術センター 主席研究員 町田順一

平成21年度晩秋蚕優良繭生産研修会の開催 ☆がんばろう栃木の養蚕！

全国農業協同組合連合会栃木県支部
園芸部園芸資材グループ 須藤日出夫

国内産地情報 絹織物産地の概況(9月) 市況が落ち込んだまま推移し業界全体に厳しさが増している	
海外シルク情報 本年10月、中国国際シルクフォーラムを開催／最近の中国乾繭、副蚕糸及び生糸類の現物価格の現状	
生糸の上場廃止のお知らせ	東京穀物商品取引所
横浜開港とシルク貿易 「横浜開港場の位置問題」	シルク博物館 元部長 小泉勝夫
イベント情報 登録コーディネーター一覧(平成21年9月8日現在) 純国産絹マーク使用許諾者一覧(平成21年9月18日現在) 蚕糸関係博物館一覧 蚕糸関係団体ホームページ一覧 統計資料(国内・海外)	
<No.10> 2010年1月号	
年頭所感 「高校三年生」	(財)大日本蚕糸会／蚕糸・絹業提携支援センター センター長 高木 賢
西陣産地 古への回帰 —「純国産絹織工房」の開設—	西陣織工業組合 専務理事 碓山俊光
世界遺産登録を目指す富岡製糸場で「純国産絹製品展」を開催	(社)日本絹業協会
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No.10 (H21.11.1~H21.12.31)	蚕糸・絹業提携支援センター
純国産絹マーク使用許諾について(平成21年度第4次分)	(社)日本絹業協会
2009 中国国際シルクフォーラムに出席して(最新中国シルク事情の紹介)	(社)日本絹業協会
中国におけるシルク産業の発展の報告	中国絲綢協会 秘書長 銭 有清
熱き想いを語っていただいた「蚕糸絹文化シンポジウム」	蚕糸・絹業提携支援センター
日本絹文化シンポジウム 「絹で奏でる音世界」	伝統的工芸品産地プロデューサー (株)エムアンドエムカンパニー 代表取締役 菊池優希
福島県の養蚕の歴史と目指す方向 ~今が旬・ふくしまの繭~	福島県農林水産部園芸課 主幹兼副課長 目黒 友
'09年広西壮族自治区の蚕糸業見聞録	東京農工大学 名誉教授 黄色俊一
国内産地情報 絹織物産地の概況(11月) 各産地の織物生産は前月より増産になったが前年を上回る迄になっていない	
海外シルク情報 中国シルクの急成長分野であるシルク布団の事情について／2009年1~9月の中国シルク輸出状況	
横浜開港とシルク貿易 「横浜村の様子と生糸貿易の始まり」	シルク博物館 元部長 小泉勝夫
イベント情報 純国産絹マーク使用許諾者一覧(平成21年12月9日現在) 蚕糸関係団体ホームページ一覧 統計資料(国内・海外)	
<No.11> 2010年3月号	
世界遺産登録を目指す富岡製糸場と社会人一年生への準備	日本蚕糸絹業開発協同組合 事務局 土井芳文
京都の繭・純国産の日常品への道	織道楽 塩野谷 代表 服部芳和
「充実するジャパンシルクセンターの純国産絹製品コーナー」 ~純国産絹製品の紹介と需要拡大を目指して~	(社)日本絹業協会
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No.11 (H22.1.1~H22.2.28)	蚕糸・絹業提携支援センター
純国産絹マーク使用許諾について(平成21年度第5次分)	(社)日本絹業協会
純国産帯で、消費者の要望に応え、差別化を図る	株式会社やまと 商品部 マーチャンダイザー 長野英幸
シルクのまちづくり市区町村協議会が発足 —シルク産業の活性化とシルク文化を活用した魅力ある地域をめざします— 水に濡れても縮まない絹織物 《JST 平成20年度シーズ発掘試験 委託研究》 絹織物の高機能化を目的とした環境調和型防縮加工技術に関する研究 埼玉県ブランド繭「いろどり」について	京丹後市企画総務部企画政策課 課長補佐 高橋尚義
国内産地情報 絹織物産地の概況(1月) 丹後、長浜の主要産地での生産量は久しぶりで前年同月比を上回った	
海外シルク情報 中国シルク製品(ネクタイ、ニット)の特産生産基地である嵯州市の紹介/ 最新中国シルク関係主要統計	
横浜開港とシルク貿易「開港当初ごろの各地の生糸」	シルク博物館 元部長 小泉勝夫
イベント情報 登録コーディネーター一覧(平成22年2月22日現在) 純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧(平成22年2月10日現在) 蚕糸関係博物館一覧 蚕糸関係団体ホームページ一覧 統計資料(国内・海外)	

<No. 12> 2010年5月号	
I 提携システム確立グループとして西陣純国産絹振興会を承認	蚕糸・絹業提携支援センター
II 平成21年度蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業の取組経過の概要	蚕糸・絹業提携支援センター
III 平成22年度第1次純国産絹マーク使用許諾状況 (天蚕糸製品を初めて認定)	(社) 日本絹業協会
学生たちとのシルク商品開発 ～仮想企業「蘭美蚕®」と門倉メリヤスによるこれまでの取組み1)～ 名古屋市で初の開催 一活況だった純国産絹製品展―	共愛学園前橋国際大学 教授 兼本雅章 門倉メリヤス株式会社 代表取締役社長 門倉重行 (社) 日本絹業協会
「日本絹の里」からの情報発信に注目してください	財団法人群馬県蚕糸振興協会 上野邦彦
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 12 (H22. 3. 1～H22. 4. 30)	蚕糸・絹業提携支援センター
東京青山に、きものKYOTO アンテナショップ「白イ鳥」開設	京都市産業観光局商工部伝統産業課
世界最高の蚕糸技術をいかし自立できる蚕糸業構築のために	群馬県蚕糸園芸課 絹主監 狩野寿作
中国の繭・生糸生産、増産体制へ(商務部と農業部連名にて2010年度家蚕蚕種、家蚕繭及び家蚕生糸の生産指導計画を全国に通知)	
国内産地情報 絹織物産地の概況(3月) 主要産地の生産量は増加傾向で健闘している	
海外シルク情報 中国「シルク布団」の国家品質基準の適用実施へ/2009年度中国シルク輸出概況 横浜開港とシルク貿易「開港当初ごろの生糸輸出抑制策と生糸取引」	シルク博物館 元部長 小泉勝夫
イベント情報 登録コーディネーター一覧(平成22年4月15日現在) 純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧(平成22年4月13日現在) 蚕糸関係博物館一覧 蚕糸関係団体ホームページ一覧 統計資料(国内・海外)	
<No. 13> 2010年7月号	
蚕糸・絹業提携システムの構築により、西陣産地の活性化を目指す	西陣織工業組合 専務理事 碓山俊光
平成22年度第2次純国産絹マーク使用許諾状況(黄八丈を初めて認定)	(社) 日本絹業協会
純国産絹製品の魅力を発信	(社) 日本絹業協会
通知: 提携システム確立事業計画書の策定に当たっての各項目の考え方及び留意事項等について	(財) 大日本蚕糸会
緊急対策事業実施上の検討課題への対応(Q&A)	蚕糸・絹業提携支援センター
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 13 (H22. 5. 1～H22. 6. 30)	蚕糸・絹業提携支援センター
良いものづくりに向けて蚕と糸と織りが一緒に研究	(財) 大日本蚕糸会 蚕糸技術研究所 所長 井上 元
「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録と蚕糸業振興	群馬県世界遺産推進課 補佐 土屋真志
国内産地情報 絹織物産地の概況(5月) 主要織物産地の生産量は年度始めより前年を上回り順調に推移している	
海外シルク情報 中国絲綢(シルク)協会の2010年度事業計画概要/本年1～3月、中国原料生糸類の輸出状況	
イベント情報 登録コーディネーター一覧(平成22年6月17日現在) 純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧(平成22年6月16日現在) 蚕糸関係博物館一覧 蚕糸関係団体ホームページ一覧 統計資料(国内・海外)	
<No. 14> 2010年9月号	
平成23年度以降の生糸価格のメカニズム	蚕糸・絹業提携支援センター センター長 高木 賢
養蚕用資材の安定供給をめざして	蚕糸・絹業提携支援センター
染・織りで綾なす「日本の絹展」を開催 ～国産シルクをもっと暮らしに～	(社) 日本絹業協会
平成22年度第3次純国産絹マーク使用許諾状況(合計使用許諾者数は127社と拡大)	(社) 日本絹業協会
通知: マルチコーディネーター活動の依頼について	(財) 大日本蚕糸会
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 14 (H22. 7. 1～H22. 8. 31)	蚕糸・絹業提携支援センター
「アインシュタインの眼」が映し出すシルクの世界	(財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所
第63回製糸夏期大学(最終記念)を開催して	製糸技術研究会会長 高林千幸
1級の合格者の合格率は3%の難関だが、その価値は大きい きもの愛好家に定着 きもの文化検定4年間に28,813名の受験者	社団法人全日本きもの振興会 事務局
国内産地情報 絹織物産地の概況(7月) 織物生産は全体的に持ち直しているものの、小売市場は相変わらず鈍い	
海外シルク情報 中国シルク業界幹部が分析する最近の繭糸価格の急騰要因/中国の本年度春蚕期の繭生産状況 横浜開港とシルク貿易「生糸の粗製乱造と洋式製糸器械の導入」	シルク博物館 元部長 小泉勝夫
イベント情報	

登録コーディネーター一覧（平成22年8月12日現在）
 純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成22年8月10日現在）
 蚕糸関係博物館一覧
 蚕糸関係団体ホームページ一覧
 統計資料（国内・海外）

<No. 15> 2010年11月号

4 提携グループを承認 平成23年度からスタートの提携グループ
 日本絹の里で来館者と接して（純国産絹製品の紹介と需要拡大を目指して）
 「新潟県産繭・絹振興会」の活動
 きもの文化の原点 日本の繭を見つめなおし 普及発展させるために
 （日本の繭ときもの文化を考える会はがんばっています）
 群馬県高崎市で純国産絹製品展を開催 ～純国産絹製品ブランドをアピール～
 平成22年度第4次純国産絹マーク使用許諾状況
 （新蚕品種「玉小石」を使用した牛首袖、寝衣（産着）など新アイテムも認定）
 蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 15（H22.9.1～H22.10.31）
 伝統の技を学び、その先を創造する人を育成（博多織産地の後継者対策）
 国内産地情報 絹織物産地の概況（9月）
 機業の生産は先ずまずであるが実情は非常に厳しい状況にある
 海外シルク情報
 輸出価格の上昇により中国シルクの輸出が好調に推移／中国国家備蓄の生糸、本格的に放出を決定
 横浜開港とシルク貿易「短命に終わった蚕種輸出」
 イベント情報
 登録コーディネーター一覧（平成22年10月4日現在）
 純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成22年10月18日現在）
 蚕糸関係博物館一覧
 蚕糸関係団体ホームページ一覧
 統計資料（国内・海外）

蚕糸・絹業提携支援センター
 群馬県立日本絹の里 菊川比富
 合資会社山岸織物 代表社員 山岸良三
 日本の繭ときもの文化を考える会 代表 田中 隆
 （社）日本絹業協会
 （社）日本絹業協会
 蚕糸・絹業提携支援センター
 博多織デベロップメントカレッジ 事務局長 野口敏彦
 シルク博物館 元部長 小泉勝夫

<No. 16> 2011年1月号

年頭所感「卒業・進学・社会人」
 16 提携グループを承認 平成23年度からスタートの提携グループ
 夢に向かって 玉小石・牛首袖への道
 「ぐんま200」で純国産帯締・羽織紐に取り組む
 宮崎の蚕糸・絹業提携グループ「綾の小石丸の会」
 平成22年度第5次純国産絹マーク使用許諾状況（和装小物の袱紗を初めて認定）
 蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 16（H22.1.1～H22.12.31）
 繊維・ファッション流通の変化と新潮流（潮流に合致している提携システム）
 一今に生きる織物産地 西陣—
 中国備蓄生糸の本格的放出（売渡し）始まる
 国内産地情報 絹織物産地の概況（11月）
 各産地の織物の生産量は概ね前年並みで推移している
 海外シルク情報
 中国、国家備蓄の生糸の一般放出結果（完売）を公表／本年1～9月の中国シルク輸出概況
 横浜開港とシルク貿易「横浜への絹の道」
 イベント情報
 登録コーディネーター一覧（平成22年10月4日現在）
 純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成22年12月16日現在）
 蚕糸関係博物館一覧
 蚕糸関係団体ホームページ一覧
 統計資料（国内・海外）

（財）大日本蚕糸会 会頭 高木 賢
 蚕糸・絹業提携支援センター
 玉小石牛首袖研究会 代表 大門屋（店主）高橋弘直
 平田グループ研究会 代表 平田 晃
 綾の小石丸の会 秋山真和
 （社）日本絹業協会
 蚕糸・絹業提携支援センター
 元日本繊維新聞 編集主幹 聖生清重
 西陣織工業組合 専務理事 碓山俊光
 シルク博物館 元部長 小泉勝夫

<No. 17> 2011年3月号

9 提携グループを追加承認 平成23年度からスタートの提携グループ
 三つのマークと三つのグループ
 天蚕及び天蚕ハイブリッド生糸の商品化への道のり
 「秩父シルクの会を立ち上げて」
 平成22年度第6次純国産絹マーク使用許諾状況
 （新規に寝衣（おくるみ）、禪を認定し、合計許諾者数は144者へ）
 蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 17（H23.1.1～H23.2.28）
 絹の箏弦復活の兆し

蚕糸・絹業提携支援センター
 日本蚕糸絹業開発協同組合 事務局 土井芳文
 りょうぜん天蚕の会 会長 柳沼泰衛
 秩父シルクの会 代表 松本信孝
 （社）日本絹業協会
 蚕糸・絹業提携支援センター
 聖徳大学 教授 徳丸吉彦

シルク業界と産業遺産の保存・活用 —文化財としての日本の絹—	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
最近の韓国養蚕業の動向（機能的養蚕で活路）	韓国生糸輸出入組合 元副理事長 李 英烈
国内産地情報 絹織物産地の概況（1月）	
原子高から糸の手当では縮小しており、在庫は少ないものの当用買に徹している	
海外シルク情報	
2010年の広西壮族自治区の養蚕業は飛躍的に拡大／中国の繭生産久し振りに増産へ	
横浜開港とシルク貿易「度重なる明治期の蚕糸不況」	シルク博物館 元部長 小泉勝夫
イベント情報	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成23年2月14日現在）	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料（国内・海外）	

<No. 18> 2011年5月号

全国の繭全量が提携グループの傘下に	蚕糸・絹業提携支援センター
「琵琶湖で生まれた純国産絹弦で提携グループを確立」	丸三ハシモト株式会社 専務取締役 橋本英宗
生緑り生糸や顔の見える特徴ある商品を作る「東京シルクの会」	東京シルクの会 事務局 内海康治
平成22年度第7次純国産絹マーク使用許諾状況（新に風呂敷を認定）	（社）日本絹業協会
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 18（H23. 3. 1～H23. 4. 30）	蚕糸・絹業提携支援センター
和装振興のための『西陣織販売テキスト』	西陣織工業組合 専務理事 碓山俊光
シルク業界と産業遺産の保存・活用（後編） —文化財としての日本の絹—	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
国内産地情報 絹織物産地の概況（3月）	
東日本の大震災から先行きが不透明となり、新規の発注が進まず全体に模様眺め	
海外シルク情報	
インドの生糸輸入関税大幅引き下げで、中国国内生糸相場が反騰／	
中国シルク業界幹部が語る昨年度のシルク需給状況	
横浜開港とシルク貿易「大正期の経済危機と蚕糸対策」	シルク博物館 元部長 小泉勝夫
イベント情報	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成23年4月6日現在）	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料（国内・海外）	

<No. 19> 2011年7月号

平成22年度蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業の取組内容と今後の対応について	蚕糸・絹業提携支援センター
世界一の風合いを目指して	日本の絹を守る会 代表 舞鶴一雄
伝統の近江真綿で純国産布団に取り組み提携グループ	近江真綿振興会グループ協議会 代表 北川茂次郎
奄美大島で養蚕を復活し、提携グループを構築	奄美島絹推進協議会 会長 南 祐和
島に生きる 養蚕修行を終えて	奄美島絹推進協議会 会員 南 修郎
平成23年度第1次純国産絹マーク使用許諾状況	（社）日本絹業協会
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 19（H23. 5. 1～H23. 6. 30）	蚕糸・絹業提携支援センター
高付加価値のある純国産絹製品に向けて	群馬県蚕糸技術センター 所長 小林初美
蚕室洗浄剤でカイコの部屋をきれいにしましょう	（財）大日本蚕糸会 蚕業技術研究所 主任研究員 代田文志
中国絲綢（シルク）協会の2011年度事業計画の内容（中国国際シルクフォーラムの開催など）	
国内産地情報 絹織物産地の概況（5月）	
大震災による先行き不透明感から、織物の商いは全般的に低調である	
海外シルク情報	
中国生糸価格の上昇は労賃アップも影響／最近の中国春繭価格の動向	
横浜開港とシルク貿易「昭和初期の経済危機と蚕糸業」	シルク博物館 元部長 小泉勝夫
イベント情報	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成23年5月9日現在）	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料（国内・海外）	

<No. 20> 2011年9月号	
蚕糸絹文化活性化推進事業を拡充 ～蚕糸・絹業提携グループの活動を支援～	(財)大日本蚕糸会 蚕糸絹文化活性化推進協議会
最高級本場結城紬を目指す「風土31研究会」	結城紬風土31研究会 事務局 小倉進吾
純国産絹で極める邦楽器絃の音色 ～絹糸で奏でる日本人の心～	絹で奏でる音世界グループ 代表 小篠敏之
純長野県産絹製品で活路を目指す	信州繭ブランド織物振興会 代表 清水武彦
平成23年度第2次純国産絹マーク使用許諾状況	(社)日本絹業協会
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 20 (H23. 7. 1～H23. 8. 31)	蚕糸・絹業提携支援センター
蚕糸業や絹文化の存続に向けて「絹の郷シンポジウム」を開催	群馬県農政蚕糸園芸課 蚕糸係長 岡 喜久男
「きもの文化検定」新たな認定級を設定し実施します	社団法人全日本きもの振興会
群馬の繭でつくった糸を使って純国産ストールを織る(体験談)	日本絹の里 体験教室 受講生 福島宣行
国内産地情報 絹織物産地の概況(7月)	
夏場の不要期に入り、各織物産地とも苦戦している	
海外シルク情報	
本年第一四半期の中国シルク輸出概況/中国、第4回国際シルクフォーラムを開催	
横浜開港とシルク貿易「関東大震災の復興取組みと大量の焼失生糸問題」	シルク博物館 元部長 小泉勝夫
イベント情報	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧(平成23年7月8日現在)	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料(国内・海外)	

<No. 21> 2011年11月号	
秩父の繭“いろどり”で伝統の手技を紡ぐ	蚕彩会 事務局 秋山 徹
甲斐絹の復興と提携グループ結成により地域を活性化	甲斐絹グループ 代表 前田市郎
“地元の繭で、きもの”の夢を実現 —「日本絹文化振興会」・株式会社「坂本屋」 代表 飯塚康二産を訪ねて—	蚕糸・絹業提携支援センター
平成23年度第3次純国産絹マーク使用許諾状況 —新規製品6品目、追加2品目に使用許諾—	(社)日本絹業協会
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 21 (H23. 9. 1～H23. 10. 31)	蚕糸・絹業提携支援センター
日本最大の絹産地で養蚕からスタートし純国産反物を作る試み	丹後織物青年団体協議会 会長 柴田祐史
シルク遺産を訪ねて①「埼玉県入間市の西洋館」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
2011年国際シルクフォーラムに出席して	(財)中央果実基金理事長(日本絹業協会顧問)吉國 隆
国内産地情報 絹織物産地の概況(9月)	
中国生糸の暴落で戸惑い、集散地市場の荷動き一段と鈍化	
海外シルク情報	
最近の中国国内生糸価格は暴落状況/中国、国家備蓄制度による生糸買い上げを実施へ	
横浜開港とシルク貿易「ハンカチーフ製造から始まった横浜スカーフ産業」	シルク博物館 元部長 小泉勝夫
イベント情報	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧(平成23年9月8日現在)	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料(国内・海外)	

<No. 22> 2012年1月号	
年頭所感 「土着と伝統産業の力の発揮を」	(財)大日本蚕糸会 会頭 高木 賢
「シルク産業復興」シンポジウム 蚕物語 —奄美養蚕の復活を目指して—	蚕糸・絹業提携支援センター
平成23年度第4次純国産絹マーク使用許諾状況 —新規製品5品目、追加5品目に使用許諾—	(社)日本絹業協会
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 22 (H23. 11. 1～H23. 12. 31)	蚕糸・絹業提携支援センター
市制施行90年の群馬県桐生市で盛大に“シルク・サミット”開催 ◆どうなるシルク、どうするシルク◆ —シルク・サミット2011in 桐生—(平成23年11月10日～11日)	
シルク遺産を訪ねて②「入間市の旧石川組製糸が献堂した教会堂」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
中国シルク産業の発展状況 —「国際シルクフォーラム」(2011年9月)で発表—	中国絲綢協会 秘書長 銭 有清
国内産地情報 絹織物産地の概況(11月)	
各産地の生産は集散地からの注文が少なく依然として厳しい状況が続いている	
海外シルク情報	
最近の中国シルクの輸出事情/国家備蓄制度による生糸買い上げ入札状況	
横浜開港とシルク貿易「絹織物・絹製品の輸出」	シルク博物館 元部長 小泉勝夫
イベント情報	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧(平成23年10月31日現在)	
蚕糸関係博物館一覧	

蚕糸関係団体ホームページ一覧

統計資料（国内・海外）

<No. 23> 2012年3月号

純国産絹を用いた「絹布団等絹製品」の開発と今後の展望	ふじやまシルクプロジェクト 代表 柏木秀基
平成23年度蚕期別、都府県別繭生産数量の確定	蚕糸・絹業提携支援センター 佐藤良介
平成23年度第5次純国産絹マーク使用許諾状況 —新規製品6品目、追加1品目に使用許諾—	(社) 日本絹業協会
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 23 (H24. 1. 1~H24. 2. 29)	蚕糸・絹業提携支援センター
ジャパンシルクセンターにおける「純国産絹製品」のPR活動	(社) 日本絹業協会
「主要絹織物産地」平成23年の回顧 —東日本大震災はじめ幾多の困難に遭遇—	(社) 日本生糸問屋協会
シルク遺産を訪ねて③「グンゼ博物館とグンゼ記念館」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
国内産地情報 絹織物産地の概況(1月) 依然として集散地の注文は鈍く全産地とも減産傾向が続いている	
海外シルク情報 中国がシルク産業の第12次5カ年計画を発表/ 最近の中国乾繭、副蚕糸及び生糸類の現物価格の現状	
横浜開港とシルク貿易「港湾及び貨物輸送用鉄道の整備」	シルク博物館 元部長 小泉勝夫
イベント情報	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧(平成23年12月19日現在)	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料(国内・海外)	

<No. 24> 2012年5月号

「蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会」が発足	蚕糸・絹業提携支援センター
熊本で純国産絹製品展を開催 —「希少な繭・手の温もり」をアピール—	(社) 日本絹業協会
地元群馬の繭を使った絹洋装品で国内外に発信 —群馬絹文化研究会(有)ミラノリブ代表笹口晴美さんに聞く—	蚕糸・絹業提携支援センター 野村郁治
平成23年度第6次純国産絹マーク使用許諾状況 —新規使用許諾2者、新規製品10品目に使用許諾—	(社) 日本絹業協会
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 24 (H24. 3. 1~H24. 4. 30)	蚕糸・絹業提携支援センター
時代の要請に応える西陣織会館『マルチ染織会館』に変容	西陣織工業組合 専務理事 碓山俊光
シルク遺産を訪ねて④「我孫子市の山一林組生糸工場跡」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
国内産地情報 絹織物産地の概況(3月) 織物の生産は全体的に減産傾向、採算は原料高製品安で厳しい	
海外シルク情報 中国 優良生糸産地である浙江省製糸企業の繰糸生産能力は大幅に減少/ インドが最新のシルク生産及び生糸輸入状況を公表	
横浜開港とシルク貿易 「横浜市内の蚕糸施設」	シルク博物館 元部長 小泉勝夫
イベント情報	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧(平成24年3月21日現在)	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料(国内・海外)	

<No. 25> 2012年7月号

絹の郷・絹の会	絹の会ぐんま200プロジェクト 代表 西尾仁志
純国産絹製品の魅力を訴求 —京都産業会館で「純国産絹製品展」を開催	(社) 日本絹業協会
平成24年度第1次純国産絹マーク使用許諾状況 —新規使用許諾2者、新規製品3品目に使用許諾—	(社) 日本絹業協会
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 25 (H24. 5. 1~H24. 6. 30)	蚕糸・絹業提携支援センター
「皇后陛下喜寿記念特別展」を見て	(社) 日本絹業協会 顧問 吉國 隆
色繭を生産する蚕品種	(財) 大日本蚕糸会 蚕業技術研究所 所長 井上 元
繭工芸に活用できる色繭とシルクシートの簡便な作り方	群馬県立日本絹の里 町田順一
新装なった横浜の「シルク博物館」	(財) シルクセンター国際貿易観光会館 シルク博物館 館長 高桑正敏
シルク遺産を訪ねて⑤「塩沢つむぎ記念館と鈴木牧之記念館」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
国内産地情報 絹織物産地の概況(5月) 織物の生産は総じて減産傾向、一部で下げ止まりも、採算は価格低迷で厳しい	
海外シルク情報 最近の中国国内シルク需要/最近の中国乾繭、副蚕糸及び生糸類の現物価格の現状	

イベント情報
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成24年6月8日現在）
蚕糸関係博物館一覧
蚕糸関係団体ホームページ一覧
統計資料（国内・海外）

<No. 26> 2012年9月号	
福島県養蚕農家の皆様とともに	純日本の絹文化協会「松岡姫」グループ (株)伊と幸 取締役副社長 北川 幸 (財)大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所 所長 清水重人 (社)日本絹業協会
地場産大島紬復活の取組みと「ふい絹」利用	
平成24年度第2次純国産絹マーク使用許諾状況 —新規使用許諾8者、新規製品12品目に使用許諾—	
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 26 (H24. 7. 1~H24. 8. 31)	蚕糸・絹業提携支援センター
設立後の動向と蚕業技術研究所現地研修会	蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会 事務局 大石 明 (財)大日本蚕糸会 蚕業技術研究所 所長 井上 元
雄の蚕を飼育するための蚕品種	
事業推進委員会の開催及び提携グループ現地調査（平成24年8月2日~3日 in 京都）	蚕糸・絹業提携支援センター 佐藤良介
最新中国シルク事情 ~最近の繭、生糸生産状況~	蚕糸・絹業提携支援センター 羽田有輝
「富岡製糸場と絹産業遺産群」（群馬県）ユネスコ（国連教育科学文化機関）への推薦、正式決定	
シルク遺産を訪ねて⑥「十日町市博物館」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
国内産地情報 絹織物産地の概況（7月） 織物の生産は増産と減産に二分、採算は厳しい	
海外シルク情報 中国の昨年度繭生産状況／中国でも稚蚕人工飼料育養蚕が一部実用化段階へ	
イベント情報	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成24年8月6日現在）	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料（国内・海外）	

<No. 27> 2012年10月号	
福島県産『入金真綿』で真綿ふとんの活路を模索	ふくしまみらいシルクの会 西川産業株式会社 根本宏幸 (財)大日本蚕糸会 蚕業技術研究所 上席研究員 代田文志 (社)日本絹業協会
あきやま綾の手紬染織工房を訪ねて	
平成24年度第3次純国産絹マーク使用許諾状況	
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 27 (H24. 9. 1~H24. 10. 31)	蚕糸・絹業提携支援センター
繭糸が細い蚕品種	(財)大日本蚕糸会 蚕業技術研究所 所長 井上 元
(財)大日本蚕糸会 創立120周年記念式典をはじめ 蚕糸絹の祭典、盛大に挙行	(財)大日本蚕糸会 蚕糸・絹業提携支援センター 野村郁治 (独)農業生物資源研究所 遺伝子組換えカイコ研究 開発ユニット 上席研究員 中島健一 東京産業考古学会 副会長 平井東幸
「シルク・サミット2012 in 東京」開催	
シルク遺産を訪ねて⑦「調布市郷土博物館」	
国内産地情報 絹織物産地の概況（9月） 丹後産地以外は減産、採算は厳しい	
海外シルク情報 本年上半期（1~6月）の中国シルク輸出概況／インドの生糸生産量倍増へ	
イベント情報	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成24年9月18日現在）	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料（国内・海外）	

<No. 28> 2013年1月号	
年頭所感 「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録と蚕糸業の振興	(財)大日本蚕糸会 会頭 高木 賢
蚕彩会の「いろいろ」と伊勢型紙と東京小紋	蚕彩会／装いの道株式会社 秋山 徹
絹洋装肌着の開発で頑張る「秩父シルクの会」	秩父シルクの会 代表 有限会社 HAC 松本信孝
平成24年度第4次分の純国産絹マーク使用許諾状況	(社)日本絹業協会
玉繭を生産する蚕品種	(財)大日本蚕糸会 蚕業技術研究所 所長 井上 元
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 28 (H24. 11. 1~H24. 12. 31)	蚕糸・絹業提携支援センター
『日本の絹展』（平成24年度第9回）を開催	(社)日本絹業協会
—伝統工芸から創作デザインまで「染・織で綾なす」美と技の祭典—	

1%が織りなす美 純国産「宝絹 takaraginu」展の概要	
群馬県で「蚕糸絹業特別講演会」を開催	群馬県農政部蚕糸園芸課 蚕糸係長 岡 喜久男
「実りのフェスティバル」(第51回)に参加して	(社)日本絹業協会
国内産地情報 絹織物産地の概況(11月)	
丹後、十日町、五泉、福井は増産 生糸価格は引き続き上昇	
海外シルク情報	
中国、国家備蓄制度による在庫生糸の一般売り渡しを実施へ／ 発展するウズベキスタンのシルク産業	
イベント情報	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧(平成24年11月16日現在)	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料(国内・海外)	

<No. 29> 2013年3月号

「純国産宝絹(takaraginu)展」銀座三越で盛大に開催	蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会 事務局 大石 明
平成24年度蚕期別、都府県別繭生産数量(速報値)	蚕糸・絹業提携支援センター 佐藤良介
深化するキモノへの挑戦 ―国産繭から生まれた新素材の着尺―	純国産絹振興会“きぬなり” 代表 織匠 万勝 前田 章 Silk So Good 富士新幸株式会社 小林芳美
純国産羽毛ふとん絹側地と真綿ふとん	
平成24年度第5次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 29 (H25. 11. 1～H25. 2. 28)	蚕糸・絹業提携支援センター
在来蚕品種を現代化した特徴ある蚕品種	(財)大日本蚕糸会 蚕業技術研究所 所長 井上 元
群馬県における蚕糸業振興の取組み	群馬県農政部蚕糸園芸課 絹主監 原 登喜雄
イベント情報	
先進養蚕農家 現地検討会(10トン会)群馬で開催	蚕糸・絹業提携支援センター 野村郁治
シルク遺産を訪ねて⑧「羽村市郷土博物館」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧(平成25年1月29日現在)	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料(国内・海外)	

<No. 30> 2013年5月号

「国際楽器博覧会」に純国産絹弦を提案し新たな市場へ	和楽器絃製造 丸三ハシモト株式会社 代表取締役 橋本英宗
天蚕商品の現状と今後の販売戦略	りょうぜん天蚕の会 会長 柳沼泰衛
熊本市で純国産絹製品展を開催 ―「作り手からのメッセージ」をアピール―	蚕糸・絹業提携支援センター
平成24年度第6次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 30 (H25. 3. 1～H25. 4. 30)	蚕糸・絹業提携支援センター
いくつかの特徴ある蚕品種	(財)大日本蚕糸会 蚕業技術研究所 所長 井上 元
万能繰糸機の特徴と商品開発の取組み	(財)大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所 所長 清水重人
博物館を運営してシルクの文化を考える (耕織図から蚕織錦絵など女性の着物の変遷を中心にして)	駒ヶ根シルクミュージアム 名誉館長 岩下嘉光
平成25年度協議会事業の協議と承認	蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会
シルク遺産を訪ねて⑨「東京農工大学科学博物館」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
イベント情報	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧(平成25年3月14日現在)	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料(国内・海外)	

<No. 31> 2013年7月号

実は100%本物って凄いこと	玉小石牛首紬研究会 代表 大門屋(店主) 高橋弘直
「諏訪の絹」に再び光を	松澤製糸紬工房の会 副会長(コーディネーター) 清水武彦
京都市で純国産絹製品展を開催 ～きもの文化の中心・京都に集う皆様へ純国産絹の魅力を発信～	蚕糸・絹業提携支援センター
平成25年度第1次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 31 (H25. 5. 1～H25. 6. 30)	蚕糸・絹業提携支援センター
シルクシンポジウム2013(絹の未来への新しい風)を開催して	日本シルク学会第60回記念大会実行委員会 副委員長 瓜田章二

札幌三越「純国産宝絹（takaraginu）展」の開催	蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会
シルク遺産を訪ねて⑩「町田市立博物館」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
イベント情報	
現在、活動している提携グループの内容一覧	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成25年5月30日現在）	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料（国内・海外）	
<No. 32> 2013年9月号	
提携グループなどに、平成26年度以降、財団法人大日本蚕糸会が独自に助成	（財）大日本蚕糸会 蚕糸・絹業提携支援センター
『風土31と結城紬産地の今後』	結城紬風土31研究会 事務局 小倉進吾
国産繭の特徴を活かす糸づくり（多種多様な純国産生糸を提供）	株式会社宮坂製糸所 専務取締役 高橋耕一
「日本の絹の里開館15周年を迎えて新たな情報発信」	公益財団法人群馬県蚕糸振興協会 次長兼チーフディレクター 上野邦彦
平成25年度第2次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌No.32（H25.7.1～H25.8.31）	蚕糸・絹業提携支援センター
第1回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール	（財）大日本蚕糸会
農林水産大臣賞受賞者は、山梨県芦澤定弘氏に決定	
伊勢神宮に純国産生糸を毎年献納	蚕糸・絹業提携支援センター 羽田有輝
多くの参加者を得て札幌三越「純国産宝絹（takaraginu）展」を開催	蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会
シルク遺産を訪ねて⑪「八王子市郷土資料館」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
イベント情報	
現在、活動している提携グループの内容一覧	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成25年7月29日現在）	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料（国内・海外）	
<No. 33> 2013年11月号	
奄美の養蚕を復活して	奄美島絹推進協議会 会長 南 祐和
西陣織会館の取組み	西陣織工業組合 常務理事／西陣織会館 館長 大槻ゆづる
キモノ等を扱う雑誌に純国産絹製品の宣伝記事の掲載	蚕糸・絹業提携支援センター
平成25年度第3次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌No.33（H25.9.1～H25.10.31）	
平成25年度（第52回）農林水産祭 芦澤定弘さん（山梨県）内閣総理大臣賞を受賞	（財）大日本蚕糸会
「シルク・サミット2013 in 久米島」を開催して	（独）農業生物資源研究所 遺伝子組換えカイコ研究 開発ユニット 上席研究員 中島健一
新たに機能性を付加したユニット型産線機を完成	（財）大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所 所長 清水重人
「日本絹の里」の新たな取り組み（シルク学習の場として小学生を積極的に受け入れ）	公益財団法人群馬県蚕糸振興協会 町田順一
平成26年1月に「宝絹（takaraginu）展」を新宿伊勢丹と横浜高島屋で開催	蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会
シルク遺産を訪ねて⑫「絹の道資料館」と「絹の道」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
イベント情報	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成25年10月4日現在）	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料（国内・海外）	
<No. 34> 2014年1月号	
年頭所感 「絹需要増進の年」にしよう	（財）大日本蚕糸会 会頭 高木 賢
第9回東京シルク展を終えて	東京シルクの会 代表 内海康治
中古養蚕資材のリサイクル供給体制整備の取り組み	養蚕資材供給組合 狩野寿作
農林水産祭「実りのフェスティバル」に参加	（財）大日本蚕糸会
平成25年度第4次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌No.34（H25.11.1～H25.12.31）	
丹後ちりめんの伝統と技に「今」をプラスする若手チームの活動	柴田織物 代表 柴田祐史
製糸工場を併設する新しい岡谷蚕糸博物館の誕生 ―平成26年8月1日 開館―	市立岡谷蚕糸博物館 館長 高林千幸
「2013年 中国国際シルクフォーラム」に出席して	（財）大日本蚕糸会 副会頭 久保 脩

シルク遺産を訪ねて⑬「前橋市蚕糸記念館」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
イベント情報	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成25年12月2日現在）	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料（国内・海外）	
<No. 35> 2014年3月号	
純国産絹製品で新たな世界を開拓	甲斐絹グループ代表 (株) 甲斐絹座 代表取締役 前田市郎 蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会
正月早々から「宝絹(takaraginu)展」を開催 —新宿伊勢丹と横浜高島屋—	
平成25年度第5次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 35 (H26. 1. 1~H26. 2. 28)	
小山市の誇る伝統産業「本場結城紬」の振興を多彩に展開	栃木県小山市 市長 大久保寿夫
「富岡日記」おもしろエピソード	中央蚕糸協会 調査員 田中 誠
新しい岡谷蚕糸博物館の開館に向けて(2) —平成26年8月1日 開館—	市立岡谷蚕糸博物館 館長 高林千幸
糸のまち岡谷の記憶を集めて —高齢者学級などへの出前講座活動—	市立岡谷蚕糸博物館 専門指導員 林 久美子
草木染研究会の発足 ~草木染染色家 山崎樹彦講師を迎えて~	公益財団法人群馬蚕糸振興協会 日本絹の里染色講師 高橋麻里奈
シルク遺産を訪ねて⑭「はたや記念館ゆめおーれ勝山」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
イベント情報	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成26年2月3日現在）	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料（国内・海外）	
<No. 36> 2014年5月号	
平成25年度第6次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 36 (H26. 3. 1~H26. 4. 30)	
群馬県蚕糸業の自立を目指して ~蚕糸業の維持継承対策~	群馬県農政蚕糸園芸課 絹主監 毛利 弘 (一財) 大日本蚕糸会
第2回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール 農林水産大臣賞受賞者は、碓氷製糸農業協同組合に決定	
昭憲皇太后百年祭記念「昭憲皇太后と養蚕 —パネル展とクラフト体験教室—」を開催	宗教法人 明治神宮
「シルク・サミット2014 in 富岡製糸場」を開催して	(独) 農業生物資源研究所 遺伝子組換えカイコ研究 開発ユニット 上席研究員 中島健一
絹の国の宝を後世に ~「富岡製糸場と絹産業遺産群」世界遺産登録応援キャンペーン~	上毛新聞社世界遺産・地域貢献室 室長 萩原俊一
新しい岡谷蚕糸博物館の開館に向けて(3) —平成26年8月1日 開館—	市立岡谷蚕糸博物館 館長 高林千幸
シルク遺産を訪ねて⑮「ケイター史料館」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
イベント情報	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成26年3月10日現在）	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料（国内・海外）	
<No. 37> 2014年7月号	
「富岡製糸場と絹産業遺産群」世界遺産登録について	群馬県企画部世界遺産推進課 課長 松浦利隆
北の大地の呉服屋	株式会社宮川呉服店 代表取締役 宮川寛隆
展示会における繰糸実演	(一財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所 研究員 岡島正章
新しい岡谷蚕糸博物館の開館に向けて(4) —平成26年8月1日開館、愛称“シルクファクトおかや”に決定—	市立岡谷蚕糸博物館 館長 高林千幸
シルク遺産を訪ねて⑯「株式会社東野東吉織物工場と松文産業株式会社旧女子寮」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
オールぐまのシルク製品開発	群馬県繊維工業試験場 場長 上原英之
ぐままオリジナル蚕品種に細織度品種「ぐま細」が仲間入り	群馬県蚕糸技術センター 技術支援係 鹿沼敦子
世界の宝、わが国のカイコ遺伝資源の長期保存法の開発	(一財) 大日本蚕糸会 蚕業技術研究所 所長 新保 博
平成26年度第1次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成26年5月23日現在）	
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 37 (H26. 5. 1~H26. 6. 30)	
平成26年度貞明皇后研究助成採択一覧（12件）	
イベント情報	

蚕糸関係博物館一覧
蚕糸関係団体ホームページ一覧
統計資料（国内・海外）

<No. 38> 2014年9月号	
純国産絹に取組む大阪の呉服専門店	株式会社本きもの松葉 代表取締役 松葉洋和
安曇野市天蚕センターの現状と今後の展望	長野県安曇野市天蚕振興会 会長 小川文人
シルク遺産を訪ねて⑦「みやしん株式会社から文化・ファッションテキスタイル研究所へ」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
シルク豆辞典「普通の蚕とは？」「農家で飼っている蚕は普通の蚕？」	東京農工大学農学部蚕学研究室 准教授 横山 岳
在来の桑品種“あれこれ”	(一財)大日本蚕糸会 蚕業技術研究所 研究アドバイザー 市橋隆壽
平成26年度第2次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成26年7月25日現在）	
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 38（H26.7.1～H26.8.31）	
イベント情報	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料（国内・海外）	

<No. 39> 2014年11月号	
平成26年度（第53回）農林水産祭 碓氷製糸農業協同組合が、天皇杯を受賞	(一財)大日本蚕糸会
高島屋「上品會」と「誰が袖好み」の取組み ～染織芸術の探求と純国産絹へのこだわり～	株式会社高島屋 MD 本部 呉服 DV 担当部長 池田喜政
高級和服店「お召し」に取り組んで	森秀織物株式会社（群馬県桐生市） 代表取締役 長谷川博紀（伝統工芸士）
シルク遺産を訪ねて⑩「ネクタイメーカー成和株式会社の機資料館」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
シルク豆辞典「普通のカイコとは？」「カイコの繭色は白？」	東京農工大学農学部蚕学研究室 准教授 横山 岳
深みのある黒染めの試み	(一財)大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所 研究員 花之内智彦
平成26年度第3次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成26年9月25日現在）	
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 39（H26.9.1～H26.11.1）	
イベント情報	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料（国内・海外）	

<No. 40> 2015年1月号	
年頭所感「バットを振らなければ球は飛ばない」	(一財)大日本蚕糸会 会頭 高木 賢
平成26年度蚕糸功労者表彰式（第70回）	(一財)大日本蚕糸会
「諏訪の絹」で、きものを創作	有限会社山田呉服店 代表取締役 山田 亘
国産シルクの需要拡大を目指して「絹の郷シンポジウム&蚕糸現場見学会」を開催	群馬県農政部蚕糸園芸課 蚕糸係長 岡 喜久男
好評を博した日本橋三越本店「純国産宝絹（takaraginu）展」	蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会 事務局 大石 明
農林水産祭「実りのフェスティバル」に参加して	(一財)大日本蚕糸会 ジャパンシルクセンター
絹のきものにこだわり100年	泉織物有限公司（群馬県桐生市） 代表取締役社長 泉 太郎
シルク遺産を訪ねて⑨「駒ヶ根シルクミュージアム — 地域の交流センター —」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
シルク豆辞典「普通の蚕とは？」「カイコは飛ばない？」	東京農工大学農学部蚕学研究室 准教授 横山 岳
第3回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクールの出品を募集します	
平成26年度第4次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成26年12月1日現在）	
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 40（H26.11.1～H26.12.31）	
イベント情報	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料（国内・海外）	

<No. 41> 2015年3月号

長浜ちりめんと共に歩んで

南久ちりめん株式会社 (滋賀県長浜市)

代表取締役 長谷幸治

「シルク・サミット2014 in シルクファクトおかや」を開催して

(独) 農業生物資源研究所 遺伝子組換えカイコ研究

開発ユニット 主任研究員 岡田英二

「絹のみち広域連携プロジェクト」キックオフ会議、絹のみちの祭典を開催して

経済産業省関東経済産業局産業部 流通・サービス産業課

新シルク産業の創造に向けて

京都府京丹後市 商工振興課長 高橋尚義

シルク遺産を訪ねて⑩「石川繊維資料館 一人収集の資料館」

東京産業考古学会 副会長 平井東幸

シルク豆辞典「冬の桑畑と桑の剪定」

東京農工大学農学部蚕学研究室 准教授 横山 岳

カイコの卵ができるまで ～蚕種製造の現場から～

(一財) 大日本蚕糸会 蚕業技術研究所

研究員 池嶋智美

二瓶さんへの弔辞

(一財) 大日本蚕糸会 顧問 吉國 隆

二瓶さんの思い出

(一財) 大日本蚕糸会 会頭 高木 賢

イベント情報

蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 41 (H27. 1. 1~H27. 2. 28)

平成26年度第5次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧 (平成27年1月30日現在)

蚕糸関係博物館一覧

蚕糸関係団体ホームページ一覧

統計資料 (国内・海外)

<No. 42> 2015年5月号

小紋の技法・歴史と今

高田勝株式会社 代表取締役 小紋屋主人 高田啓史

「純国産宝絹 (takaraginu) 展」高島屋京都店開催

蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会

事務局 大石 明

シルク遺産を訪ねて⑪「シルク遺産の保存と活用をめぐる」

東京産業考古学会 副会長 平井東幸

シルク豆辞典「蚕の夫婦は仲が良い」

東京農工大学農学部蚕学研究室 准教授 横山 岳

「富岡製糸場見学者の動向と日本の蚕糸絹文化」に関わる調査報告

高崎経済大学 経済学部教授 大島登志彦

大学院経済・経営研究科博士後期課程 石関正典

腕部を用いた着用実験による絹、綿及びポリエステル素材の快適性について

(一財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所

研究員 配島富士江

イベント情報

蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 42 (H27. 3. 1~H27. 4. 30)

平成26年度第6次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧 (平成27年3月23日現在)

蚕糸関係博物館一覧

蚕糸関係団体ホームページ一覧

統計資料 (国内・海外)

<No. 43> 2015年7月号

北日本の呉服問屋が純国産絹胴裏地を生産するにあたり ～より良い“きもの”への思い～

株式会社丸本岩崎 次長 岩崎慶介

(一財) 大日本蚕糸会

第3回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール

農林水産大臣賞受賞者は、“絹を未来に” プラチナボーイ研究会に決定

シルク遺産を訪ねて⑫「絹糸紡績資料館 ーシナノケンシ株式会社企業博物館ー」

東京産業考古学会 副会長 平井東幸

生糸電子検査国際標準の紹介

中国絲綢協会秘書処 主任 劉 文全

中国絲綢標準化技術委員会 秘書長 周 穎

中国蘇州大学紡織と服装工程学院 教授 費 万春

東京農工大学農学部蚕学研究室 准教授 横山 岳

シルク豆辞典「蚕の季節感」

雌のみが孵化する新しい蚕品種の開発

(一財) 大日本蚕糸会 蚕業技術研究所

研究アドバイザー 大沼昭夫

イベント情報

蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 43 (H27. 5. 1~H27. 6. 30)

平成27年度第1次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧 (平成27年5月25日現在)

蚕糸関係博物館一覧

蚕糸関係団体ホームページ一覧

統計資料 (国内・海外)

<No. 44> 2015年9月号	
新会頭就任挨拶	(一財)大日本蚕糸会 会頭 小林芳雄
伝統と革新の精神で新たな博多織に挑む	福続織物株式会社 専務取締役 丸本 徹
和装振興研究会について	経済産業省製造産業局繊維課 織物・絹業・産地振興担当 加藤奈津子
シルク遺産を訪ねて㉓ 片倉シルク記念館 一倉庫を活用した企業博物館—	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
シルク豆辞典「蚕の季節感(その2)」	東京農工大学農学部蚕学研究室 准教授 横山 岳
日本の蚕糸業と群馬のかかわり —或る群馬出身者の感慨—	春川 凡
平成27年度貞明皇后研究助成採択一覧(13件)	
イベント情報	
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 44 (H27.7.1~H27.8.31)	
平成27年度第2次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧(平成27年7月31日現在)	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料(国内・海外)	
<No. 45> 2015年11月号	
「千總純国産絹製品販売・商品開発グループ」の活動状況	株式会社野村総合研究所 上級研究員 梅原郁恵
明治初期の信濃の国と甲斐国蚕種紙を南フランスで発見! —江戸末期に横浜からフランスへ旅立った蚕種たち—	アンティークストックキング収集研究家 鴫田 章
シルク遺産を訪ねて㉔「片倉館・・・実業家による最初期の公共福利厚生施設」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
シルク豆辞典「繭の大きさと繭糸の長さ —外山亀太郎先生—」	東京農工大学農学部蚕学研究室 准教授 横山 岳
繭糸の低分子タンパク質	(一財)大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所 主任研究員 栗岡 聡
イベント情報	
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 45 (H27.9.1~H27.10.31)	
平成27年度第3次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧(平成27年9月15日現在)	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料(国内・海外)	
<No. 46> 2016年1月号	
年頭所感	(一財)大日本蚕糸会 会頭 小林芳雄
平成27年度(第71回)蚕糸功労者表彰式	(一財)大日本蚕糸会
丹後での取り組み	芝井株式会社 代表取締役社長 芝井公二郎
平成27年度(第54回)農林水産祭 “絹を未来に”プラチナボーイ研究会(代表 木下幸太郎氏)が、 日本農林漁業振興会会長賞を受賞	(一財)大日本蚕糸会
平成27年度農林水産祭・実りのフェスティバルで展示	(一財)大日本蚕糸会 ジャパンシルクセンター
「シルク・サミット2015 in 滋賀長浜」の開催	(独)農業生物資源研究所 遺伝子組換えカイコ研究 開発ユニット 主任研究員 岡田英二
シルク遺産を訪ねて㉕「諏訪湖ホテル記念館と諏訪市美術館(旧懐古館)」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
2015中国国際シルクフォーラムに出席して	(一財)大日本蚕糸会 蚕業技術研究所 所長 新保 博
中国国際シルクフォーラムでの見学	(一財)大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所 所長 清水重人
シルク豆辞典「繭の大きさと繭糸の長さ —外山亀太郎先生—」	東京農工大学農学部蚕学研究室 准教授 横山 岳
内部汚染繭を減らすコツ ~彼を知り己を知らば百戦して殆うからず~	(一財)大日本蚕糸会 蚕業技術研究所 研究員 野澤瑞佳
イベント情報	
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 46 (H27.11.1~H27.12.31)	
平成27年度第4次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧(平成27年11月17日現在)	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料(国内・海外)	

<No. 47> 2016年3月号	
純国産絹糸を使った帯の生産にあたり	株式会社龍村美術織物 烏丸工場長 榎垣展康
地理的表示保護制度に「伊予生糸」が登録されて	愛媛県農林水産部 農業振興局長 森 寛敬
二子玉川ライズ「純国産宝絹 (takaraginu) 展」	蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会 事務局 大石 明
中国蚕糸業の現状と日本蚕糸業との提携【元中国蘇州大学副学長 白倫先生講演録】	
シルク遺産を訪ねて②⑥ 「信州大学繊維学部のシルク遺産」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
シルク豆辞典 「蚕の季節感 (その3)」	東京農工大学農学部蚕学研究室 准教授 横山 岳
第4回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクールの出品を募集します	
再生マユクリンと中古の回転族を供給します —平成27年度中古養蚕資材のリサイクル供給支援事業の取組み— イベント情報	碓氷製糸農業協同組合 事業部長 狩野寿作
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 47 (H28. 1. 1~H27. 2. 29)	
平成27年度第5次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧 (平成28年1月21日現在)	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料 (国内・海外)	

<No. 48> 2016年5月号	
養蚕農家の歩みと今	群馬県前橋市苗ヶ島町 前原 元
蚕糸包装材料一式製造販売 株式会社官方商店販売の生糸商標について	山梨県中央市豊富郷土資料館 学芸員 今福律子
仙台市藤崎百貨店の「純国産宝絹 (takaraginu) 展」	蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会 事務局 大石 明
ブラジルの養蚕・製糸の現状	(一財)大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所 研究アドバイザー 木下晴夫
シルク遺産を訪ねて⑦「重要文化財に指定された旧新町紡績所 —わが国初の絹紡績工場—」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
シルク豆辞典 「蚕の孵化と毛」	東京農工大学農学部蚕学研究室 准教授 横山 岳
高格・高品質生糸躁製計画 (6A プロジェクト)	(一財)大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所 所長 清水重人
イベント情報	
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 48 (H28. 3. 1~H28. 4. 30)	
平成27年度第6次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧 (平成28年3月15日現在)	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料 (国内・海外)	

<No. 49> 2016年7月号	
純日本の絹のこだわりから新たな価値創造をめざして	株式会社伊と幸 代表取締役 北川 幸 (一財)大日本蚕糸会
第4回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール 農林水産大臣賞受賞者は、前橋市農業協同組合養蚕連絡協議会に決定 ウズベキスタン養蚕振興と東京農工大学プロジェクトの概要	東京農工大学名誉教授 JICA プロジェクト・リーダー 普後 一 東京農工大学国際センター JICA プロジェクト・マネージャー 川端良子 JICA 指導員：東京農工大学連合農学研究所博士課程 飯久保 誠/JICA 指導員 大澤光男
シルク遺産を訪ねて⑧「須坂市の養蚕・製糸遺産 (上)」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
シルク豆辞典 「紫外線と蚕の眼」	東京農工大学農学部蚕学研究室 准教授 横山 岳
「蚕糸絹文化の教育効果と将来の継承」に関わる調査報告	高崎経済大学経済学部 教授 大島登志彦
遺伝子組換えカイコが作る強靱なシルク「クモ糸シルク」	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門新素材開発ユニット 上席研究員 小島 桂
イベント情報	
平成28年度第1次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧 (平成28年5月19日現在)	
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 49 (H28. 5. 1~H28. 6. 30)	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料 (国内・海外)	

<No. 50> 2016年9月号	
西陣織会館の取組み	西陣織工業組合 常務理事 大槻ゆづる
絹産業遺産とシルクロード・ネットワーク 一見逃されている群馬の養蚕民家と養蚕集落—	NPO 法人街・建築・文化再生集団 中村 武
シルク遺産を訪ねて㉘「須坂市の養蚕・製糸遺産（下）」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
シルク豆辞典「蚕とヒトの雌雄の話」	東京農工大学農学部蚕学研究室 准教授 横山 岳
桑の古糸挿し木技術マニュアル (Ver. 2)	(一財)大日本蚕糸会 蚕業技術研究所 市橋隆壽・松川 武・赤井雅志
桑園の造成（新植・改植に際して）	(一財)大日本蚕糸会 蚕業技術研究所 囑託研究員 市橋隆壽
平成28年度貞明皇后研究助成採択一覧（12件）	
イベント情報	
蚕糸・絹業提携グループ一覧（平成27年4月現在）	
平成28年度第2次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成28年7月20日現在）	
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 50 (H28. 7. 1~H28. 8. 31)	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料（国内・海外）	
<No. 51> 2016年11月号	
甲斐絹座の新市場開拓と今後の展開	株式会社甲斐絹座 代表取締役 前田市郎
世界一薄い絹織物への挑戦	齋栄織物株式会社 代表取締役 齋藤泰行
新しい養蚕の可能性に取り組んで	株式会社絹工房 養蚕事業部 マネージャー 金子 聡
シルクの足跡を伝える ～常田館製糸上活動報告	NPO 法人絹の文化・蚕都常田館 小駒はるみ
タイ国訪問記	(一財)大日本蚕糸会 蚕業技術研究所 所長 新保 博/主任研究員 持田裕司
シルク遺産を訪ねて㉙「米沢織物歴史資料館 一産地の歴史を伝える—」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
シルク豆辞典「蚕の遺伝子工学の幕開け 一田島弥太郎先生—」	東京農工大学農学部蚕学研究室 准教授 横山 岳
イベント情報	
平成28年度第3次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成28年9月21日現在）	
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 51 (H28. 9. 1~H28. 10. 31)	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料（国内・海外）	
<No. 52> 2017年1月号	
年頭所感	(一財)大日本蚕糸会 会頭 小林芳雄
絹衣によせて	青山きもの学院 新田葉子
川崎大師平間寺での「純国産宝絹 (takaraginu) 展」	蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会 事務局 大石 明
第55回実りのフェスティバルで展示	(一財)大日本蚕糸会 ジャパンシルクセンター
シルク遺産を訪ねて㉚「松ヶ丘開墾場の蚕室等」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
シルク豆辞典「蚕の語源について」	東京農工大学農学部蚕学研究室 准教授 横山 岳
遺伝子組換えカイコによる高機能シルクの生産	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 上席研究員 飯塚哲也
イベント情報	
平成28年度第4次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成28年11月8日現在）	
蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 52 (H28. 11. 1~H28. 12. 31)	
第5回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクールの出品募集	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料（国内・海外）	

<No. 53> 2017年4月号

平成28年度蚕糸功労者表彰式(第72回)

蚕を学ぶ奨励賞受賞校の活動概要の紹介

恩賜賞受賞に思う

(一財)大日本蚕糸会 顧問 高木 賢

片倉工業株式会社のシルクに対する取組の歴史と今後の展望について

片倉工業株式会社 商品開発部長 藤原陽一

「シルク・サミット2016 in 奄美」を開催して

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
研究員 笠嶋めぐみ

「第9回中国国際絲綢会議」に参加して

(一財)大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所
所長 清水重人

シルク遺産を訪ねて⑳「鶴岡市の絹産業遺産 一大宝館、致道博物館等」

東京産業考古学会 副会長 平井東幸

シルク豆辞典「クローンと蚕 動物の発生工学」

東京農工大学農学部蚕学研究室 准教授 横山 岳

カイコの生殖細胞の凍結保存による系統維持技術の開発

(一財)大日本蚕糸会 蚕業技術研究所
主任研究員 竹村洋子

蚕糸業に係る課題と今後の取組について

農林水産省生産局地域対策官付
課長補佐 田久保邦彦

イベント情報

平成28年度第5次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧(平成29年1月18日現在)

蚕糸・絹業提携支援センター活動日誌 No. 53 (H29.1.1~H29.3.31)

【純国産絹マークの審査会開催月及びシルクレポート発刊月変更のお知らせ】

蚕糸関係博物館一覧

蚕糸関係団体ホームページ一覧

統計資料(国内・海外)

<No. 54> 2017年7月号

我が国蚕種業の沿革と株式会社高原社の蚕種製造

株式会社高原社 代表取締役社長 関 秀一

農林水産大臣賞受賞者は、糸井文雄・清子夫妻に決定
第5回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール受賞者の概要
「これからの国産シルクを語る会」について

(一財)大日本蚕糸会

「碓氷製糸株式会社」への組織変更にあたって

農林水産省生産局地域対策官付
課長補佐 田久保邦彦

「回転族」という道具

碓氷製糸株式会社 代表取締役社長 高木 賢

ミャンマーの蚕糸業の現状と今後の展望

山梨県中央市豊富郷土資料館 前学芸員 今福律子

シルク遺産を訪ねて㉓「福島・川俣町おりもの展示館 一繁栄の歴史を偲ぶ」

岡谷蚕糸博物館 一シルクファクトおかや—
館長 高林千幸

シルク豆辞典「養蚕の鼠害と新田猫絵」

東京産業考古学会 副会長 平井東幸

桑の病気について 一病状と対策—

東京農工大学農学部蚕学研究室 准教授 横山 岳

繭の品質検査と生糸検査について

(一財)大日本蚕糸会 蚕業技術研究所
囑託研究員 市橋隆壽

イベント情報

(一財)大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所
主任研究員 岡島正章

平成28年度第6次分及び平成29年度第1次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧(平成29年5月19日現在)

活動日誌 No. 54 (H29.4.1~H29.6.30)

蚕糸関係博物館一覧

蚕糸関係団体ホームページ一覧

統計資料(国内・海外)

<No. 55> 2017年10月号

埼玉県における、『いろどり』のネクタイ販売

株式会社マルシバ 取締役商品部長 野口俊二

第10回『宝絹展』の開催を終えて

西陣織工業組合 専務理事 辻本泰弘

和装の持続的発展のための商慣行のあり方について

和装振興協議会事務局 経済産業省製造産業局生活製品課

日本絹文化フォーラム2017(1st)を開催して

日本絹文化フォーラム実行委員会
事務局長 高林千幸

シルク遺産を訪ねて㉔「高知県の藤村製絲記念館 一百年の歴史を後世に伝える」

東京産業考古学会 副会長 平井東幸

蚕糸・絹業のひとつ「蚕種と名馬/座繰器の座は歯車」

シルク博物館 元部長 小泉勝夫

シルク豆辞典「上族と族」

東京農工大学農学部蚕学研究室 准教授 横山 岳

蚕糸絹文化の学校教育における継承 一「蚕を学ぶ奨励賞」受賞校の教育実践と課題—

高崎経済大学 経済学部教授 大島登志彦

桑の害虫について 一発生生態と防除法—

大学院経済・経営研究科博士後期課程 石開正典
(一財)大日本蚕糸会 蚕業技術研究所
囑託研究員 市橋隆壽

蚕飼育作業における身体的負担の軽減 一新規参入者が簡便に取り組める飼育技術の開発—

群馬県蚕糸技術センター 蚕糸研究係 清水健二

蚕糸・昆虫機能利用の基礎研究から実用化まで

一般社団法人日本蚕糸学会 庶務幹事 河本夏雄

イベント情報	
平成29年度第2次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成29年8月22日現在）	
平成29年度貞明皇后研究助成採択一覧（11件）	
活動日誌 No. 55（H29.7.1～H29.9.30）	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料（国内・海外）	
<No. 56> 2018年1月号	
年頭所感	（一財）大日本蚕糸会 会頭 小林芳雄
平成29年度（第73回）蚕糸功労者表彰式を挙げる	
養蚕を始めて	群馬県富岡市 高橋直矢
養蚕に取り組んで	株式会社とみひろ 養蚕事業部 現場担当 湯澤亜沙子
「シルク・サミット 2017 in 富士吉田」を開催して	農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門 新産業開拓研究領域 カイコ機能改変技術開発ユニット 笠嶋めぐみ
第56回実りのフェスティバル	（一財）大日本蚕糸会
シルク遺産を訪ねて㊤「わが国人造絹糸の発祥地 —山形大学・秦教授記念室が伝える遺産—」	東京産業考古学会 副会長 平井東幸
蚕糸・絹業のひとつ「外国に知られた養蚕集落／八丈島の天蚕織物」	シルク博物館 元部長 小泉勝夫
シルク豆辞典「上杉鷹山と米沢織」	東京農工大学農学部蚕学研究室 准教授 横山 岳
色の表現 —人の感覚と分光色差計—	（一財）大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所 研究員 花之内智彦
日本シルク学会の紹介	日本シルク学会 会長 高林千幸
イベント情報	
平成29年度第3次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成29年11月24日現在）	
活動日誌 No. 56（H29.10.1～H29.12.31）	
第6回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクールの出品を募集	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料（国内・海外）	
<No. 57> 2018年4月号	
山梨にて養蚕150年	山梨県富士川町 芦澤洋平
養蚕農家の後継者としての思い	福島県二本松市 本多明彦
JAなす南の繭とオリジナルブランド振袖の地元への広報活動について	JAなす南 営農部畜産課 養蚕担当 川又裕子
経済変動と蚕糸業への影響	前大日本蚕糸会会頭 高木 賢
甲斐絹と山梨ハタオリ産地の“今”	甲斐絹グループ代表 （株）甲斐絹座 代表取締役 前田市郎
新しい市場の創造する原動力 ～伝統工芸の若い担い手たちに期待すること～	木下着物研究所 代表 木下勝博
蚕糸・絹業のひとつ「各地の蚕の呼び方／戦後から平成時代の絹織物業」	シルク博物館 元部長 小泉勝夫
シルク豆辞典「蚕の発育と温度」	東京農工大学農学部蚕学研究室 准教授 横山 岳
桑栽培のポイントと年間の桑園管理作業の流れ	（一財）大日本蚕糸会 蚕業技術研究所 囑託研究員 市橋隆壽
消毒の作法 —その1 春蚕期が始まる前に施設と蚕具を消毒しよう—	（一財）大日本蚕糸会 蚕業技術研究所 主任研究員 野澤瑞佳
遺伝子組換えカイコの現状と今後の展望	農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構） 顧問（非常勤） 町井博明
（一財）シルクセンター国際貿易観光会館の紹介	シルク博物館 館長 坂本英介
イベント情報	
平成29年度第4次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成30年3月2日現在）	
活動日誌 No. 57（H30.1.1～H30.3.31）	
「シルクレポートの誌面の見直し」について	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料（国内・海外）	

<No. 58> 2018年7月号

第6回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール受賞者の概要

「産室から蚕室へ」

群馬県桐生市 吉野 香

「これからの国産シルクを語る会」に参加して

株式会社大松 野口佳嗣

日本絹文化フォーラム2018(2nd)を開催して

日本絹文化フォーラム実行委員会
事務局長 高林千幸

蚕糸・絹業のひとコマ 「明治初期の1枚のタグ／蚕糸や染織に関する小学唱歌」

シルク博物館 元部長 小泉勝夫

桑園に発生する病害虫について ―夏秋期を中心に―

(一財)大日本蚕糸会 蚕業技術研究所
囑託研究員 市橋隆壽

高品質・優良繭生産の持続安定化に向けた栃木県小山地区養蚕農家の取り組み

栃木県小山地区養蚕産地育成推進協議会
事務局次長・産業技術指導員

「洋装に求められる絹の特性に関する研究」

JA おやま営農部米表課 須藤日出夫
日本大学 教授 伊豆原月絵

一般財団法人日本真綿協会概要

一般財団法人日本真綿協会

イベント情報

平成30年度第1次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧(平成30年5月30日現在)

蚕糸・絹業提携グループ一覧(平成30年3月現在)

平成30年度貞明皇后研究助成採択一覧(9件)

活動日誌No.58(H30.4.1~H30.6.30)

蚕糸関係博物館一覧

蚕糸関係団体ホームページ一覧

統計資料(国内・海外)

<No. 59> 2018年10月号

繭からの糸づくりから見えてくるもの

西予市野村シルク博物館
染織講座第22期生 若林 萌

純国産真綿を使った製品づくり

西川産業株式会社 商品第1部ふとん2課
課長 和田英樹

絹織物産地の現状につて

一般社団法人日本絹人織織物工業会
専務理事 上野千秋きものサミット in 京都 2018 を開催 ~わっしょい わっしょい 京都でわっしょい~
全国の川上・川中・川下の和装業界関係者約400人が京都に集結!

きものサミット in 京都 2018 開催委員会

天蚕を飼ってみました in 有楽町

(一財)大日本蚕糸会 業務部課長 佐藤良介

蚕糸・絹業のひとコマ「薬に用いた天蚕／蚕糸・絹業関係の民謡」

シルク博物館 元部長 小泉勝夫

消毒の作法 ―その2 蚕期終了後の消毒作業の重要性―

(一財)大日本蚕糸会 蚕業技術研究所
主任研究員 野澤瑞佳

夢のようだった蚕糸科学研究所での研修

韓国伝統文化大学 伝統美術工芸学科
博士課程 崔 貞任

伝統継承施設「西予市野村シルク博物館」

西予市野村シルク博物館 館長 亀崎壽治

イベント情報

平成30年度第2次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧(平成30年9月5日現在)

活動日誌No.59(H30.7.1~H30.9.30)

蚕糸関係博物館一覧

蚕糸関係団体ホームページ一覧

統計資料(国内・海外)

<No. 60> 2019年1月号

年頭所感

(一財)大日本蚕糸会 会頭 小林芳雄

平成30年度(第74回)蚕糸功労者表彰式を挙行

研修、それは想いを形に

新規養蚕参入者研修生 花村伊智江

素晴らしい体験に感謝!

中央区立日本橋小学校 主任教諭 齋藤直子

群馬県の新たな養蚕担い手育成について

群馬県蚕糸技術センター 技術支援係長 伊藤 寛

「シルクサミット2018~明治150年記念シンポジウム」について

農林水産省生産局地域対策官付 課長補佐 高坂有美

蚕糸・絹業のひとコマ「特別蚕種と原蚕種／背負子と背負籠」

シルク博物館 元部長 小泉勝夫

冬春期の桑園管理と桑の植え付け

(一財)大日本蚕糸会 蚕業技術研究所
囑託研究員 市橋隆壽

遺伝子組み換えカイコの農家飼育が始まって

群馬県蚕糸技術センター 蚕糸研究係 池田真琴

「駒ヶ根シルクミュージアム」の紹介

駒ヶ根シルクミュージアム 館長 中垣雅雄

イベント情報

平成30年度第3次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成30年12月3日現在）	
活動日誌 No. 60（H30.10.1～H30.12.31）	
第7回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクールの出品を募集	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料（国内・海外）	
<No. 61> 2019年4月号	
小石丸を飼育して	群馬県前橋市苗ヶ島町 前原 元
日本蚕糸業史の光と「白い影」	横浜市史資料室 主任調査研究員 平野正裕
平成30年（第57回）農林水産祭「明治150年記念シンポジウム（蚕糸業の新たな展開を目指して）を開催して	公益財団法人日本農林漁業振興会 事業部長 山田敏彦
玄海灘沿岸地域の弥生絹	九州大学名誉教授／元（一社）日本蚕糸学会理事 河原畑 勇
平成30年西日本豪雨災害義捐金を贈呈	横浜絹フェスティバル実行委員会
蚕糸・絹業のひとつ「江戸時代の蚕の病気／商標 MADE IN OCCUPIED JAPAN」	シルク博物館 元部長 小泉勝夫
消毒の作法 —その3 消石灰の特徴と使い方—	（一財）大日本蚕糸会 蚕糸技術研究所 主任研究員 野澤瑞佳
歴史に学び、未来を思考・創造する 岡谷蚕糸博物館 —シルクファクトおかや—	岡谷蚕糸博物館 館長 高林千幸
イベント情報	
「カイコの実験単」（日本蚕糸学会監修）発刊	
養蚕農家との情報交換会の概要	
平成30年度第4次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（平成31年3月4日現在）	
活動日誌 No. 61（H31.1.1～H31.3.31）	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料（国内・海外）	
<No. 62> 2019年7月号	
第7回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール受賞者の概要	（一財）大日本蚕糸会
農林水産大臣賞受賞者は、佐々木一郎・啓子夫妻に決定	
日本の絹への想いをのせた作品作り	渡豊工房（山形県山辺町） 代表 渡辺豊一
日本人が知らない市場創造 ～KIMONOのSUSHI化～	木下着物研究所 代表 木下勝博
「暑さに強い蚕」の開発と特徴	群馬県蚕糸技術センター 蚕糸研究係 下田みさと
蚕糸・絹業のひとつ「海外へ渡った輸出禁止の蚕種／蚕種石・根子石信仰」	シルク博物館 元部長 小泉勝夫
蚕繭を用いた化学実験教材について	大分工業高等専門学校 准教授 二宮純子
シルクの総合博物館「群馬県立日本絹の里」	群馬県立日本絹の里 館長 茂原璋男
イベント情報	
2019年度第1次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（2019年6月4日現在）	
令和元年度貞明皇后研究助成採択一覧（7件）	
活動日誌 No. 62（H31.4.1～R元.6.30）	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料（国内・海外）	
<No. 63> 2019年10月号	
日本と中国との「備忘録」の調印と「2019中日シルク協力フォーラム」の開催	（一財）大日本蚕糸会
「純国産繭」を使用したものづくり	株式会社やまと 取締役商品本部兼事業創造本部長 乃一勝美
歴史の絹織物再現 —山車祭礼にみる懸装幕類の復元と新調—	（一財）西陣織物館 顧問 藤井健三
蚕糸・絹業のひとつ「二大生糸輸出港の横浜・神戸／養蚕農家愛読雑誌「蚕糸の光」」	シルク博物館 元部長 小泉勝夫
九州大学におけるカイコの系統保存のねらいと役割について	九州大学 家蚕遺伝子資源学分野 教授 伴野 豊
片倉の名品種「太平×長安」の復活と洋装服地開発	（一財）大日本蚕糸会 蚕糸技術研究所 育種チーム 主任研究員 常山 泉
西陣織会館の近年の取り組み	西陣織会館 館長 大槻ゆづる
イベント情報	
2019年度第2次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧（2019年9月4日現在）	

活動日誌 No. 63 (R 元. 7. 1~R 元. 9. 30)

蚕糸関係博物館一覧

蚕糸関係団体ホームページ一覧

統計資料 (国内・海外)

<No. 64> 2020年1月号

年頭所感

(一財)大日本蚕糸会 会頭 小林芳雄

令和元年度(第75回)蚕糸功労者表彰式を挙

「全国シルクビジネス協議会」を設立

全国シルクビジネス協議会

伝統ある養蚕業を継承して

新規養蚕参入者研修生 菊池慎吾

第5回ぐんま養蚕基礎講座および第5期ぐんま養蚕学校の受講生募集

群馬県蚕糸技術センター

蚕糸・絹業のひとコマ「各地に開設の蚕業教育施設/蚕糸業法の制定と廃止」

シルク博物館 元部長 小泉勝夫

全国シルクビジネス協議会 新用途分科会の活動

東京農工大学大学院工学研究院 准教授 中澤靖元

京都織物卸商業組合 創立50周年を迎えて

京都織物卸商業組合 常務理事 大坪 宏

イベント情報

2019年度第3次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧(2019年11月29日現在)

活動日誌 No. 64 (R 元. 10. 1~R 元. 12. 31)

第8回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクールの出品を募集

蚕糸関係博物館一覧

蚕糸関係団体ホームページ一覧

統計資料 (国内・海外)

<No. 65> 2020年4月号

「助成事業のあり方検討会報告書」について

(一財)大日本蚕糸会 常務理事 寺野重造

国産生糸の需要開拓の条件

碓氷製糸株式会社 代表取締役社長 高木 賢

《東京モード学園 × 純国産宝絹》

学校法人日本教育財団 東京モード学園

宝絹×女子美「初夏に奏でるハーモニー」 —純国産絹糸を使った商品発表—

女子美術大学 芸術学部 デザイン・工芸学科

中国蚕糸絹業団体等の変遷

工芸専攻 特任准教授 大崎綾子

「第25回国際養蚕委員会大会」開催報告

中和株式会社 代表取締役 潘 林龍

第25回国際養蚕委員会大会での全国シルクビジネス協議会の出展について

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

イベント情報

2019年度第4次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧(2020年3月4日現在)

活動日誌 No. 65 (R2. 1. 1~R2. 3. 31)

蚕糸関係博物館一覧

蚕糸関係団体ホームページ一覧

統計資料 (国内・海外)

<No. 66> 2020年7月号

第8回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール受賞者の概要

(一財)大日本蚕糸会

農林水産大臣賞受賞者は、下山菊夫・貞子夫妻に決定

福島県の養蚕事情から進化の兆しを見る

福島県農林水産部生産流通総室園芸課

蚕糸絹業はどう“憂さ晴らし”をする? —中国シルク協会2019年度報告書より—

主幹(兼)副課長 奥谷陽之助

遺伝子組換えカイコの経過と展望 1. ~農研機構の取り組みとしての「蚕業革命」~

中和株式会社 代表取締役 潘 林龍

養蚕調査農家との技術情報交換概要

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

群馬県立世界遺産センター「世界を変える生糸の力」研究所が誕生しました。

(農研機構)

イベント情報

『カイコの科学』(日本蚕糸学会編)刊行

生物機能利用研究部門 新産業開拓研究領域

2020年度第1次分の純国産絹マーク使用許諾状況

領域長 桑名芳彦

純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧(2020年6月5日現在)

(一財)大日本蚕糸会

イベント情報

『カイコの科学』(日本蚕糸学会編)刊行

群馬県立世界遺産センター 普及調査係 山洞吉規

2020年度第1次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧(2020年6月5日現在)

活動日誌 No. 66 (R2. 4. 1~R2. 6. 30)
蚕糸関係博物館一覧
蚕糸関係団体ホームページ一覧
統計資料 (国内・海外)

<No. 67> 2020年10月号	
農林水産大臣賞受賞者の下山菊夫・貞子夫妻に表彰状を伝達 山形県庁にて挙行 (第8回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール伝達式)	(一財)大日本蚕糸会
群馬県の養蚕事情 ―群馬県稚蚕人工飼料センターの機能強化―	群馬県蚕糸技術センター 主席研究員 桑原伸夫
中国における蚕先端研究の最新成果と養蚕現場での取り組みについて	中和株式会社 代表取締役 潘 林龍
遺伝子組換えカイコの経過と展望 2. ～農研機構の取り組みとしての「蚕業革命」～	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 (農研機構) 生物機能利用研究部門 新産業開拓研究領域 領域長 桑名芳彦
蚕種製造調査におけるAI技術を用いた画像解析システムの開発	群馬県蚕糸技術センター 蚕糸研究係 主任 下田みさと
東京農工大学科学博物館の近代蚕糸学術資料 ～観工寮葵町製糸場図面の3Dデジタル化と蚕糸学術コレクションの発信～ イベント情報	東京農工大学科学博物館 特任助教・学芸員 齋藤有里加
2020年度第2次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧 (2020年9月2日現在)	
活動日誌 No. 67 (R2. 7. 1~R2. 9. 30)	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料 (国内・海外)	

<No. 68> 2021年1月号	
年頭所感	(一財)大日本蚕糸会 会頭 小林芳雄
令和2年度(第76回)蚕糸功労者表彰	(一財)大日本蚕糸会
令和3年度は、蚕糸絹文化振興対策事業から蚕糸絹提携自立化支援事業へ	
令和2年度総会を開催	全国シルクビジネス協議会
純国産絹フェアとジャパンシルクセンター	(一財)大日本蚕糸会 業務部
シルクサミット2020 in 丹後 丹後ちりめん創業300年～次代へ、新たな挑戦。～を開催して	京丹后市商工観光部商工振興課 絹業係長 三浦知史
コロナ影響下での中国蚕糸業の現状	中和株式会社 代表取締役 潘 林龍
新しい簇と尿受器の製作について 「ボール簇」と「尿受器」はいかがでしょうか!!	群馬県蚕糸技術センター 蚕糸研究係長 須藤 薫 (一財)大日本蚕糸会
中央市豊富郷土資料館の紹介	中央市豊富郷土資料館 館長 内藤和久
イベント情報	
2020年度第3次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧 (2020年11月25日現在)	
活動日誌 No. 68 (R2. 10. 1~R2. 12. 31)	
第9回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクールの出品を募集	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料 (国内・海外)	

<No. 69> 2021年4月号	
新研究所の発足に当たって	(一財)大日本蚕糸会 会頭 小林芳雄
蚕糸絹提携自立化支援事業が始まりました	(一財)大日本蚕糸会
新規養蚕参入者研修を受講して	鶴岡市地域おこし協力隊 板垣沙織
丹後織物産地の若手事業者による新しいプロジェクト「ひらく織実行委員会」について	ひらく織実行委員会 委員長 高岡 徹 京都府織物・機械金属振興センター 主任研究員 徳本幸紘
雌だけの蚕品種「おりひめ」誕生! ―レモン色のお姫様は、女子会開催中―	(一財)大日本蚕糸会 蚕糸科学技術研究所 主任研究員 竹村洋子/客員研究員 大沼昭夫
農業生物資源(カイコ)の現状と今後の展望	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 遺伝資源センター 北社研究調整監 小瀬川英一 安曇野市天蚕振興会 会長 田口忠志
安曇野市天蚕振興会と天蚕飼育	
イベント情報	
2020年度第4次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧 (2021年3月3日現在)	

活動日誌 No. 69 (R3. 1. 1～R3. 3. 31)	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料 (国内・海外)	
<No. 70> 2021年7月号	
第9回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール受賞者の概要 農林水産大臣賞受賞者は、五十畑 茂・啓子夫妻に決定 若手養蚕農家との意見交換会を開催して	(一財)大日本蚕糸会 農林水産省生産局地域対策官付 地域作物第2班 課長補佐 西野陽子
新蚕品種「白繭細1号」との出会いから商品作りまで(1)	田口ゼミ 代表 田口隆男
カイコに始まる岡谷の学習活動 ～養蚕から製品づくりまで～	岡谷蚕糸博物館 —シルクファクトおかや— 学芸員 林 久美子
農業生物資源(桑)の現状と今後の展望	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 基盤技術研究本部 研究推進室 西川智太郎 基盤技術研究本部 遺伝資源研究センター 山本伸一 上田市立博物館 館長 和根崎 剛
「蚕都上田の面影を現代に伝える ～上田市立博物館・市立丸子郷土博物館」	
イベント情報	
令和3年度貞明皇后研究助成採択一覧(7件)	
2021年度第1次分の純国産絹マーク使用許諾状況	
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧(2021年6月4日現在)	
活動日誌 No. 70 (R3. 4. 1～R3. 6. 30)	
蚕糸関係博物館一覧	
蚕糸関係団体ホームページ一覧	
統計資料 (国内・海外)	

※団体・役職等の名称は掲載当時のものである。

※「シルクレポート」の記事と統計データは、下記のホームページでもご覧になれます。

<http://www.silk-teikei.jp>

シルクレポート 2021年10月号 No.71 令和3年10月1日発行

編集 / 発行

一般財団法人大日本蚕糸会

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-9-4 蚕糸会館6階

TEL : 03-3214-3500

FAX : 03-3214-3511

URL : <http://www.silk-teikei.jp>

製本 / 印刷

株式会社正大印刷社

無断転載禁ず